

## 基準7 学生支援等

### (1) 観点ごとの分析

**観点7-1-①**：学習を進める上でのガイダンスが整備され、適切に実施されているか。また、学生の自主的学習を進める上での相談・助言を行う体制が整備され、機能しているか。

#### <準学士課程>

(観点に係る状況) 学校や学科がどのような方向を目指すかを明らかにすることは、学生が自主学習をする上の指針になる。そうした情報は在学生に対して、学生便覧(資料7-1-①-1)やシラバス(資料7-1-①-2)や学科のウェブサイト(資料7-1-①-3)で明示されている。加えて、学習を進める上でのガイダンスを学生に明示する機会として、毎年新入生に対して入学直後の合宿オリエンテーション(資料7-1-①-4)を用意し、徹底している。平成17年度からは、従来個別に行っていた2～5年生に対する年度当初のオリエンテーションを組織的なものとした(資料7-1-①-5)。

日々の指導については、各クラスに学級担任教員を配置し、学生の相談に乗る体制を整えている。オフィスアワーも学科別にまとめられている(資料7-1-①-6)。メールや、平成17年に立ち上げたe-learningシステムによって電子的に学生の個別指導を行える(資料7-1-①-7)。また、学生生活支援室を設け(資料7-1-①-8)、必要に応じて学生の相談を受け付けている。学生生活支援室は、自主学習の部屋を設け、学生の自主的学習習慣を付けるための指導も行っている(資料7-1-①-9)。

実践的な技術を重んじる本校では、実験・実習に伴う危険を未然に防ぐため、工場、DNA実験、動物実験などについて指針を定め、関連する学生への教育も実施している(資料7-1-①-10)。(分析結果とその根拠理由) 優れている。各学年の年度当初にオリエンテーションを実施しているほか、シラバスにも学習内容やスケジュール等について詳細に記載されている。また、学級担任教員が相談の受付及び助言を行っており、本校に所属する全学生が最初の相談相手を特定できる体制となっている。また、それ以外に学生生活支援室も設置しており、相談・助言体制は優れている。

#### <専攻科課程>

(観点に係る状況) 専攻科課程においては毎年前期・後期の2回にわたりガイダンスを実施している。また、これら行事以外にも各科目担当教員がシラバスや学生便覧等を利用して最初の授業等において実施している。また、学生全員に指導担当教員を割り当てているほか、全担当教員がオフィスアワーを設定し(資料7-1-①-11)、各教員室前に時間帯を掲示するなどして学生に活用を促している。また、専攻科学生生活支援室を設け、必要に応じて学生の相談を受け付けている。

(分析結果とその根拠理由) 優れている。各学年の年度当初にオリエンテーションを実施しているほか、シラバスにも学習内容やスケジュール等について詳細に記載されている。指導担当教員が、相談の受付及び助言を行っており、本校に所属する全学生が最初の相談相手を特定できる体制となっている。また、それ以外に学生生活支援室も設置しており、相談・助言体制は優れている。

資料 7-1-①-1 : 学科の概要

## 4. 学修・教科

### 1. 学科の概要

#### 教養科

教養科は、5年間にわたり、やがて、人間性豊かな社会人として必要になる知識と教養を、また、各専門学科に進むために欠くことのできない基礎学力を身につけるため、1学年時から5学年時までのカリキュラムを、機能的に編成しており、語学等における最新のマルチメディア教室、CAI教育設備、物理、化学の実験室等すぐれた設備が導入され効率良く活用されている。

特に本校には、全国の高专に先駆けて、平成5年度から、総合的な知識と国際協調の精神を養うことを目的として、多教科教官によるオムニバス方式授業の「国際教養」が、5学年時の選択科目の中に新設された。また、平成9年度からは、3年生に選択科目が導入され、学生にとって、より一層興味ある科目を開講することとなった。

このように、国際化時代に対応した新しい教育を行うために、教養科のカリキュラム編成は十分な配慮が施されている。

#### 機械工学科

機械工学科では、機能的に編成されたカリキュラムのもとに、機械・装置およびシステムを開発・設計・製作する能力を養成することを主眼とし、さらにそれらを企画・運用管理するための創造力や応用力を養うことにつとめている。

低学年から始まる工場実習によって基礎的な製作技術を、また5年間にわたる設計製図により製図技術を体得させる。金属材料学、材料力学、水力学、熱力学、機械工作法などの専門科目は数学、物理などの基礎科目との密接な関係のもとに講義を行い、さらに十分な時間の演習・実験を行うことによって機械工学の基幹的知識を確実に習得させる。最近機械技術者にも強く要求される情報処理技術については、その教科目に加えて各専門教科目からも多角的に教授し、完成度の高いものとしている。

5学年の卒業研究では、機械工学科の全教官ならびに技官が研究のプロセスについて実践的に教授している。また、最先端の技術を紹介する場を積極的に取り入れ、大学や企業で研究開発に携わっている人による特別講義や工場見学の機会を設け、新技術に関する視野を広められるようにつとめている。

(出典：平成15年度学生便覧p. 33)

[https://itwg.numazu-ct.ac.jp/kyoumu/gakusei\\_binrann\\_naiki/gakuseibinran15r4.pdf](https://itwg.numazu-ct.ac.jp/kyoumu/gakusei_binrann_naiki/gakuseibinran15r4.pdf)

## 資料 7-1-①-2 : 学科の教育目的・教育目標

## 2005年度 電子制御工学科シラバス

## 1. 教育目的・教育目標

## 1.1 教育目的

本校は、学校教育法第五章の二『高等専門学校』の第七十条の二のとおり、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的としています。

また、本専攻科は、同第七十条の六のとおり、高等専門学校における基礎の上に、精深な程度において工業に関する高度な専門的知識と技術を教授し、その研究を指導することを目的としています。そして「制御・情報システム工学専攻」を置いた趣旨は、「マイクロエレクトロニクスの発展は、コンピュータの計算処理能力を飛躍的に増大させ、その結果として、コンピュータは情報を高速に処理する手段として、また機械を知能化する手段として各分野に広く用いられるようになりました。しかし、一般に機械の知能化は容易ではありません。例えば、生産システムを知能化するためには、ロボットなどの個々の機械への制御理論を組み込み、それら機械群を有機的に結合するための通信ルートの整備、階層制御系の設計、データベース、知識ベースの実現が図られなければなりません。これらを統合的に解決する技術者を養成するため」としています。

これらを踏まえて、工学に関する基礎学力と専門知識を身につけ、工学の社会的責任を理解し、創意工夫して、機械工学、電子工学および情報工学を社会のニーズに応用する資質のある自立の人材を養成することを、専攻科を有する電子制御工学科の教育目的とします。

## 1.2 教育目標

本学科の教育目的に対する学習・教育目標は以下のとおりです。

- ・ A. 社会的責任の自覚と、地球・地域環境についての深い洞察力と多面的考察力を身につける。(工学倫理の自覚と多面的考察力)
  1. 技術者が経験する実務上の問題点と課題を理解し、技術者と社会の関連を例を挙げて説明できる。
  2. 最近の工学倫理上の事例を挙げ、問題点と課題を理解し、技術者として適切に対応する方法について提案することができる。
  3. 二つ以上の異なる文化、価値観に基づく、工学技術に関する事項の捉え方の差異を理解し、説明できる。
  4. これからの人間関係を自然と諷和する必要のあることを理解し、工学技術上の諸課題について自然との諷和を体験すること

(出典：ウェブサイト上の各学科のシラバス)

<http://www.numazu-ct.ac.jp/NctJpg/syllabus/newsyllabusH17top.htm>

## 資料 7-1-①-3 : 各学科の概要

The screenshot shows a web browser window displaying the homepage of the Electronic Control Engineering Department. The page title is '電子制御工学科の概要' (Overview of the Electronic Control Engineering Department). The main content area has a blue header with the department name. Below this, there is a paragraph of text describing the department's focus on IC technology and interdisciplinary learning. Underneath the text, there are three small images with captions: '情報処理演習室' (Information Processing Lab), 'CAD演習' (CAD Lab), and '小型知能ロボットMIRS' (Small Intelligent Robot MIRS). A sidebar on the left lists various departments like '教養科', '機械工学科', '電気電子工学科', etc.

(出典：本校公式ウェブサイトの学科説明)

[http://www.numazu-ct.ac.jp/NctJpg/gakka\\_frm.htm](http://www.numazu-ct.ac.jp/NctJpg/gakka_frm.htm)

資料 7-1-①-4 : 新入生オリエンテーションのしおり

# 平成16年度 新入生オリエンテーションのしおり

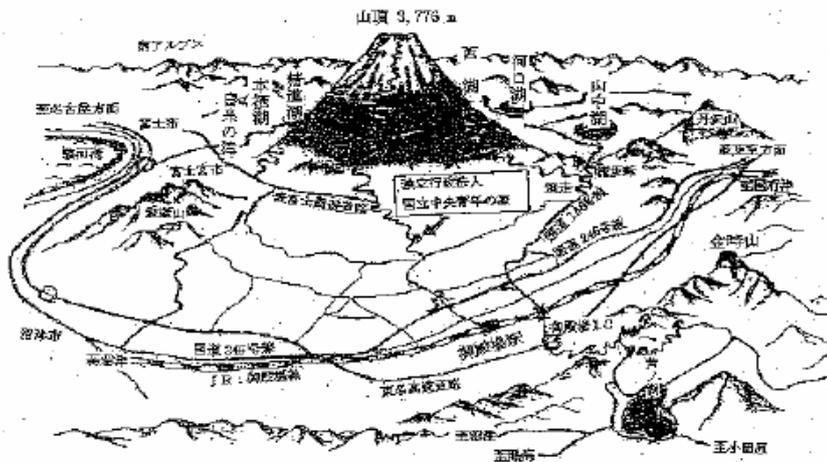
平成16年4月15日(木)～4月16日(金)

独立行政法人 面積 178,174㎡  
国立中央青年の家 標高 700m (青年群像台地)

所在地 丁412-0006  
静岡県御殿場市中畑2092-5

電話 (0550) 89-2020 (代)

FAX (0550) 89-2025



## 沼津工業高等専門学校

学 務	氏 名	
-----	-----	--

(出典：合宿オリエンテーションのしおり)

<https://itwg.numazu-ct.ac.jp/kouseihodou/orientation-gotemba/20040415.pdf>

## 資料 7-1-①-5 : 2～5年生向け年度当初ガイダンスの記録

平成 17 年 5 月 12 日

沼津高専

副校長 濱屋 先生

物質工学科 学科長 蓮実 文彦

## 平成 17 年度 沼津高専物質工学科ガイダンス実施報告書

平成 17 年度の物質工学科ガイダンスを以下の通り実施いたしましたので、ご報告申し上げます。

## 実施日時

2年：平成 17 年 4 月 6 日 始業式終了後のホームルームの時間

3年： 同上

4年： 同上

5年：平成 17 年 4 月 6 日 始業日のホームルームの時間

## 担当者

2年：学科長（蓮実文彦 教授）

3年：担任（竹口昌之 講師）

4年：担任（後藤孝信 助教授）、

5年：担任（小林美学 助教授）

## 内容

本校の教育理念、目的、教育目標、養成すべき人材像について、学生便覧を用いて学生に説明した。さらに、学科の目標についてもシラバスに明記されている内容を説明した。以下に、その実施風景の一部を撮影した写真を掲載する。



2年生 ガイダンス風景



2年生 ガイダンス風景

(出典：物質工学科の年度当初ガイダンスの記録)

資料7-1-①-6：オフィスアワー一覧表

## 平成18年度 本科学学生用オフィスアワー一覧表(五十音順)

## 機械工学科

教員名	期間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
井上	前期	放課後-17:00	放課後-17:00	放課後-17:00	放課後-17:00	放課後-17:00
岩谷	前期	16:30-17:15	16:30-17:15	16:30-17:15	16:30-17:15	16:30-17:15
		授業実施日とする。				
大賀	前期	放課後-17:15	放課後-17:15	放課後-17:15	放課後-17:15	放課後-17:15
黒下	前期	16:30-17:15	16:30-17:15		16:30-17:15	16:30-17:15
		授業実施日とする。				
新富	前期	16:30-17:15	16:30-17:15	16:30-17:15		16:30-17:15
		授業実施日とする				

表 8 平成 17 年度電気電子工学科教員のオフィスアワー (教員、常勤・非常勤五十音順)

教員名	期間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	注
江間 敏 *	通年		15:00 以降	15:00 以降	15:00 以降		
加藤 賢一 *	通年		13:05-17:00	14:00 以降			
加藤 繁	通年		16:30-17:15	16:30-17:15	8:30-12:00	8:30-17:15	
嶋 直樹 *	通年		昼休	12:00-17:15	昼休	12:00-17:15	
高野 明夫 *	通年		昼休	午前中			
高橋 儀男 *	通年		午前中	午前中		昼休	
西村 賢治 #	通年	昼休	昼休	いつでも	昼休	昼休	A
濱屋 進	通年	昼休	昼休	昼休	昼休	昼休	
平林 幹治	通年		放課後	放課後	放課後	放課後	

## 制御情報工学科教員オフィスアワー

教員氏名	対象科目名	オフィスアワー	備考
柳下福蔵	全担当科目共通	月、火曜日 13:05~16:50	
大島 茂	全担当科目共通	月、火、水曜日 16:30~17:15	第2水曜日は除く
長谷賢治	全担当科目共通	水曜日 16:30~17:15	
吉野龍太郎	全担当科目共通	毎日 ~17:15	不在時は除く
大澤和夫	下記以外の担当科目 制御情報工学基礎演習Ⅱ	月、火、金曜日 16:20~17:15 夏季開講期間中随時	夏季集中講義
藤尾三紀夫	全担当科目共通	水曜日 16:00~17:00	
鈴木茂樹	制御情報工学演習 上記以外の担当科目	月曜日17:00~18:00 前期:火曜日午後、後期:木曜日午後	
佐竹利文	全担当科目共通	月~金曜日 17:00~18:00	
芹澤弘秀			今年度不在
鈴木康人	全担当科目共通	月、水曜日 15:00~17:00	
大久保進也	全担当科目共通	月曜日の休み時間(16:30まで) 火曜日の午後(17:15まで)	

(出典：各学科のウェブサイトから)

<http://www.denki.numazu-ct.ac.jp/a-kyouiku/syllabus/>

資料 7 - 1 - ① - 7 : e-learning システムの実行例

Blackboard: コース - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

沼津高専 e-learning system ホーム ヘルプ ログアウト

沼津高専 ELS コース システム管理

コース > E5203220

アナウンス  
コース情報  
スタッフ情報  
コース文書  
課題  
コミュニケーション  
外部リンク  
ツール

コースマップ  
コントロールパネル

コース情報  
現在の場所: コース情報

教材

- E5電子回路設計のシラバス (16801バイト)
- H16年度中間試験 (79191バイト)
- H16年度期末試験 (715776バイト)
- H17-01授業の約束 (209921バイト)
- H17-02-1-ダイオード1 (237466バイト)
- H17-02-2-ダイオード2 (2138391バイト)
- H17-02-3-ダイオード3 (243531バイト)
- H17-03-1-2SC1815 (2251571バイト)
- H17-03-2-2SC3329 (2283961バイト)
- H17-03-3-2SC3670 (2218431バイト)
- H17年度6月試験(画像) (1814221バイト)

この科目は、E科3,4年生の電子回路の後を受けて行われるものです。

ページが表示されました マイ インターネット

Blackboard: コース - Microsoft Internet Explorer

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

沼津高専 e-learning system ホーム ヘルプ ログアウト

沼津高専 ELS コース システム管理

コース > E5203220

アナウンス  
コース情報  
スタッフ情報  
コース文書  
課題  
コミュニケーション  
外部リンク  
ツール

コースマップ  
コントロールパネル

掲示板

フォーラムの追加

1 望月(孔)への質問 [修正] [削除]

何でも、質問がありましたら送信してください。  
授業を進める上で良い質問でしたら、望月(孔)から早めに回答します。また、他の学生でも答えられることでしたら、是非答えてやってください。そのエビデンスを以って、回答した学生の評価点アップになることがあります。

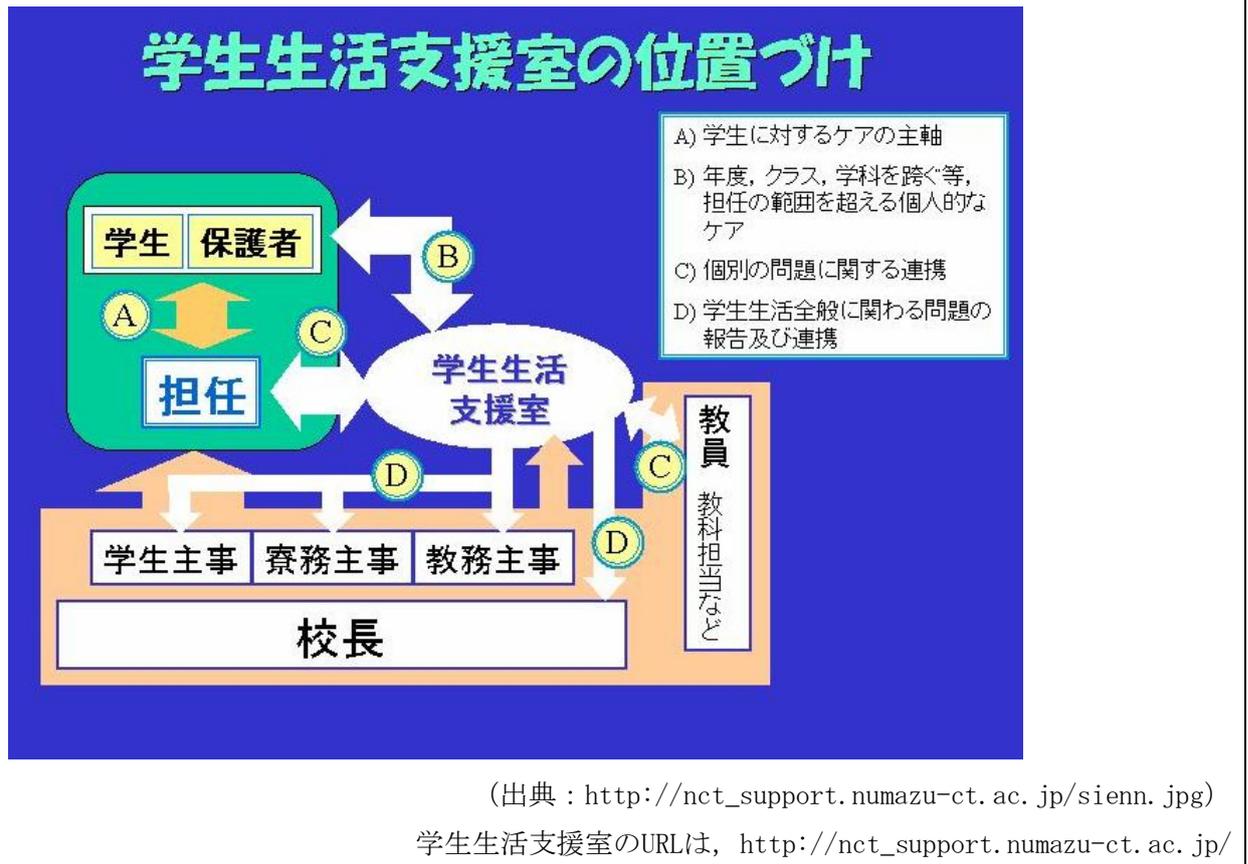
[メッセージなし]

OK

ページが表示されました マイ インターネット

(出典 : <http://blackb.numazu-ct.ac.jp/>)

資料 7-1-①-8 : 学生生活支援室の、学生・担任・学校・保護者とのつながり



## 資料 7-1-①-9 : 「自主学習の勉強部屋」の記録



勉強部屋総括

2004, 12, 10

## 1) 目的

前期末試験結果において成績不振な 1 年生 20 名の勉学状況を各自個別に面接して調査したところ、1 名を除いて、毎日一定時間寮において勉強している者はいなかったことにより、後期中間試験までの放課後 1 時間程勉強を自主的にするところを設置し、分からないところは高学年生に教えてもらうことにより、自学自習の習慣を付ける様にする。

## 2) 実施状況

11 月 10 日より 11 月 30 日までの 10 日間、毎日授業の有る日の 16 時 30 分より約 1 時間選択教室Ⅱにおいて開催した。

出席 1 年生の状況は表 1 のようであり、1 名のみが全日程に出席し、殆どは半分の日程に出席するに留まった。これに対して高学年生は殆ど毎日誰かがサポートしており、1 年生よりサポート学生の方が多くもあった。

一方教員の参加は支援室以外の教員は 4 名であった。

## 3) 問題点と今後の有り方

問題点としては、授業修了が 16 時 30 分以前であると一旦寮に帰り再び登校することになり、次第に足が出なくなることになる。勉強部屋の雰囲気は勉強するためのところなので、一度行かないと入りづらいところがある。毎日担任などから催促されることもなく自主性に任されているので、あいまいになる。

以上のことから、毎日一定時間自習をする習慣になったのは 20 人中 2 人で、それに近くなったのは 2 人であり、まだ 4 分の 3 はその習慣の大切さが理解出来ないままである。これは、これまで全く習慣として存在していないので、新たな習慣作りの必要性を如実に表しているとみられる。従って今後この自習の習慣を、入学当初から厳しく付けさせていく対策が必要である。そのためには、寮での生活において自習時間には必ず自習をする習慣を 4 月初からつけていくようにする対策を早急につくり、来年度の 4 月より実施していけるように今から準備していかなければならないという結論になった。

(出典：学生生活支援室)

資料 7-1-①-10 : 本校規則集から (抜粋)

- 沼津工業高等専門学校組換えDNA実験安全管理規則
- 沼津工業高等専門学校組換えDNA実験に関する安全委員会規則
- 沼津工業高等専門学校における動物実験に関する指針
- 沼津工業高等専門学校動物実験委員会規則
- 沼津工業高等専門学校情報ネットワークシステム規則
- 沼津工業高等専門学校施設整備計画委員会規則
- 沼津工業高等専門学校防災対策委員会規則
- 沼津工業高等専門学校防災対策要綱
- 沼津工業高等専門学校防火管理規程
- 沼津工業高等専門学校校内環境保全委員会規程
- 沼津工業高等専門学校毒物及び劇物管理規則
- 沼津工業高等専門学校毒劇物管理委員会規則
- 沼津工業高等専門学校電気工作物保安規程
- 沼津工業高等専門学校学外実習規程
- 学外実習学生心得
- 沼津工業高等専門学校専攻科実習規則
- 沼津工業高等専門学校情報処理教育センター規則
- 沼津工業高等専門学校地域共同テクノセンター規則

(出典 : 沼津高専規則集から抜粋)

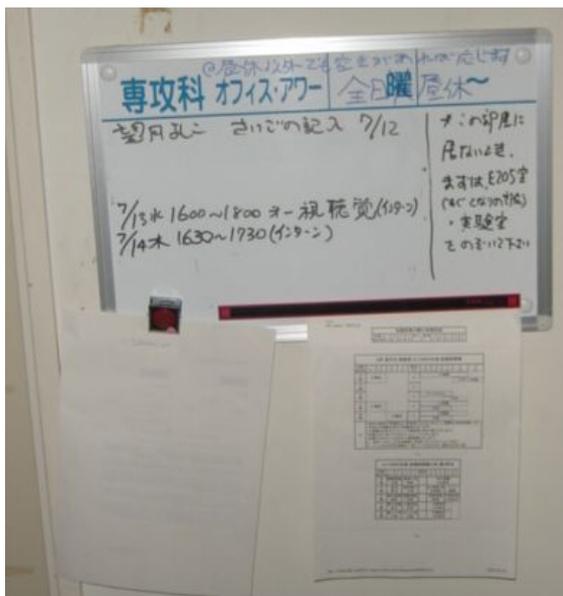
<http://www.numazu-ct.ac.jp/NctJpg/kisokusyuu/kisokusyuu-mokuji.htm>

資料 7-1-①-11 : 専攻科指導のためのオフィスアワー

<b>教科書等</b>	[正]初めての「工学倫理」: 斎藤了文、坂下浩司: 昭和堂
<b>先修科目</b>	環境学基礎
<b>関連サイトのURL</b>	<a href="http://www.onlineethics.org/">http://www.onlineethics.org/</a>
<b>備考</b>	オフィス・アワー: 金曜日 13:10~14:30 及び 16:30~17:30 曜日を問わず16:30~17:30

(出典 : 専攻科シラバス)

[http://syllabus.numazu-ct.ac.jp:8080/adedum/SubjectBrowse/syllabus\\_list](http://syllabus.numazu-ct.ac.jp:8080/adedum/SubjectBrowse/syllabus_list)



(出典 : 専攻科担当教員の教員室前の写真)

観点7-1-②：自主的学習環境（例えば，自主学習スペース，図書館等が考えられる。）及び厚生施設，コミュニケーションスペース等のキャンパス生活環境等が整備され，効果的に利用されているか。

（観点に係る状況）自主的学習環境は，各クラスのホームルーム教室のほか，図書館（資料7-1-②-1）及び総合情報センター（資料7-1-②-2）を利用に供している。特に，図書館は，学生の便宜を考慮し，平成16年度に開館時間を午後8時までに延長するとともに，閲覧機をプライバシー保護の観点から個人ごとに区分した物に整備したところである。なお，図書館で可能なパソコンによる蔵書検索も学習に役立っている。

本校は学生のIT関連の教育環境は総合情報センター以外でも整備が進んでいる。低学年の語学教育を中心としたマルチメディア教室や，情報処理を学ぶ学科の科別PC室，各学科卒研室でもパソコンの利用環境が整えられている（資料7-1-②-3）。また教室や図書館では学生が用意した無線LANを介してインターネットへの接続が可能である。こうした充実した環境を背景に，平成17年度から e-learning システムによる学生の学習支援も開始した（資料7-1-②-4）。

厚生施設は，福利施設（資料7-1-②-5）と課外活動用各施設（資料7-1-②-6）が整備されており，学生の課外活動と学生及び教職員の福利厚生に供している。

コミュニケーションスペースは，尚友会館，講義棟の学生リフレッシュコーナー，学生寮談話室等が利用されている。

こうした施設の効果的な利用のために，清掃状況等を厚生補導委員会が定期的巡回によって確認している（資料7-1-②-7）。

（分析結果とその根拠理由）優れている。図書館の開館時間延長及び閲覧機の整備により，学生が放課後存分に自主学習できる環境が整えられたほか，福利施設等も新築・改修等を計画的に行い，効果的に利用できる環境を整えている。

資料 7 - 1 - ② - 1 : 図書館の概要

図書館

[図書館のホームページへ](#)

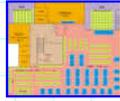
図書館は、学校全体の学習センターとしての役割を果たしている。ここには、教育及び研究に必要な情報資料を中心に、授業に欠かせない参考図書、豊かな情操を養うための教養書、美術書等が開架書架に並べられている。また、情報化時代に即応して学術専門雑誌、一般及び自然科学雑誌のほか、新聞、白書等の政府刊行物等も自由に閲覧できるようになっている。

本校では、図書館業務の電算化により、貸出・返却業務の自動化はもとより、パソコンによる図書検索、蔵書の管理を行っている。

- 閲覧貸出法・開架式
- 閲覧定員・100 座席
- 検索用端末 2 台

※平成17年3月31日現在

区分	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	言語	文学	合計
● 図書の冊数											
和漢書	4753	2264	4575	3193	14633	16557	325	2025	2665	6982	57972
洋書	587	414	320	243	9545	3234	50	155	783	724	16055
計	5340	2678	4895	3436	24178	19791	375	2180	3448	7706	74027
割合(%)	7.2	3.6	6.6	4.6	32.7	26.7	0.5	2.9	4.7	10.4	100
● 雑誌の種類											
和雑誌	99	3	20	19	47	148	5	5	14	5	365
洋雑誌	7	2	4	3	130	79	0	6	3	1	235
計	106	5	24	22	177	227	5	11	17	6	600



図書館配置図



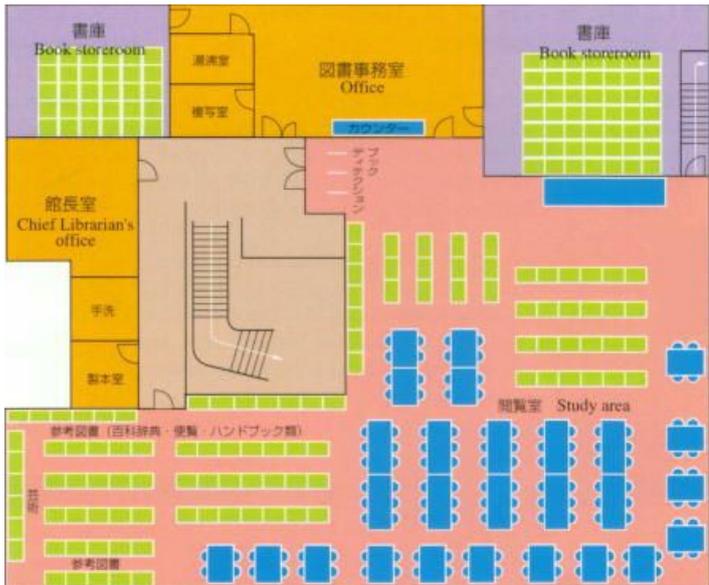
図書館



閲覧室

(出典 : [http://www.numazu-ct.ac.jp/NctJpg/sisetu\\_L.htm](http://www.numazu-ct.ac.jp/NctJpg/sisetu_L.htm))

注意 : 平成17年 7 月現在では、検索用端末は 6 台  
(うち 2 台は学内情報、残り は学外データベース検索用)



(出典 : <http://www.numazu-ct.ac.jp/images/tosyohaitizu.jpg>)

前頁からの続き

(資料 7-1-②-1 : 図書館の概要)

H 15				H 16				H 17				
	8:00~ 17:00	17:00~ 18:00	合 計		8:00~ 17:00	17:00~ 18:00	17:00~ 20:00	合 計		8:00~ 17:00	17:00~ 20:00	合 計
4	2,572		2,572	4	2,395			2,395	4	2,354	688	3,042
5	2,787	55	2,842	5	2,265	24		2,289	5	2,344	1,042	3,386
6	2,510	26	2,536	6	2,675	89		2,764	6			
7	1,812		1,812	7	1,910			1,910	7			
8	832		832	8	763			763	8			
9	2,375	81	2,456	9	2,470		752	3,222	9			
10	2,325		2,325	10	1,993		543	2,536	10			
11	2,211	41	2,252	11	2,325		832	3,157	11			
12	1,710	42	1,752	12	1,695		510	2,205	12			
1	1,778		1,778	1	1,660		400	2,060	1			
2	1,779	93	1,872	2	2,026		760	2,786	2			
3	766		766	3	700			700	3			
計	23,457	338	23,795	計	22,877	113	3,797	26,787	計			

(出典 : 図書室運営委員会資料)

資料 7-1-②-2 : 総合情報センターの概要

総合情報センター

[総合情報センターのホームページへ](#)

情報処理を取り巻く環境は、IT革命という言葉に代表されるように劇的に進化している。インターネットを一般の人が利用するのが当たり前になってきたのは数年前のことだが、最近では、コンピュータ以外に携帯電話などの移動体通信機器でもインターネットに接続できるようになり、有線接続についてはこれまでのモデムやISDNを利用した低速な接続環境から、ADSLやケーブルテレビ、光ファイバを利用したブロードバンドと呼ばれる高速接続環境への移行が進んでいる。

また、情報処理教育は、今や小中学校教育に取り入れられるまでに一般化し、情報処理機器の活用は個人生活から社会生活に至るまで浸透しつつある。このような状況に対応するため、センターでは1年次より全学科の学生を対象にコンピュータを利用した情報処理教育が行われている。また2年次以降においては各学科の専門科目に関連した情報処理教育が行われ、情報処理に強い技術者育成に中心的な役割を担っている。

本校は光ケーブルにより学内LANローカルエリアネットワークが構築されており、学内全域からセンターの計算機群を利用することが可能である。さらに学内LANからは、常時インターネットが利用可能である。センターの計算機システムは数台のLinuxサーバにより構成されている。第1演習室には49台、第2演習室には25台のコンピュータがネットワークで接続されており、別々の授業を行うことができる。それぞれのコンピュータはLinuxとWindowsの2つのOSを選択して起動することができる。利用可能なソフトウェアは、言語関係としてFortran, Pascal, C, C++, Java, Perl, Rubyなどがある。またワードプロセッサ、グラフィックスソフト、表計算、数式処理、データベースなどのアプリケーションも充実している。

なお、センターでは専任の教員、技術職員を擁しており、教育研究環境の維持、向上に努めている。

総合情報センター  
ネットワーク構成図

第1演習室

ページが表示されました

インターネット

(出典 : [http://www.numazu-ct.ac.jp/NctJpg/sisetu\\_I.htm](http://www.numazu-ct.ac.jp/NctJpg/sisetu_I.htm))

前ページからの続き

(資料 7-1-②-2 : 総合情報センターの概要)

++目次++

1	総合情報センターについて .....	1
1.1	総合情報センターの概要 .....	1
1.2	施設について .....	1
1.3	システム構成 .....	3
1.4	諸注意 .....	6
2	WINDOWSXP の利用について .....	8
2.1	WINDOWSXP のログイン・ログアウト .....	9
2.2	WINDOWSXP の画面とマウスの操作 .....	13
2.3	一般的なアプリケーションの使い方 .....	14
2.4	日本語入力-MS-IME2003 (ナチュラルインプット 2003) の操作 .....	20
2.5	フォルダ (ディレクトリ) とファイルの操作 .....	23
2.6	E-MAIL の使い方 .....	29
2.7	WWW ブラウザ (INTERNET EXPLORER) の使い方 .....	37
3	LINUX の利用について .....	40
3.1	LINUX のログイン・ログアウト .....	41
3.2	X WINDOW SYSTEM について .....	43
3.3	ファイル・ディレクトリの操作 .....	45
3.4	テキストエディタの利用 .....	51
3.5	日本語入力 .....	52
3.6	プログラミング .....	53
3.7	印刷 .....	56

(出典：総合情報センター利用の手引2005)

総合情報センター編集の学生向けマニュアルリスト

- ・ Wordの操作 (30ページ)
- ・ Excelの操作 (39ページ)
- ・ Web Pageの作成 (33ページ)

(出典：総合情報センター)

資料 7-1-②-3 : 学内のパソコン利用環境

### 学生が使えるパソコン

場所	台数	主な対象
総合情報センター	75台	全ての学生
マルチメディア教室	46台	全ての学生
M, E, D, S科のPC室	123台 (うちわけ	学科の学生 M科 23台 E科 25台 D科 45台 S科 30台)
卒研室や実験室	377台 (うちわけ	卒研や実験を行う学生 M科 68台 E科 75台 D科 70台 S科 65台 C科 99台)
寮の棟ごとのPC室	1台/棟以上	寮生
総計	計628台以上	

(出典：基幹ネット管理)

資料 7-1-②-4 : e-learning システムの運用画面



(出典：http://blackb.numazu-ct.ac.jp/)

資料7-1-②-5：福利施設（尚友会館）の概要

## 尚友会館(福利施設)

尚友会館は、学生及び教職員の福利厚生を図ると共に、学生の課外活動を育成し、学生生活を豊かにすることを目的に建設された。

構造は、鉄筋コンクリート二階建てで、延べ面積は723m<sup>2</sup>である。

会館には、一階に食堂・売店・理容室、二階に保健室・相談室・研修室・課外活動共用室があり、学生・教職員の食事、研修及び会議等に利用される。



館内配置図



尚友会館



食堂



カウンセリングルーム



保健室

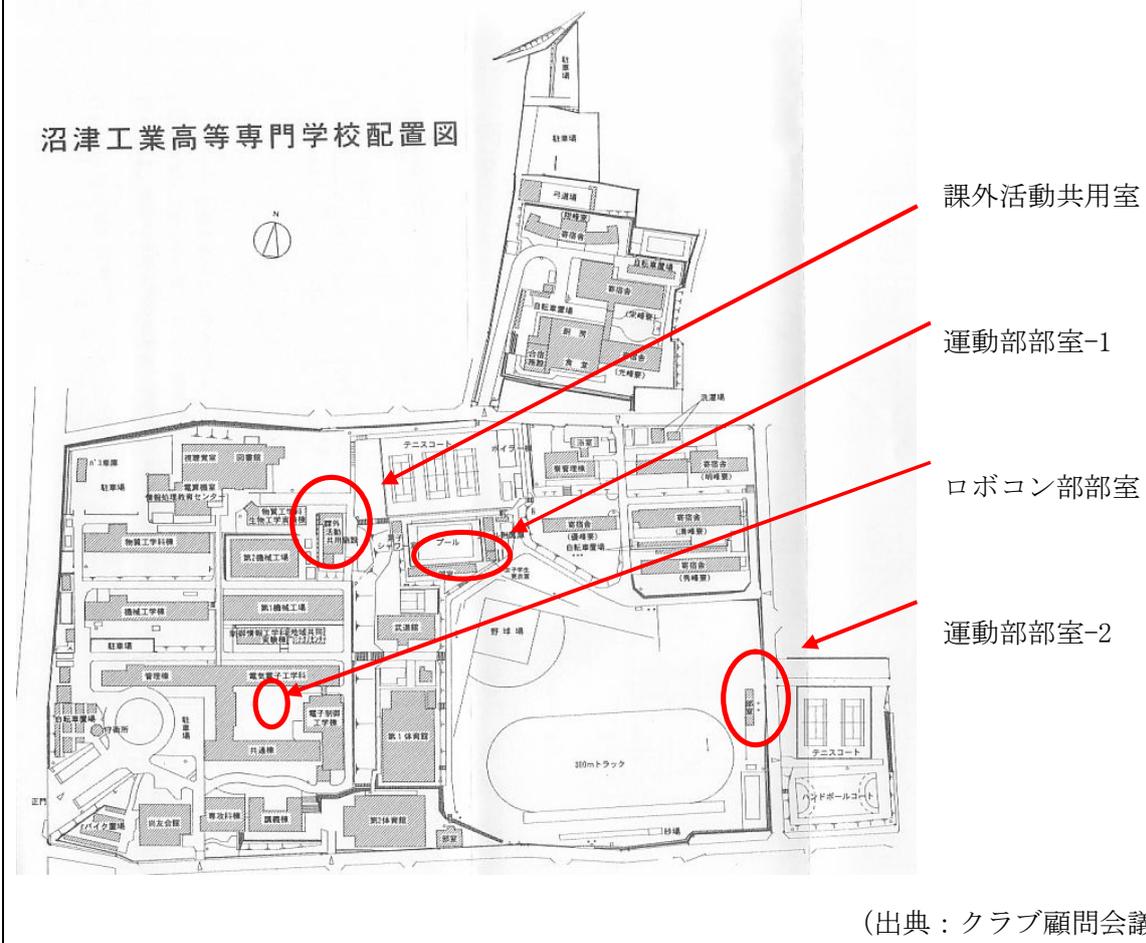
(出典：http://www.numazu-ct.ac.jp/NctJpg/sisetu\_S.htm)

### 平成17年度学生食堂利用状況

項目	営業日数	A定食	B定食	丼	パスタ	カレー	蕎麦等	ラーメン	計
4月	22	560	328	313	84	245	214	174	1,918
5月	18	541	240	340	76	206	234	138	1,775
6月	18	406	208	271	67	176	185	108	1,421

(出典：尚友会館内学生食堂の利用実績)

## 資料 7-1-②-6 : 課外活動用各施設の概要



## 資料 7-1-②-7 : 定期的巡回による清掃状況等の確認

From: Miho Tanigaki <tanigaki@numazu-ct.ac.jp>  
Date: Fri, 21 Jan 2005 16:49:48 +0900  
To: kousei

本日午後 3 時から、大石先生と学内巡回をいたしました。

D科棟・講義棟、女子更衣室・女子シャワー室、部室周辺、図書館等を巡回しました。  
授業中でチェック出来なかった教室を除き、どこもきれいでした。  
特定の子の机周りがだらしない感じがすることもありますが、  
教室全体の清掃はきちんと行われている印象でした。  
荷物を置いて他教室に移動しているクラスもありましたが、  
貴重品は見受けられませんでした。  
蛍光灯・暖房・換気扇の消し忘れもありません。  
ただ、E2教室だけはちゃんと清掃が行われていない感じでした。  
またリフレッシュルームの長椅子を教室に持ち込んでいるのも良くないと思いました。

講義棟の女子トイレの私物は、担任の先生のご指導や貼り紙の効果か、  
1~4階は完全になくなりました。しかし地階だけは減りません。  
特に洗面台に歯ブラシを置いているのは、  
手を洗うときに飛び散ったウイルスが付着する可能性があり、危険だと思います。  
ちょうどトイレにいたS3の女子学生に声をかけましたが、  
その子が置いているのではないのか、無反応でした。  
大石先生と私の名前で置き手紙をしておきました。

本日のE科棟横にとまっている車は、  
白いクラウン 静岡XX XX-XX です。

-----  
Miho Tanigaki tanigaki@numazu-ct.ac.jp

(出典：厚生補導委員会内メール)

観点 7-1-③：学習支援に関する学生のニーズ（例えば、資格試験や検定試験受講、外国留学等に関する学習支援等が考えられる。）が適切に把握されているか。

（観点に係る状況）学生の学習と生活に関するアンケート（資料 7-1-③-1）に資格試験等の受講意欲に関する質問項目を設けており、ニーズの把握に努めている。

（分析結果とその根拠理由）相応である。アンケート調査の結果は、全教職員に周知され、学生のニーズに関する認識の共有が図られている。

### 資料 7-1-③-1：学生の学習と生活に関するアンケート概要

戻る 最終編集2004/12/22；新規2004/10/27。

学生の学習と生活に関するアンケート

#### 1. 概要

このページは、標題のアンケートの生データとその分析結果をしめすものです。

#### 2. 報告

参考資料（他組織との比較）

- link to アサヒコム 「意欲低下」くつきり 高校生学力テスト・学習意欲アンケート 1/24。 その追加記事
- link to 高等学校教育課程実施状況調査 国立教育政策研究所
- link to 学生生活報告書 早稲田大学
- link to 学習基本調査 ベネッセによる、小中高の調査。 同 速報 ベネッセ報告の概要は、速報に十分に現れています。

第5回（2004年11月アンケート実施）

時期を見直した。（年度内のクラス指導へのフィードバックを狙った）アンケート項目は2増2減。学習に関して増やし、生活の自明なことは省いた。なお、前年度と同じ質問でも、幾つかは選択肢の並び方を修正した。

- 資料A（4ページ、pdf）調査方法と集計方法と質問内容
- 資料B（18ページ、pdf）アンケート結果のグラフ化（クラス別統計含む）
- （参考）統計作業に用いたファイル（xls, 含：VBA自作アプリ(ウイルスはありません)-望月孔)
- （参考）生データ(txt)

\* 中略 \*

第2回（2002年2月アンケート実施）

第2回からは厚生補導委員会が実施。新規に8つの質問が追加された。主な担当者は大賀校長補佐（学生主事）、学生主事補 蓮實、望月孔、川上であり、質問整備と集計と報告書原案を作成した。また、学生係主任が事務的な支援をした。

- 報告書(pdf)（調査結果概要と分析、質問の内容、学年別にグラフ化した集計結果）
- （参考）アンケート結果のクラス別学科別グラフ(pdf. '04 12月作成)←NEW！
- （参考）集計に使用したエクセルファイル(xls)
- （参考）生データ(csv)

第1回（2001年2月アンケート実施）

自己点検委員会により実施された。質問は全部で22項目である。

主な担当者は自己点検ワーキンググループの村松、芹沢（新規企画・実施・集計・報告書作成）

- 報告書(pdf), 報告書(word)（分析・集計結果・質問用紙）なお、この報告書は自己点検書の一部でもある。
- 学生のために教室に掲示した報告書(word)

//

（出典：学内限定ウェブサイト・厚生補導部分）

<https://itwg.numazu-ct.ac.jp/kouseihodou/anquete/index.html>

前ページからの続き

(資料 7-1-③-1：学生の学習と生活に関するアンケート概要)

**学生の生活と学習に関するアンケート 質問用紙**

学生の生活と学習状況を調査する目的でアンケートを行います。この調査は、学生の生活状況や意識を教員が把握し、学生が有益な助言を得られるように活用する目的で行われるものです。

以下の設問に対して、自らのことについてマークシート用紙に回答して下さい。マークシート用紙への記入にあたっては、下記のマークシート記入要綱をよく読み記入漏れやミスのないようにして下さい。

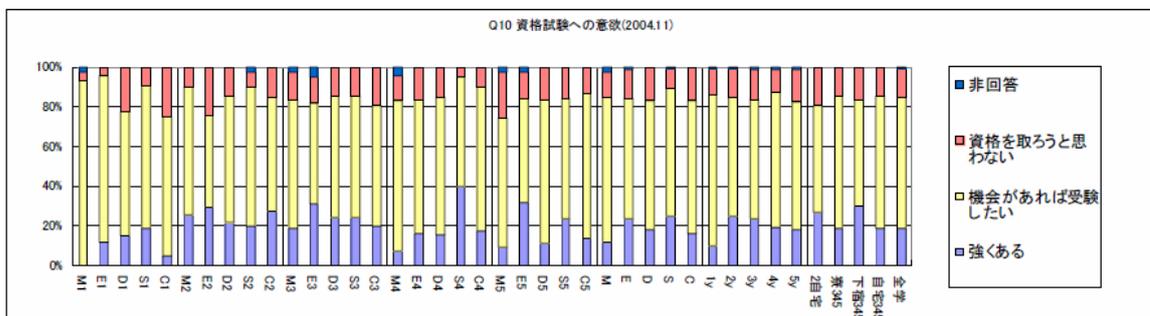
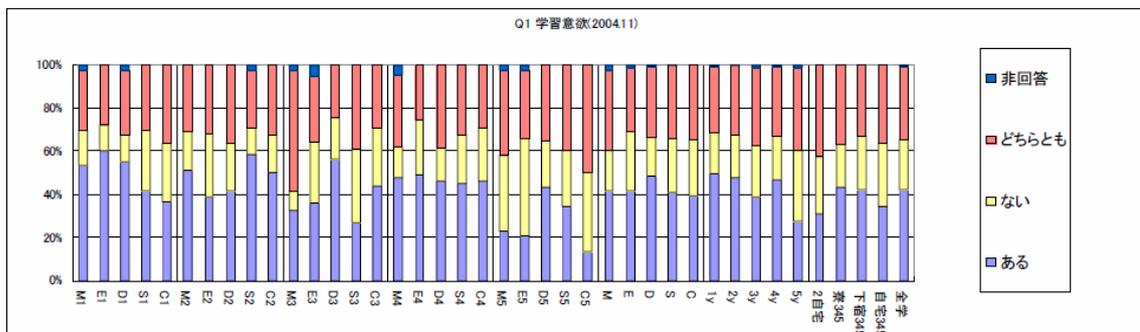
**マークシート記入要綱（授業アンケートの記入と異なる点がありますので注意して下さい）**

- No.、名前、月日の欄には何も記入しないで下さい。
- マークシートへの書き込みについては、表内の指示に従って下さい。
- 一つの質問に2つ以上のマークをしてはいけません。また、回答番号にない番号へのマークもいけません。
- マークは、HBよりも濃い鉛筆またはシャーペンで行ってください。(HB以上のものがない場合は、十分な濃さになるようにマークして下さい)
- マークシートカードの右にある「マーク例」のようにマークして下さい。

質問番号等	回答欄	質問 または 指示（特に断りが無い限り、各質問に対するマークは1箇所です）
—	区分	[A]の欄をマークしてください
調査の年	年	[4]の欄をマークしてください（本日は2004年ですから）
学科	クラス 10桁	あなたはどの学科に所属していますか [1]M科 [2]E科 [3]D科 [4]S科 [5]C科
学年	クラス 1桁	あなたは何年生ですか [1]1年生 [2]2年生 [3]3年生 [4]4年生 [5]5年生
—	番号	(番号欄の3行には何もマークしないで下さい)
—	D	(D欄の4行には何もマークしないで下さい)
1	1	現在、学習意欲がありますか？ [1]ある [2]ない [3]どちらとも言えない

(出典：学習と生活に関するアンケート実施要項)

<https://itwg.numazu-ct.ac.jp/kouseihodou/anquete/index.html>



(出典：学内教職員向けアンケート集計資料)

<https://itwg.numazu-ct.ac.jp/kouseihodou/anquete/index.html>

**観点7-1-④：資格試験や検定試験受講，外国留学のための支援体制が整備され，機能しているか。**

(観点に係る状況) 資格試験及び検定試験については，担当教職員が受験の取りまとめ(資料7-1-④-1)を行っているほか，本校の基準を満たした試験(資料7-1-④-2)の合格を規則にのっとり単位として認定している。

外国留学に関しては，学級担任教員等が随時相談に乗っているほか，留学先で取得した単位を一定の範囲で本校の単位として認定するなど体制を整えている。

MSOE (Milwaukee School of Engineering) へは毎年のように夏休み期間中3週間の研修を行っている(資料7-1-④-3)。その中で海外留学について具体的なガイダンスも行っている。その結果，ここ10年で7名の学生がMSOEを含めた外国の大学に留学している(資料7-1-④-4)。なお，こうした留学の際に，英語表記のシラバスといった必要書類を整えた(資料7-1-④-5)。

(分析結果とその根拠理由) 相応である。資格試験・検定試験や外国留学などの成果を単位として認定する制度を整えている。

こうしたものへの支援のために，図書館も蔵書を整備している(資料7-1-④-6)。

## 資料7-1-④-1：学生の資格試験等への本校教職員の関わり

From: suguro@la.numazu-ct.ac.jp (勝呂 謙)  
Date: Thu, 28 Apr 2005 12:19:05 +0900  
To: MOCHIZUKI Kouji <mochizuki-k@numazu-ct.ac.jp>

スグロです。  
数年来英検の面倒をしています。(一部略)

英検は一年に3回実施されるのですが，本校では6月と10月の2回，準会場として実施しています。(一部略)

この5年間のデータを記します。

## 平成12年度

第一回(6月)	2級	17人志願して，3人合格
	準2級	16人志願して，8人合格
第二回(10月)	2級	24人志願して，6人合格
	準2級	39人志願して，24人合格

## 平成13年度

第一回(6月)	2級	14人志願して，合格者ゼロ
	準2級	18人志願して，13人合格
第二回(10月)	2級	12人志願して，1人合格
	準2級	27人志願して，19人合格

## 平成14年度

第一回(6月)	2級	6人志願して，1人合格
	準2級	17人志願して，5人合格
第二回(10月)	2級	20人志願して，8人合格
	準2級	34人志願して，19人合格

## 平成15年度

第一回(6月)	2級	9人志願して，3人合格
	準2級	15人志願して，11人合格
第二回(10月)	2級	6人志願して，2人合格
	準2級	4人志願して，2人合格

前ページからの続き

(資料 7 - 1 - ④ - 1 : 学生の資格試験等への本校教職員の関わり)

平成 16 年度  
第一回 (6月) 2 級 6人志願して, 合格者ゼロ  
準 2 級 12人志願して, 5人合格  
第二回 (10月) 2 級 9人志願して, 1人合格  
準 2 級 18人志願して, 11人合格

以上のほか, この 5 年間に, 準 1 級を受けた人が延べて 10 人いて, 4 人合格しています。また 3 級は 3 人が受けて 3 人とも合格しています。

(一部略)

-----  
From: suguro@1a.numazu-ct.ac.jp (勝呂 諱)

追伸です。勝呂です。  
実際の仕事は次のとおりです。  
ポスター貼り。受験申し込み書を学生に配る。  
申し込み書とお金を集める。必要な手続きをして送金。  
学校に頼んで会場(教室)を借りる。  
送られてくる受験票を志願者に配る。  
試験監督。答案送付。模範解答を作って壁に張り出す。  
一次合格者に面接(二次)の指導。  
合格証書の配布。

(出典：英語担当教員からのメール(一部削除))

From: Kenji Nishimura <nisimura@numazu-ct.ac.jp>  
Date: Mon, 02 May 2005 12:11:50 +0900  
To: mochizuki-k

(一部略)

西村@今年度の工業英検担当です

(一部略)

工業英検については, だいたい以下の通りとなります。  
体裁の調整は必要に応じて勝手にやってもらっていいように構いません。

見出し

- ・ 年間の実施回数
- 2. 担当者の仕事
- 3. 本学での取り扱い
- 4. 実績

・ 年間の実施回数  
工業英検は年に 3 回実施されていて, 本校でもそれに準じて行っている。  
例年おおよそ 5 月, 11 月, 1 月の下旬に予定されている。

2. 担当者の仕事

担当者は 2 人で,

- ・ 協会から送付されたポスター以外に  
具体的な内容を伝えるポスターを作成して掲示する。
- ・ 出願者を取りまとめて, 学校単位で一括して出願手続きを取る。
- ・ 試験会場の確保や会場設営を行う。
- ・ 過去の問題を閲覧したり, トレーニングしたりできるように問題用紙,  
解答用紙を常備している。
- ・ 受験票や可否結果の公表, 合格通知の配布を行う。  
などの業務を担当している。

3. 本学での取り扱い

本検定の合格者は, 申請すれば本校の単位としても認定される。

4. 実績

可否結果については, 時期によってばらつきが多いが,

H16 年度実績では, 合格者/受験者が

5 月 2 級 0/1 人, 3 級 2/11 人, 4 級 1/2 人

11 月 2 級 2/5 人, 3 級 13/23 人, 4 級 28/34 人

1 月 2 級 1 月は実施しない, 3 級 2/5 人, 4 級 15/16 人  
ただし欠席は総数に含めた。

(出典：工業英検担当教員からのメール(一部削除))

前ページからの続き

(資料 7-1-④-1 : 学生の資格試験等への本校教職員の関わり)

From: Kiyomi OHKUBO <ohkubo@la.numazu-ct.ac.jp>  
Date: Wed, 27 Apr 2005 14:09:23 +0900  
To: mochizuki-k

・ 一部略\*  
大久保@ドイツ語です。

2002年度合格者  
4級=E 5 : 1名, S 5 : 1名, C 5 : 3名 (合計 5名)

2003年度合格者  
3級=C 5 : 1名  
4級=E 5 : 1名, S 5 : 3名, C 5 : 1名 (合計 6名)

2004年度合格者  
4級=S 5 : 2名, C 5 : 2名 (合計 4名)

2001年度以前の記録は散逸してしまいましたが、毎年大体 5名前後が合格しています。

授業としては、次の科目で独検対策を行っています。

- ・ 4年(後期)自由選択「ドイツ語演習Ⅰ」(1単位)
- ・ 5年(前期)自由選択「ドイツ語演習Ⅱ」(1単位)
- ・ 5年(通年)選択必修「ドイツ語Ⅱ」(2単位)

独検は毎年春秋 2回行われています。その都度、校内にポスターを掲示し、受験希望者には願書を配布しています。  
以上、よろしくお願いたします。  
(一部略)

(出典：ドイツ語担当教員からのメール(一部削除))

Date: Thu, 28 Apr 2005 14:25:54 +0900  
From: 青田広史 <aota@cs.numazu-ct.ac.jp>  
To: mochizuki-k@numazu-ct.ac.jp

望月先生

センターの青田です。こんにちは。

昨日お電話いただきました件、添付したファイルの通り、  
まとめてみました(単なる羅列ですが...)  
(一部略)

■情報処理技術者試験関係(担当 青田)

- 通知
  - ・ 学生玄関および総合情報センター内にポスターを掲示する
  - ・ Web上に案内を掲載する  
→ <http://www.ccst.numazu-ct.ac.jp/jouhou/jouhou.html>
- 申込
  - ・ 技術者試験センターより案内書・願書を取り寄せ(50部)、受験希望者に配布する
  - ・ 団体扱い(10名から)として申し込みをする(通常20名程度の申し込みがある)
- 教育
  - ・ 練習問題(基本情報技術者試験)をWeb上に掲載し、学生に自由に練習させている  
→ <http://www.ccst.numazu-ct.ac.jp/jouhou/practice/>  
→ e-learningシステムへの移行を検討中
  - ・ 総合情報センター内のページから試験関係のページへのリンクをはっている  
→ <http://www.ccst.numazu-ct.ac.jp/jouhou/jouhou.html>
  - ・ 月刊誌『合格情報処理』(学研)を購読し、学生に自由に閲覧させている
  - ・ 聞きに来た学生には試験の傾向や対策(勉強方法など)をアドバイスしている
- 合格発表
  - ・ 合格者を総合情報センター内の掲示板に掲示する
  - ・ 合格者を総合情報センター内のページに掲載する
  - ・ 合格者に直接メール連絡する
  - ・ 合格者に合格証書を手渡す
- データベース
  - ・ 学内の受験者数および合格者数の統計をとる
  - ・ データをWeb上に公開する  
→ <http://www.ccst.numazu-ct.ac.jp/jouhou/data.html>
  - ・ 学内データと受験者(合格者)総データを比較し、Web上に公開する

以上

(出典：情報処理担当職員からのメール(一部削除))

前ページからの続き

(資料 7-1-④-1 : 学生の資格試験等への本校教職員の関わり)

### 情報処理技術者試験データ

☆平成16年度春期

- 基本情報技術者試験  
受験者 18名 合格者 4名 合格率 22.2%
- 初級システムアドミニストレータ  
受験者 1名 合格者 1名 合格率 100.0%

☆平成15年度秋期

- 基本情報技術者試験  
受験者 17名 合格者 5名 合格率 29.4%
- 初級システムアドミニストレータ  
受験者 1名 合格者 1名 合格率 100.0%

☆平成15年度春期

- ソフトウェア開発技術者試験  
受験者 2名 合格者 0名 合格率 0.0%
- テクニカルエンジニア (データベース) 試験  
受験者 1名 合格者 0名 合格率 0.0%
- 基本情報技術者試験  
受験者 29名 合格者 7名 合格率 24.1%
- 初級システムアドミニストレータ  
受験者 1名 合格者 1名 合格率 100.0%

☆平成14年度秋期

(一部略)

☆平成10年度春期

- 第一種情報処理技術者試験  
受験者 7名 合格者 2名 合格率 28.6%
- 第二種情報処理技術者試験  
受験者 2名 合格者 0名 合格率 0%

統 計

(以下略)

(出典：情報処理試験の結果 (個人情報など一部削除))

<http://www.ccst.numazu-ct.ac.jp/jouhou/data.html>

## 資料 7-1-④-2 : 技能審査の合格に係る単位修得の認定について

## 13. 技能審査の合格に係る単位修得の認定について

- 1 学則第 18 条の第 2 項に規定する、その他文部科学大臣が別に定める学修のうち、次の表に掲げる技能審査に合格した学修については、これを本校で履修したものとみなし単位の修得を認定する。次の表以外の学修については、教務委員会で審議の上、年度当初公表する。
- 2 在籍中に得た学修についてのみ単位を認定する。
- 3 認定した単位の評価は A とする。
- 4 単位の認定を受けようとする者は、「単位認定願」を、学級担任を経て、認定を希望する学年の学年末試験が開始される 2 日前までに合格証書の写を添えて校長〔教務係〕に提出しなければならない。
- 5 成績表への記載は、技能審査名、単位数及び評価 A とする。

技能審査名	認定単位数	単位修得学年	科目の種類
実用英語技能検定 1 級	7	単位認定願が承認された学年	一般科目
" 準 1 級	5		
" 2 級	3		
" 準 2 級	1		
工業英語能力検定 1 級	6		専門科目
" 2 級	4		
" 3 級	2		
" 4 級(*)	1		
デジタル技術検定 1 級(情報部門)(制御部門)	4		
" 2 級(情報部門)(制御部門)	2		
" 3 級	1		

(注) 下位の審査で単位修得を認定された後に上位の審査に合格した場合は、上位の資格の単位数から下位の資格の単位数を減じた単位数を当該学年の認定単位とする。

(\* 平成16年度入学生から 1～3 学年取得のみ認定)

(出典：平成17年度学生便覧 p. 78)

## 資料 7-1-④-3 : MSOE への研修について

## まえがき

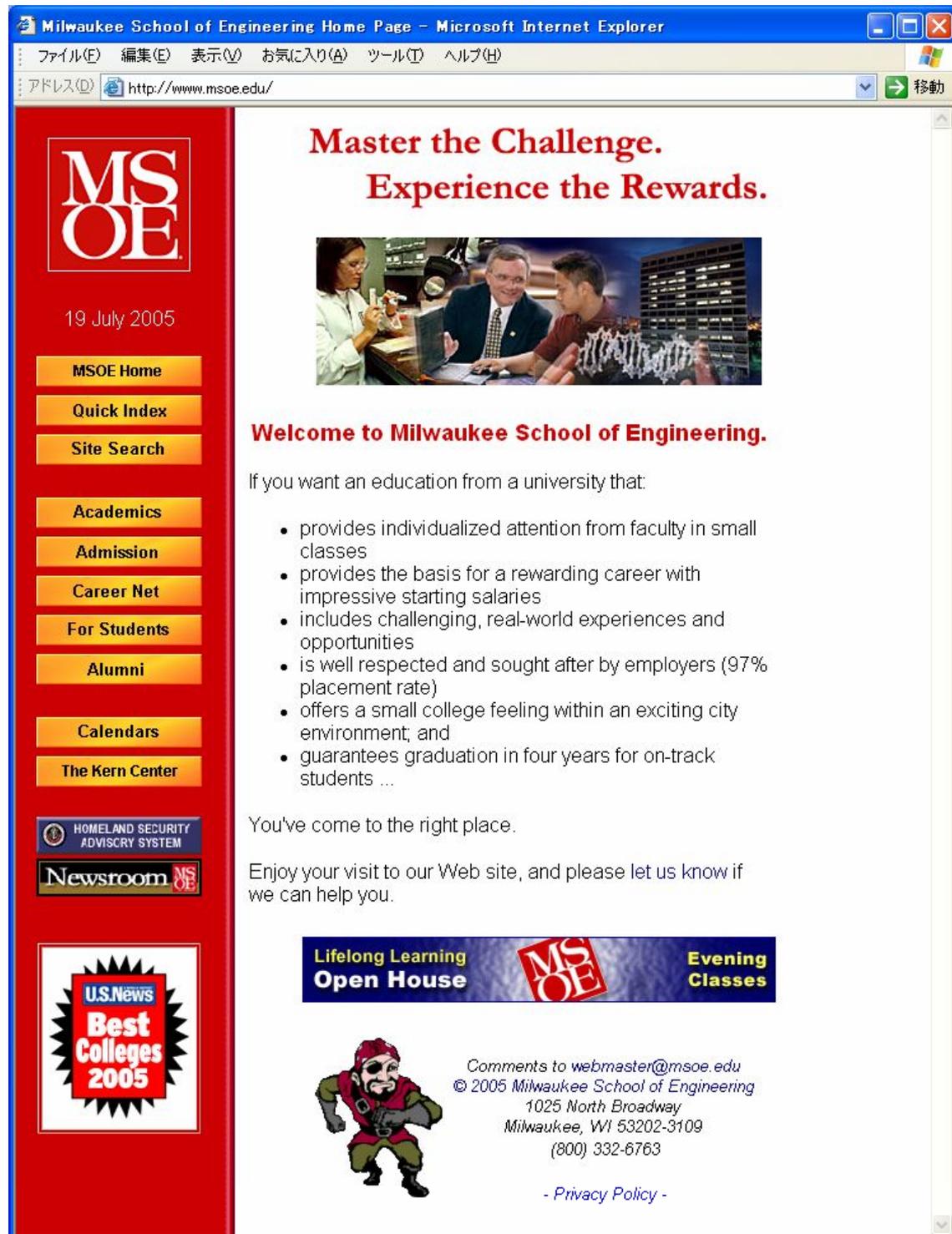
1996 年に第 1 回目を実施してスタートした Milwaukee School Of Engineering (MSOE) における海外研修も今年で第 7 回目を実施することができました。昨年度は SARS の世界的流行のため実施を断念しましたが、今年度は男子学生ばかり 9 名(1 年生 1 名、2 年生 1 名、3 年生 4 名、4 年生 3 名)の参加があり、7 月 18 日(日)から 8 月 7 日(土)までの 3 週間で行って参りました。2001 年 9 月 11 日に発生した同時多発テロ、その後のイラク戦争の影響、さらにアテネ・オリンピックの開会を間近に控えていることも手伝って、空港でのセキュリティチェックは非常に厳しく、手荷物の中の小さなハサミを没収されたり、靴まで脱いでチェックされたり、スーツケースの鍵を掛けずに預けるよう指示されたりして往復の飛行機の旅は緊張する場面がありましたが、研修期間中は毎日朝から晩まで楽しい時を過ごして参りました。"You brought good weather here with you." と MSOE の人達から言われたように、ミルウォーキーでは我々が行く数日前までは暑い日が多かったようですが、我々が滞在した 3 週間は日本の秋を思わせるようなすがすがしい毎日でした。東京で 40.5℃を記録したなどのニュースを聞くと、我々は 3 週間の快適な時を得たような気がしました。

本研修を毎回引き受けてくれている MSOE の Donna 先生が、今年も革命話のレッスン

(出典：平成16年度(第7回)MSOE紀行文集)

前ページからの続き

(資料 7 - 1 - ④ - 3 : MSOE へ研修について)



**MSOE**

19 July 2005

MSOE Home

Quick Index

Site Search

Academics

Admission

Career Net

For Students

Alumni

Calendars

The Kern Center

HOMELAND SECURITY  
ADVISORY SYSTEM

Newsroom MSOE

**U.S. News  
Best Colleges  
2005**

## Master the Challenge. Experience the Rewards.



**Welcome to Milwaukee School of Engineering.**

If you want an education from a university that:

- provides individualized attention from faculty in small classes
- provides the basis for a rewarding career with impressive starting salaries
- includes challenging, real-world experiences and opportunities
- is well respected and sought after by employers (97% placement rate)
- offers a small college feeling within an exciting city environment; and
- guarantees graduation in four years for on-track students ...

You've come to the right place.

Enjoy your visit to our Web site, and please let us know if we can help you.

Lifelong Learning  
**Open House** MSOE Evening  
Classes



Comments to [webmaster@msoe.edu](mailto:webmaster@msoe.edu)  
 © 2005 Milwaukee School of Engineering  
 1025 North Broadway  
 Milwaukee, WI 53202-3109  
 (800) 332-6763

- Privacy Policy -

(出典 : MSOE のウェブサイト)

<http://www.msOE.edu/>

資料 7-1-④-4 : 卒業時に留学希望だった学生の留学状況

当該学生の卒業	留学先または備考
・平成17年3月	2005年10月からの留学に向けて努力中
・平成16年3月	College of the Desert, California 92260 (在学中。卒業後はUniversityへの進学を希望)
・平成14年3月	不明
・平成14年3月	Milwaukee School of Engineering (MSOE) (2005年9月同校卒業予定。就職の内定済み)
・平成13年3月	不明
・平成10年3月	Northern Arizona University; Flagstaff, Arizona (Intensive English & Undergraduate Core Requirements) (August 1998 - May 1999) Iowa State University; Ames, Iowa (Computer Engineering) (August 1999 - May 2002)
・平成7年3月	3ヶ月の海外語学留学実施(留学先不明)

(出典：各科の学科長から)

資料 7-1-④-5 : 英語のカリキュラム表とシラバス

平成14年度 教育課程表							
Curriculum (April 2002 to March 2003)							
電気電子工学科							
Department of Electrical and Electronics Engineering							
注: H13年度学生便覧p.21(1-4年生=H11-入学), p.22(5年生=H10入学から)							
授業科目 Subject	単位 Credits	学年別配当 Grades					備考 Remarks
		1	2	3	4	5	
応用数学A Applied Mathematics A	2				2		
応用数学B Applied Mathematics B	2				2		
応用物理 Applied Physics	4			2	2		
電磁気 Electro-magnetism	6		2	2	2		
直流回路 Electric Circuit Theory	2	2					
回路理論 Circuit Theory	6		2	2 e	2 e		
回路網理論	2					2	
図学・製図 Drawing & Drafting	2	2					
情報処理基礎 Introduction to Information Processing	2	2					
ロジック回路 Logic Circuit	2		2				
プログラミング Computer Programming	2			2 e			
コンピュータ工学 Computer Engineering	1				1 e		
通信工学 Communication Engineering	2				2 e		
情報理論 Information Theory	2					2 e	
電子回路 Electronic Circuit	4			2 e	2 e		
電子回路設計 Design of Electronic Circuit	1					1 e	
電子材料 Electronic Materials	2				2 e		
気体電子工学 Gaseous Electronics	2				2 e		
固体電子工学 Solid State Electronics	2					2 e	
マイクロ波工学 Microwave Engineering	2					2 e	
電気電子計測 Electrical & Electronic Instrumentation	2			2 e			
機械工学概論 Introduction to Mechanical Engineering	2		2			2	(E5ぶんじま, H14年度まで実施)
電気電子機器 Electric Machines	2			2 e			
パワーエレクトロニクス Power-electronics	1					1 e	
自動制御 Automatic Control	1				1		
制御工学 Control Engineering	2					2 e	
電力工学 Power engineering	2					2 e	
工業英語 Technical English	1					1	(H15年度から開講。E13年度までE4で実施)
電気電子工学実験 Experiments in Electrical & Electronics Engineering	17	1	4 e	4	4	4 e	
卒業研究 Study for Graduation	8					8	MTZK
新エネルギー工学 Alternative Energy Engineering	1				1	1	4年または5年で履修可
CAD・回路シミュレーション演習 CAD and circuit simulator	-						

(出典：電気電子工学科)

注：“e”のついた科目には英語のシラバスも用意されている

前ページからの続き

(資料 7 - 1 - ④ - 5 : 英語のカリキュラム表とシラバス)

E4 電子材料 望月孔二

Subject	Electronic Materials
Academic year	4th
Credit	2 (30 weeks)
Lecture Hours per Week	2
Lab Hours per Week	0

The objective of this course is acquirement of electronic materials.

#	Title	Subject
1.	Introduction	Application of electronic materials
2.	Basic theory-I	Crystal structure
3.	Basic theory-II	Schrodinger equation
4.	Basic theory-III	Behavior of electron in potential well
5.	Basic theory-IV	Statistics
6.	Basic theory-V	Energy band
7.	Exercises	
8.	Conduction-I	Conductivity of metals
9.	Conduction-II	Conductivity in magnetic field
10.	Semiconductor Intro. -I	Summary
11.	Semiconductor Intro. -II	Intrinsic, p-type, n-type
12.	Semiconductor Intro. -III	Device process
13.	Semiconductor-I	Fermi energy and carrier concentration:intrinsic
14.	Semiconductor-II	Fermi energy and carrier concentration:n/p-type
15.	Examination	
16.	Semiconductor-III	Optical property
17.	Semiconductor-IV	Current density equations
18.	Semiconductor-V	Continuity equations
19.	Diode-I	P-N junction
20.	Diode-II	Variable capacitance diode
21.	Diode-III	Light emit diode
22.	Diode-IV	Other diode (Esaki, IMPAT, Solar cell)
23.	Exercises	
24.	Transistor	Bipolar transistor
25.	Transistor	FET
26.	Magnetic materials-I	Theory
27.	Magnetic materials-II	Devices
28.	Dielectric materials-I	Theory
29.	Dielectric materials-II	Devices
30.	Final examination	

(出典：電気電子工学科)

以上 2 点の資料は平成14年10月に学生が米国に留学した際に整備

## 資料 7-1-④-6 : 資格取得などを支援する図書館の蔵書

検索結果: 23冊

チェック	番号	書名	著訳編者	出版社	出版年
<input type="checkbox"/>	1	TOEFL・TOEIC日本人の英語力	鳥飼玖美子	講談社	
<input type="checkbox"/>	2	TOEIC OFFICIAL TEST- PREPARATION GUIDE	BO ARBOGAST [& OTHERS]	PETERSON'S	
<input type="checkbox"/>	3	TOEIC TEST英文法出るとこだけ!	小石裕子著	アルク	
<input type="checkbox"/>	4	TOEIC TEST模擬試験パーフェクト攻略	松野守峰	桐原書店	
<input type="checkbox"/>	5	TOEIC official test- preparation guide	Bo Arbogast ... [et al.]	Peterson's	
<input type="checkbox"/>	6	TOEICの英語	長崎玄弥	荒竹出版	
<input type="checkbox"/>	7	TOEICテストボキャブラリー	藤浦文夫	オーム社	
<input type="checkbox"/>	8	TOEICテストリスニング	井洋次郎	オーム社	
<input type="checkbox"/>	9	TOEICテスト完全総合対策		マクミラン ランゲージハウス	
<input type="checkbox"/>	10	TOEICテスト完全模擬問題集	三枝幸夫 監修	ジャパントイムズ	

(出典: 沼津高専図書検索システムにて, 「TOEIC」で抽出した蔵書)

検索結果: 54冊

チェック	番号	書名	著訳編者	出版社	出版年
<input type="checkbox"/>	1	初級情報処理技術者育成指針	日本情報処理開発センター	日刊工業新聞社	
<input type="checkbox"/>	2	初級情報処理技術者育成指針	日本情報処理開発センター 編	日刊工業新聞社	
<input type="checkbox"/>	3	初級情報処理技術者育成指針	日本情報処理開発センター 編	日刊工業新聞社	
<input type="checkbox"/>	4	昭和55年度情報処理技術者試験問題集(第2種)	日本情報処理開発協会		
<input type="checkbox"/>	5	詳解・第1種情報処理技術者既往問題集	オーム社 編	オーム社	
<input type="checkbox"/>	6	詳解・第1種情報処理技術者既往問題集	オーム社 編	オーム社	
<input type="checkbox"/>	7	詳解・第1種情報処理技術者既往問題集	オーム社 編	オーム社	
<input type="checkbox"/>	8	詳解・第2種情報処理技術者既往問題集	オーム社 編	オーム社	
<input type="checkbox"/>	9	詳解・第2種情報処理技術者既往問題集	オーム社 編	オーム社	
<input type="checkbox"/>	10	詳解・第2種情報処理技術者既往問題集	オーム社 編	オーム社	

(出典: 同システムにて, 「情報処理技術者」で抽出した蔵書)

観点 7-1-⑤: 特別な支援が必要な者(例えば, 留学生, 編入学生, 社会人学生, 障害を持つ学生等が考えられる)がいる場合, 学習支援体制が整備され, 機能しているか。

(観点に係る状況) 外国人留学生に関しては, 国際交流委員会に外国人留学生部会を設け, 諸課題について検討しているほか, 全員に担当指導教員(資料 7-1-⑤-1)及び学生チューター(資料 7-1-⑤-2)を割り当て, きめ細かい支援を行っている。また, カリキュラムについても, 一部特別な編成にしている(資料 7-1-⑤-3)。なお, 留学生の日本語能力については, 本校への留学が決まった後に東京で1年間(マレーシア政府派遣留学生は本国で1年以上)の日本語教育を受けている上にチューターの支援もあり, 特に問題になったことはない。

編入学生に関しては, もともと本校の授業についていけるかどうか判断するために編入学試験を行っているが(資料 7-1-⑤-4), 試験に合格した直後に学生に対し, 科目担当教員から入学までの課題(資料 7-1-⑤-5)を与えて事前準備をさせることによって入学後のスムーズな受け込みに配慮しているほか, 入学後も補習や一部特別なカリキュラムを用意するな

どの支援を行っている（資料 7-1-⑤-6）。

社会人学生や障害を持つ学生は現在在籍していないが、入学する者があった場合に備えて、指導担当教員の割り当てや補習の実施などの対応が可能である。また、教務としての申し合わせに「身体的ハンディキャップを持つ学生には、クラス担任がクラス員からチューター学生(複数)を選び、対応する」があり、適切に対応する用意がされている。

(分析結果とその根拠理由) 優れている。留学生・編入学生ともに可能な限りの配慮をして学習支援を行っており、優れていると判断できる。

資料 7-1-⑤-1 : 留学生を支援する担当教職員

国際交流委員会	○ 久賀重雄, 濱屋進, 野澤正信, 大久保清美, 大賀喬一, 江間敏, 舟田敏雄, 大島茂, 蓮實文彦, 山岸文明, 事務部長庶務課長, 会計課長学生課長(事務), 専門員(学務担当)
国際交流委員会 外国人留学生部会	○ 濱屋進, 野澤正信, 大久保清美, 大賀喬一, 江間敏, 舟田敏雄, 大島茂, 蓮實文彦, 山岸文明, ( M ), 永禮哲生, 高野明夫, 大原順一, 鄭萬溶, 長谷賢治, 鈴木茂樹, 後藤孝信, 新富雅仁, 水口好美, 村上真理, ( 事務 ) 専門員(学務担当)
外国人留学生指導教員	( M ), 永禮哲生, 高野明夫, 舟田敏雄, 大原順一, 鄭萬溶, 長谷賢治, 鈴木茂樹, 後藤孝信

(出典：平成17年度委員会名簿)

直接 <http://jimubu.numazu-ct.ac.jp/2005/iinkai17.pdf>

各種名簿のもくじ <http://jimubu.numazu-ct.ac.jp/meibotou.htm>

資料 7-1-⑤-2 : 学生チューター制度の概要

17年度 受入外国人留学生一覧表

平成17年 4月 1日作成

氏名	フリガナ	学 科	入学年月日	受入 学年	国 籍	生年月日(西暦)	性 別	区 分	指導 教員	チューター	学年
[Redacted]	[Redacted]	機械工学科	15年 4月 3日	3	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	柳田	[Redacted]	M5
[Redacted]	[Redacted]	電子制御工学科	15年 4月 3日	3	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	舟田	[Redacted]	D5
[Redacted]	[Redacted]	電子制御工学科	16年 4月 5日	3	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	鄭	[Redacted]	D4
[Redacted]	[Redacted]	制御情報工学科	16年 4月 5日	3	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	長谷	[Redacted]	S4
[Redacted]	[Redacted]	電気電子工学科	16年 4月 5日	3	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	高野	[Redacted]	E4
[Redacted]	[Redacted]	物質工学科	16年 4月 5日	3	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	後藤	[Redacted]	C4
[Redacted]	[Redacted]	機械工学科	17年 4月 4日	3	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	永禮	[Redacted]	M3
[Redacted]	[Redacted]	電子制御工学科	17年 4月 4日	3	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	大原	[Redacted]	D3
[Redacted]	[Redacted]	制御情報工学科	17年 4月 4日	3	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	鈴木茂	[Redacted]	S3
【18年度受入予定】											
[Redacted]	[Redacted]	物質工学科	18年 4月 日	3	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]			

(出典：学生課教務係，留学生のための学生チューター割当て表)

[スタンプ]

平成17年度チューター報告書 (4 月分)

留 学 生    物質工学科    4年    氏名    [Redacted]  
 チューター    物質工学科    4年    氏名    [Redacted]  
 確認：留 学 生    氏名    [Redacted]  
 確認：指導教員    氏名    [Redacted]

実施月日	曜日	実施時間帯	実施時間	内容(科目名等)
4月16日	土	12時00分~14時00分	2'時間	雑談
4月17日	日	14時00分~17時00分	3'時間	生物工学
4月24日	日	14時00分~18時00分	4'時間	物理化学
4月23日	土	14時00分~17時00分	3'時間	数学
月 日		時 分~ 時 分	時間	
月 日		時 分~ 時 分	時間	
月 日		時 分~ 時 分	時間	
日 日		時 分~ 時 分	時間	

(出典：学生課教務係，チューター報告書)

資料7-1-⑤-3：留学生や編入学生のためのカリキュラム整備

学科	科目名	単位数の学年別配当			備考
		3年	4年	5年	
一般教養	日本語	2	2	1	外国人留学生は、国語、文学特論、歴史、「国際理解」の振り替え科目として履修しなければならない。
	日本事情	2	2		
	数学演習(1)*1	2			
	物理学演習	2			外国人留学生はこの科目を履修できる。
	数学演習(2)*2		2		高校からの編入学生はこの科目を履修しなければならない。
機械工学科	機械工学演習I		2		編入生、留学生が履修できる。
	機械工学演習II			2	留学生が履修できる。
	応用物理概論		1		編入生が履修できる。
電気電子工学科	応用物理概論		1		編入生が履修できる。
電子制御工学科	電子制御工学基礎演習	2			留学生が履修できる。(集中講義)
	電子制御工学演習B		2		
	電子制御工学応用演習		2		
	電子制御工学演習A		2		編入生が履修できる。(集中講義)*3
	物理学演習			2	
物質工学科	応用物理概論		1		編入生が履修できる。
	基礎分析化学実験	1	1		留学生(3年)、編入生(4年)(必修・集中)
	基礎有機化学実験		1		編入生が履修する。(必修・集中)

\*1 年次進行により、学年によって呼び名が異なる。

\*2 平成17年度5年生まで実施。

\*3 今年度は編入生がないために実施せず。

(出典：平成17年度学生便覧pp. 17-38 (カリキュラム表) から抜粋整理)

## 資料 7-1-⑤-4：編入学生募集要項

## 6. 選 拔 方 法

編入学生の選抜は、学力検査、調査書及び面接等の結果を総合して行う。

## 学力検査

## 共通科目

検査科目	出 題 範 囲	配 点
数 学	数学 I ・ 数学 A ・ 数学 II	100点
英 語	英語 I ・ 英語 II (第 3 学年第 1 学期終了程度)	100点

## 専門科目

志願学科	検査科目及び出題範囲	配 点
機 械 工 学 科	物理 I (波・運動とエネルギー) 物理 II (力と運動・電気と磁気)	100点
電気電子工学科	電気基礎	200点
電子制御工学科	物理 I (波・運動とエネルギー) 物理 II (力と運動・電気と磁気) 電気基礎	100点
制御情報工学科	物理 I ・ 物理 II (力と運動・電気と磁気) ※	100点
物 質 工 学 科	化学 I ・ 化学 II (課題研究を除く)	200点

注※「物理 I」は全範囲、

「物理 II」は (力と運動・電気と磁気) が範囲となります。

## 7. 検 査 日 時

期 日	時 間			
	8月4日(木)	9:20~10:50 数 学	11:10~12:10 英 語	13:00~14:30 専門科目

## 8. 検 査 場 所

沼津工業高等専門学校

(出典：平成18年度編入学生募集要項)

<http://www.numazu-ct.ac.jp/NctJpg/daa96mk/bosyu05/hennyu/body.pdf>

## 資料 7-1-⑤-5 : 編入学生への、入学までの特別な支援

## ・ 英語のガイダンスと課題

教材：チャート式 LEARNERS' (ラーナーズ) 高校英語  
新訂版 (数研)

はじめに：工業高校から高専に編入して来る方は語学(英語とドイツ語)に一番苦労すると思います。高専生も一般の高校生(普通科)と比べると英語の力が格段に劣る(ゆえに大学編入後に苦労する)というのが定評ですから、それほど恐れる必要はありません。しかしせっかく入学したのに4年の前期あたりで早々とつまづいてしまって専門の勉強もままならないというのでは残念です。高専生活を順調に滑り出すためにも、入学までに、現高専生の下の方のレベルぐらいまでには達してきてください。何をやればいいのかというと、「語彙(単語力)」と「文法・構文の知識」の修得です。以下に指定した手順でコツコツと課題をこなせば、いつの間にか要求される程度までには英語が身につけているはずですよ。

毎月、月末までに勉強の成果をレポートで提出してください。

- 1) 9月末までに、p. 47まで勉強する。
- 2) 10月 " p. 91 "
- 3) 11月 " p. 141 "
- 4) 12月 " p. 200 "
- 5) 1月 " p. 226 "
- 6) 2月 " p. 284 "
- 7) 3月 " p. 343 " (\*この3月分については4月の入学のとき直接提出すればよい)

## \* 中略 \*

どんな風にレポートを書けばいいか説明します。

レポートにするのはすべてのREVIEW (レビュー) と章末問題の問題と答です。

- (例1) p.22 REVIEW 1-1 書く
- 次の各文を否定文に書き換えなさい。 書く
- 1) My brother is a musician. 書く  
My brother is not a musician. } 書く  
私の兄は音楽家では有りません。
- \*このように必ずfull sentence (一文全体) を書き、文章の意味を日本語で添える。

- (例2) p.25 REVIEW 1-3 書く
- 次の各文の( )内に適当な語を入れ、付加疑問文にしなさい。 書く
- 1) Ken didn't join the baseball club. ( ) he? 書く  
Ken didn't join the baseball club, (did) he? } 書く  
Kenは野球部には入らなかったんですね。
- \*解答欄にあるようにただdidとだけ書くのではなく、上のように、面倒でもfull sentenceを書き、できた感の和訳を添える。

## \* 中略 \*

それでは他の必要なことを記します。

- a. A4サイズのレポート用紙を使うこと。
- b. 丁寧な字で、できるだけ漢字を使い、なるべく濃く書くこと。
- c. 毎回指定された期日(月末)までに、決められた分量だけ送ること。( \*当日消印有効)
- d. 教務係へ直接持参、または友人等を介して提出するの可。
- e. 封筒はA4版の大型封筒を使うこと。
- f. 宛先は 〒410-8501 沼津高専 勝呂 譲 宛  
( \* 学校の住所は 沼津市 大岡 3600ですが、専用の郵便番号なので住所を書く必要はありません)
- g. 質問等は上記勝呂宛にe-mailで: suguro@numazu-ct.ac.jp

(出典：編入学生へのガイダンス資料)

前ページからの続き

(資料 7-1-⑤-5 : 編入学生への, 入学までの特別な支援)

- ・ 応用数学のガイダンスと課題

平成17年度編入学予定者の皆さんへ

数学からのお願い。

編入学試験合格おめでとうございます。

皆さんは沼津高専で使われている教科書と問題集を今日購入されたと思います。

高等学校では専門学科によって受講する数学の内容が異なっているかもしれませんが、高専では3年までは、機械、電気電子、電子制御、制御情報、物質工学科、全5学科で同じ内容を教えています。教科書で申しますと基礎数学、線形代数、微分積分I、微分積分II以上すべてを3年間で教えています。微分積分IIの内容:偏微分、重積分、微分方程式などは普通、大学で教える内容ですが高専では3年で教えています。

内容の多さに驚かれたことと思いますが、高専では設立以来ずっと同じ内容を教えています。来年4月までに以上の内容をマスターするようがんばってください。そこで必ずマスターしなければいけないところを4月までの課題といたします。

#### 課題

教科書、基礎数学、線形代数、微分積分I、以上3冊のすべての問と微分積分IIの微分方程式の間を実際に解いて、ノートにまとめてください。特に微分と積分、微分方程式が重要です。そのノートは4月の応用数学A(応用数学I)の最初の授業時に先生に提出してください。

注)この課題の提出は入学後の単位に何ら関係ありません。皆さんの実力向上を願ってのもです。

これだけのことをやっておけば、数学、専門科目での編入学後の苦労は少しは減るでしょう。もちろん、これ以上の問題をこなす、問題集もやることを大いに勧めます。

なお、分からないところ、質問等がありましたら沼津高専 数学 谷 まで問い合わせてください。手紙でも、メールでも結構です。諸君の頑張りを期待しています。メール:tani@numazu-ct.ac.jp

(出典：編入学生へのガイダンス資料)

前ページからの続き

(資料 7-1-⑤-5 : 編入学生への, 入学までの特別な支援)

- ・ 応用物理のガイダンス

平成 16 年 8 月 23 日

平成 17 年度編入生の皆さんへ

物理・応用物理のガイダンスと課題について

教養科物理担当教官：勝山智男，住吉光介，鈴木克彦

[1] 高専 3 年までの物理科目

皆さんと同学年の高専生は、3 年生年度末（平成 17 年 3 月）までに、下記の内容を学んでいます。（数字は 1 週間の時間数を示す：1 時間は 50 分で通常 2 時間が 1 コマ）

1 年物理：前期 2、後期 2

2 年物理：前期 3、後期 3

2 年間で、高校の物理教科書を使い、「運動の表し方、力、運動の法則、運動量の保存と衝突、エネルギーの保存、熱、電荷と電場、電流による磁場、電磁誘導と電磁波、波、音、光」などを学習しています。教科書は実教出版の「物理 I, II」を使っています。

なお、2 年物理のうちの 3 分の 1 は物理実験にあてられています。

3 年応用物理：前期 2、後期 2（MESC 科）

大学 1 年教養課程の物理「科学者と技術者のための物理学 Ia, Ib 力学・波動」（学術図書出版、サーウェイ著）の、主に力学の部分

\*注意：学科により、学習範囲などが異なっている場合があります。

これらは普通の高校で行われる物理教育よりも内容も進んでいて、時間も多いです。従って 4 年次に編入して応用物理の授業や専門の授業を受ける上で基礎となる部分を前もって自分で補っておく必要があります。

上述の科目のうち、3 年応用物理の内容を補うため、編入学後 4 月から編入生に対して「応用物理概論」（前期毎週水曜日放課後予定）が行われますが、この授業はあくまでダイジェスト版であり、それ以前の物理の基礎を前提として行います。

(出典：編入学生へのガイダンス資料)

前ページからの続き

(資料7-1-⑤-5：編入学生への、入学までの特別な支援)

- ・ 応用物理の課題

[2]4年編入学までの課題

下記の課題を平成17年4月編入学時までには必ず行っておくこと。

(1) 高校物理：全学科共通：

高校で「物理」を選択している学生は、現在使っている教科書のうち、あなたが高校で学ばない所を全部良く読み理解して、各章の途中にある小問を全部と、各章末の間の奇数番を全問解いてください。(高校で「物理」を選択していない学生は、あなたの高校で現在使われている「物理」の教科書を買って、教科書全体を学習範囲としてください。) わからない所はあなたの高校の物理の先生に教えてもらってください。

これらは4月から始まる「応用物理概説」の授業の初回にそのノートを必ず提出してください。評価の対象になります。

(2) 大学教養物理：MESC科：

「科学者と技術者のための物理学 Ia, Ib、力学・波動」(学術図書出版、サーウェイ著)の教科書を必ず購入し、1～14章の各章の前半の基礎的部分に目を通しておくこと。

4年での「応用物理概説」や「応用物理」の授業を理解して、ついていくためには、これらの事前の予習が不可欠です。

(出典：編入学生へのガイダンス資料)

- ・ 機械工学科：基礎材料力学「基礎材料力学」編集委員会著、槇書店出版の第1章～3章までを読んで理解するように指示する。入学後、質問事項への解答を求める。

(出典：機械工学科)

- ・ 制御情報工学科：学科編集のホームワーク資料(四章構成、全225ページ)を課す。

(出典：制御情報工学科)

前ページからの続き

(資料7-1-⑤-5：編入学生への、入学までの特別な支援)

- ・ 物質工学科：有機化学に関して、高専生が使用する教科書のページ範囲と、キーワード11個を指定し、学習を求める。

2005年度 物質工学科4年次編入学生  
「有機化学」入学時までに勉強して欲しいこと

- \* 物質工学科3・4年次に使用する教科書：マクマリー「有機化学概説」
- \* 物質工学科3年次までに進行している内容：第1章～第5章末（一部を除いて4年次は第6章から始まる）
- \* 絶対に勉強して欲しい基本事項。
  - (1) 原子の電子配置(第1章)
  - (2) 化合物をLewis構造で描画できること(第1章)
  - (3) sp<sup>2</sup>とsp<sup>3</sup>混成軌道の相違を理解していること(第1章)
  - (4) 酸・塩基の定義：Bronsted-Lowryの定義とLewisの定義(第1章)
  - (5) 第1章～第5章までに扱われている化合物の命名法が理解されていること。
  - (6) シス、トランス、E、Z-異性体の相違を理解していること(第3章)。
  - (7) 付加、脱離、置換、転位反応の相違を理解していること。
  - (8) 反応速度と平衡を理解していること(第3章)。
  - (9) Markovnikov則とカルボカチオンの安定性(第4章)
  - (10) 共役ジエンと芳香族化合物の共鳴構造式(第4章)
  - (11) 芳香族化合物の求電子置換反応における置換基効果(第5章)
- \* 教科書問題を繰り返し解くこと。

理解できない事項は高校の先生に質問するか、下記の連絡先まで質問してください。

連絡先：〒410-8501 沼津市大岡3600

国立沼津工業高等専門学校・物質工学科

押川 達夫

TEL&FAX: 055-926-5804

e-mail: oshix@numazu-ct.ac.jp

(出典：物質工学科)

## 資料 7-1-⑤-6 : 編入学生への, 入学後の単位にならない授業

クラス	科目名	備考
M 4	編入生用実習 (仮称)	このページに資料
E 4	電気工学基礎	次ページに資料
S 4	プログラミング補講	次ページに資料
C 4	基礎化学工学補講	次々ページに資料

(出典 : 各学科の教育エビデンス)

## 編入生の補講予定 参加者 1 名

実施日時 : H 1 6 年 7 月 2 0 日 (火) ~ 2 2 日 (木)

- \* 作業着と帽子と運動靴は必ず着用する事
- \* AM 8 時 5 0 分工場前に集合 (午後 5 分前に集合)

午前 : 9 時 ~ 1 1 時 5 0 分まで

午後 : 1 3 時 ~ 1 5 時 5 0 分まで

## 7 月 2 0 日 (火)

午前 : 測定 (中川、佐藤)

ノギス、マイクロメータの取り扱い (外側、内側測定)

午後 : 旋盤 (松本)

旋盤の取り扱いと基本作業 (段削り加工等)

## 7 月 2 1 日 (水)

午前 : 手仕上げ (中川)

段付きブロックの製作 (ヤスリ、ドリル、タップ)

午後 : フライス加工 (河野)

立フライス盤の取り扱い (T 溝ナットの製作)

## 7 月 2 2 日 (木)

午前 : 溶接 (佐藤)

溶接器具の取り扱い (ガス溶接、ガス切断、アーク溶接等)

午後 : マシニングセンタ (内野)

基本プログラミングと加工

質疑応答 (N C 室)

(出典 : 機械工学科)

前ページからの続き

(資料 7-1-⑤-6 : 編入学生への, 入学後の単位にならない授業)

学科 学年	E 4	科目、 分類	電気工学基礎 Introduction to Electrical Engineering	講義、 選択		前期 1 単位		担 当	平林紘治 HIRABAYASHI Hiroharu
<b>【内容と目標】</b> 高校からの編入学生は、本校学生が3年次までに学んだ回路理論の内容において、ギャップがある。このギャップをできるだけ早い時点で解消し、4、5年次の授業についていけるようにする。 そのため、数学の基礎、交流回路及び電磁気の基礎を学習させる 数学：3角関数、ベクトル演算、複素数演算、行列、行列式等、複素数演算 回路理論基礎：交流回路基礎、電圧電流のベクトルへの変換、回路行列等									
<b>【教科書等】</b> 回路理論基礎 柳沢健 電気学会編 オーム社、プリント 参考文献：詳解電気回路例題演習(1) 山口、井上、佐藤、西田 コロナ社									
<b>【評価方法】</b> 講義の理解度、演習、修了試験の成績を総合して評価する									
<b>【関連科目】</b> 数学、電磁気、回路理論、物理									
<b>授 業 計 画</b>									
第1週 3角関数の諸定理と演習、行列の諸定理と演習 第2週 行列式と演習、オームの法則、キルヒホッフの法則の復習 第3週 行列式と演習、オームの法則、キルヒホッフの法則の復習 第4週 正弦波交流のベクトル表示 第5週 R、L、C、R-L、R-C、R-L-C回路の解析 第6週 インピーダンス、アドミッタンス 第7週 回路解析演習 第8週 電力のベクトル表示：有効電力、無効電力、皮相電力、電力ベクトル 第9週 ベクトル軌跡(円線図) 第10週 回路行列：閉路方程式、節点方程式、演習 第11週 マトリクスの線形回路網への応用 第12週 最大電力伝送定理、演習 第13週 修了試験									
<b>【備 考】</b> 集中講義方式で実施する。									

注：このシラバス平成12年度のもの。平成13年度からは非単位となったが、ほぼ同じ内容で毎年授業をしている。なお、これには書かれていないが、電磁気学についても補講を行っている。

(出典：電気電子工学科)

From: Shigeru Oshima &lt;oshima@numazu-ct.ac.jp&gt;

Date: Wed, 29 Jun 2005 14:07:25 +0900

To: MOCHIZUKI Kouji [mochizuki-k@numazu-ct.ac.jp](mailto:mochizuki-k@numazu-ct.ac.jp)

\*一部略\*

(回答) 現S4の編入学生に対して、C言語によるプログラミングの補習をしています。不定期ですが、1回2時間程度で4月から現在まで5回ほど実施しました。(担当 鈴木茂樹先生)

\*一部略\*

(出典：制御情報工学科)

前ページからの続き

(資料 7-1-⑤)-6 : 編入学生への, 入学後の単位にならない授業)

C4	基礎化学工学補講 [基化工補講] Basic Chemical Engineering	講義	学習教育 目標 B-2	竹口 昌之 TAKEGUCHI Masayuki
概要	化学工学とは、実験室的な化学操作を工業的に応用しようとした場合に必要なる方策を体系化したものである。これは化学プロセスと呼ばれる、物理化学的・電気化学的・機械工学的観点を含めた広い意味での化学変化・生物化学変化を与える生産過程を対象とする。講義ではプロセスを理解するために必要な物質収支・熱収支をはじめ流体・熱移動を中心に述べる。			
科目目標 (到達目標)	基礎化学工学は、実験室規模で開発された化学プロセスを、大量生産施設である工場生産規模に応用拡大する技術であるので、パイプラインを用いた輸送、ヒーターや熱媒体を用いた熱交換器が的確に行えるように各部装置(ユニット、単位)の設計法習得を目標とする。そのため、流動・伝熱をはじめ、拡散分離・機械的分離を学ぶ。基礎化学工学では基礎となる物質収支、エネルギー収支を理解した上で流動と伝熱について学ぶ。			
教科書 器材等	教科書：新版 化学工学 一解説と演習－ 化学工学会編 槓書店			
評価の基準と 方法	定期試験60%、演習40%の割合で評価をおこなう。			
関連科目	化学工学1、化学工学2、化学工学3、反応工学、プロセス制御、化学工学実験			
第1回 (4/23)	単位と単位換算 次元解析による実験式の作成		演習問題 演習問題	
第2回 (5/7)	物質収支による未知量の推算		演習問題	
第3回 (5/14)	流体の流れとレイノルズ数(層流・乱流) 流体の輸送・流体の管内摩擦損失		演習問題	
第4回 (5/21)	流速・流量測定法		演習問題	
第5回 (5/28)	総括伝熱係数の計算法		演習問題	
第6回 (6/11)	試験			
オフィス アワー	水曜日16時30分より			
備考				

注：この科目はシラバスと同じ形式で書かれているが、非単位のもの。

(出典：物質工学科)

観点 7-1-⑥：学生のクラブ活動や学生会等の課外活動に対する支援体制が整備され、機能しているか。

(観点に係る状況) 学生会及び各運動部・文化部などの課外活動に関しては、それぞれ顧問教員(資料 7-1-⑥-1) が割り当てられ、指導・助言が行われているほか(資料 7-1-⑥-2)、校長補佐(学生主事)を委員長とする厚生補導委員会や、クラブ顧問会議において、定期的に諸課題の報告・検討が行われている(資料 7-1-⑥-3)。また、学生課学生係による事務的支援も行われている(資料 7-1-⑥-4)。経費は全学生から徴収した学生会費によって賄われ、必要に応じて運営費交付金及び教育後援会からの援助も行われている(資料 7-1-⑥-5)。

学生の帰省先が広範囲にわたる本校では、長期休業中のクラブ活動も活発に行えるよう、男子運動部等によるクラブ活動のようにチームワーク教育を重視する際は合宿所を、卒業研究を目的としたものや女子学生のためには寮の一部を宿泊所として使用している。利用者の少ない期間もあるが、健康維持のため学生食堂が営業するようにした。また、期間中は宿直担当者も割り振って学生の指導や健康に注意を払っている(資料 7-1-⑥-6)。

(分析結果とその根拠理由) 優れている。校長補佐(学生主事)を中心とした学生主事補・クラブ顧問教員・学生課職員等による人的支援、及び運営費交付金及び教育後援会による財政支援が適切に行われており、学生の組織的活動が自主的に活動できる環境が整っている。

資料 7-1-⑥-1：学生会・クラブ・同好会顧問教員表

平成 17 年度 学生会・クラブ・同好会顧問教員

クラブ・同好会名	連絡責任者	顧 問 教 員 名				
陸上競技部	渡邊志保美	大久保清美	牛丸 真司	野澤 正信		
ソフトテニス部	塩谷 三徳	佐藤 崇徳	住吉 光介			
バレーボール部	高野 明夫	加藤 繁				
バスケットボール部	遠山 和之	西村 賢治				
野 球 部	大久保進也	鈴木 克彦	勝山 智男	藁科 知之	渡辺 敦雄	藤井 敦馬
卓 球 部	高橋 儀男	勝呂 譲				
柔 道 部	西垣 誠一	吉野龍太郎	松澤 寛			
剣 道 部	遠藤 良樹	谷 次雄	佐藤 志保			
サッカー部	平田陽一郎	押川 達夫	永禮 哲生	大石加奈子	江上 親宏	
ラグビー部	井上 聡	里下 達夫	都 薫彦	小林 隆幸		

(出典：本校学内限定ウェブサイト、各種名簿情報)

[http://jimubu.numazu-ct.ac.jp/2005/kurabu\\_doukoukai\\_komon.pdf](http://jimubu.numazu-ct.ac.jp/2005/kurabu_doukoukai_komon.pdf)

資料 7-1-⑥-2 : 学生会・クラブ等指導の記録

## 学生会顧問(学生会本部担当)引き継ぎ資料

学生会顧問 小林美学

学生会顧問は、平成 13 年度までは①学生会本部担当、②応援団、スポーツ大会、体育祭担当、③高専祭担当に別れて担当していた。平成 14 年からは顧問教官が 4 名になったので、それまで学生会本部担当者が担当していた文集活動を分離し、①学生会本部担当、②応援団、スポーツ大会、体育祭担当、③高専祭担当、④文集担当とした。この資料は、現担当者が担当した平成 14 年度、15 年度の活動から学生会本部の引き継ぎについてまとめたものである。

## 1. 組織について

- 資料 1 組織表
- 資料 2 「平成 16 年度学生会役員(案)」

## 1.1 会長について

会長は選挙で選ばれる。<sup>10月</sup>ただし、自ら立候補する学生は少ないので、通常は現役員が次年度役員の仕事に心配してくれるが、急のため夏休みが終わったあたりから次年度会長候補について現役員に聞いてみた方がよい。<sup>前任役員が次の年まで</sup>

## 1.2 会長以外の役員について

副会長以下の選挙は行われない。会長が自分と仕事をしてくれそうな学生を数人選び、それ以外は募集を行う。1 月末頃には、次年度の体制がほぼ決まる。

## 1.3 委員会について

- 資料 3 「各委員会人数割りについて」(平成 14 年度)
- 資料 4 「平成 15 年度 委員会割り振り表」

会則第 5 章で定められた 8 つの実行委員会(総務局、書記局、会計局、広報局、広報局、文集委員会、高専祭実行委員会、体育祭実行委員会、風紀美化)と、必要に応じて設けられている特別委員会(応援団、園芸委員会など)がある。<sup>はもとよりか?</sup>

委員長は 2 年生以上であるが、委員はほとんどが 1 年生。御殿場研修で学生会役員が各委員会の仕事内容を説明し、1 年生は全員がいずれかの委員会に所属するように割り当てを決めさせる。本来は 1 年生から 5 年生までが一様に学生会活動に関わるのがよいと思うが、2 年生以上は活動に非協力的であるという考えから、1 年生主体になっているようである。

各委員会の活動状況は、良くも悪くも委員長によるところが大きい。2002 年度は広報委員の活

各委員会の活動状況は、良くも悪くも委員長によるところが大きい。2002 年度は広報委員の活

i

(出典：学生会活動指導担当者の引継ぎ資料 (全 9 ページ) から)

## 前ページからの続き

(資料 7-1-⑥-2 : 学生会・クラブ等指導の記録)

From: XXXXXXXX <XXXXXX@numazu-ct.ac.jp>  
To: Nozawa Masanobu <nozawa@1a.numazu-ct.ac.jp>  
Cc: XXXXXXXX  
Subject: 報告[学生会活動6月-現時点まで]

学生主事 野沢先生

いつも御世話になっております。学生顧問のXXです。

報告がぎりぎりになってしまい申し訳ございません。

本報告の構成：

- [A] 学生会活動6-7月分の大まかな報告
- [B] その他の動いているプロジェクト：
- [C] 今後（夏休みまで）の予定について：
- [D] その他：お叱りを受けた事柄とその対応：

[A] 学生会活動6-7月分の大まかな報告

以下は、6月から現時点までの活動内容を要約です

(1) フリースロー選手権

日時：6月14日(月)-6月18日(金)12:45-13:00

イベント： フリースロー選手権

企画者： 執行部

内容：フリースローを1人1投行う。勝敗をクラスごとに決め、その成績を得点化する。

得点化された成績は今後の※通年企画に持ち越し、1月の最終通年企画でその通算成績を表彰する。

場所：第1・第2体育館

\* 33行削除\*

(6) 定例会

日時： 毎月1回火曜日

イベント： 委員会定例会議

企画者： 各部署長

内容： 各部署に分かれて活動計画を立て、実行に移す

場所： 講義棟全域

[B] その他の動いているプロジェクト：

[1] 「花壇・花畑作り」プロジェクト（園芸委員会）

[2] 「文集」プロジェクト（文集委員会）

印刷業者との接触

[C] 今後（夏休みまで）の予定について：

(1) 壮行会（応援団）

目的：高専大会出場選手の激励。

日時：7/8(Thur.)

場所：グラウンド

内容：

(1) 挨拶

(2) 選手入場

(3) 応援団によるエール

(4) 学生主事のお言葉

(5) 閉会の挨拶

追記：雨天の場合15時30分から校内放送により行う。

(2) 野球応援（応援団・1年生・吹奏楽部・学生会本部）

日時：7/19(Mon.)

[D] その他：

お叱りを受けた事柄とその対応：

(P1) シャワー室の清掃状況の不備

アクション：学生会に対しシャワー室の清掃徹底の指示を出した。

(P2) 掲示物の掲示箇所についてのお叱り

アクション：下記のルールに則って行動するように学生会に指示。

ルール：

前ページからの続き

(資料 7-1-⑥-2 : 学生会・クラブ等指導の記録)

(Rule 1) 学生会用掲示板以外には掲示を行わないこと。  
 #ただし、高専祭などの特別な行事の場合はこの適用は除外。  
 (Rule 2) 教室内の掲示も極力減らす。  
 (Rule 3) 掲示後ある期間を過ぎたものは速やかにはずす。

---  
 XXXXXX, Department of Control and Computer Engineering,  
 Numazu College of Technology  
 E-mail: XXXXX@numazu-ct.ac.jp

(出典：厚生補導委員会内メール)

資料 7-1-⑥-3 : 厚生補導委員会等による学生指導・助言の記録

	厚生補導委員会の議題 (概要)
第4回厚生補導委員会 '04/8/30	報告：学生指導4名。(今回訓告指導をした中に、沼津高専からの進路を理解できていないことが不安定な生活の一因になっている者がいた。3年生にインターンシップの説明なども含めて、過去の卒業生の進路の説明が必要。スキー研修の中に組み込むことも考えられる。)、交通事故3件、その他 議題1. 生活指導関係 (周辺クリーン作戦, 生地研) 議題2. 交通指導関係 (草刈り作業の指導, 駅P使用法指導, 通学許可証交付に伴う保険の確認, バイク通学許可保留中の2学生の保留解除時期) 議題3. <b>学生会関係 (野球応援, 夏季合宿, 高専祭準備用の学生の自動車使用)</b> 議題4. その他
第3回厚生補導委員会 '04/7/8	学生指導報告 (第2回会議以降の不祥事学生指導 2件) 議題1. 不祥事指導措置フローチャート 議題2. 生活指導関係 (学内外巡視, 学外周辺クリーン作戦, 禁煙指導, ハンドソープの設置, 不審者対策) 議題3. <b>交通指導関係 (交通指導, 『学生便覧』通学方法関連事項改訂案, 朝の交通指導)</b> 議題4. <b>学生会関係 (7月8日 (木) 壮行会, 野球応援)</b> 議題5. 研修関係 (3年生スキー合宿研修, 特に学生に積極的に参加させる方策を模索中) 議題6. その他

(出典：学内限定ウェブサイト・厚生補導部分から抜粋)

<https://itwg.numazu-ct.ac.jp/kouseihodou/houkoku/2004/index.html>

前ページからの続き

(資料7-1-⑥-3：厚生補導委員会等による学生指導・助言の記録)

## クラブ顧問会議議事録

日 時：平成17年5月24日

場 所：3階会議室

1. 平成17年度クラブ・同好会強化費予算配分について
  - ・ トライアスロン部・吹奏楽部の基本経費配分がされていないので、予算(案)の見直しをする。
  - ・ 予算配分方針の見直しを今後することになった。  
試合参加数の勘案をしてほしい。  
部員加入数を積算条件にすることについて再考願いたい。
  
2. 東京高专定期戦
  - ・ 平成17年6月18日(土)
  - ・ 沼津高专会場競技及び東京高专会場競技  
について日程一覧配付
  
3. その他
  - ・ 夜練について  
現状調査する。(アンケート作成：宮内先生・学生課)
  - ・ スキー部の練習場所について  
講義棟通路を許可する。
  - ・ 全国高专体育大会時期について  
8月末ならよいと回答する。
  - ・ 技能五輪代替施設について (10/4～12/2)  
候補予定施設・・愛鷹多目的競技場・香陵グラウンド・香陵体育館  
東芝機械体育館  
利用希望施設  
移動手段をどうするか 等。

(出典：クラブ顧問会議議事録)

資料 7-1-⑥-4 : 学生課職員による学生会活動支援の記録

歳出科目 経理分類 合 計 請求内容				運動場維持費		課外活動関係費		保健管理費	
				支出見込	支出済	支出見込	支出済	支出見込	支出済
				0	178,174	129,725	1,540,018	38,010	705,069
請求番号	請求日	摘 要	備 考						
58	6/23	綿棒 他	全国大会用						
59	6/24	レンズ	写真部			20,000			
60	6/24	弓	弓道部			22,050			
61	6/28	香陵武道場使用料	東海大会			13,200			
62	7/1	筒茶碗 他	茶道部			18,805			
63	7/1	パワースライドラダー	陸上競技部			18,690			
64	7/1	ホイッスル 他	男子バレー部			20,580			
65	7/1	ダイナミックマイク	軽音楽同好会			13,020			
66	7/1	スーパートレーニングボール	卓球部			16,065			
67	7/1	プロテクター	体操部			18,900			
68	7/1	八角素振 他	合気道部			16,485			
69	7/1	硬式ボール	野球部			23,100			
70	7/1	スポーツベンチST180	ハンドボール部			23,100			
71	7/1	リモコン三脚 他	テニス部			15,950			
72	7/1	スポンジボール	テニス部			4,410			
73	7/1	フットサルボール 他	フットサル同好会			21,210			
74	7/1	ブレーキノーツクリーナー 他	トライアスロン部			21,420			
75	7/1	ソフトウェア	囲碁将棋部			12,905			
76	7/2	CD雷込み	全国大会用						
77	7/2	野外天幕点検	全国大会用						
78	7/2	野外天幕修理	全国大会用						
79	7/2	バスケットゴールネット	男子バスケット部			13,650			
80	7/2	ラグビーボール	ラグビー部			20,475			

(出典：学生課学生係)

資料7-1-⑥-5: 学生の活動経費に関する資料

### 平成16年度学生会決算報告書

#### 収入の部

学生会費	¥6,308,000
入会金	¥812,000
前年度繰越金	¥4,336,414
コピー機収入	¥97,037
統計	¥11,953,451

#### 支出の部

		予算	実支出	残高
学生会本部	物品購入費	¥150,000	¥30,629	¥119,371
	租代	¥100,000	¥80,867	¥19,133
	コピー機維持費	¥600,000	¥468,534	¥131,466
	中部高専交流費	¥100,000	¥31,250	¥68,750
	全国高専交流費	¥100,000	¥0	¥100,000
	慶弔費	¥50,000	¥30,000	¥20,000
小計		¥1,100,000	¥640,280	¥459,720
国益委員会	北・フロッパー	¥120,000	¥97,347	¥22,653
応援団	合宿費	¥250,000	¥122,109	¥127,891
チャリレーディン	物品購入費	¥120,000	¥35,108	¥84,892
高専寮	高専寮	¥1,500,000	¥2,511,709	¥388,292
執行部	新入生歓迎金	¥440,000	¥430,661	¥9,339
	一日休校入学	¥20,000	¥2,195	¥17,805
	遺尿・季節企画	¥140,000	¥141,975	¥-1,975
体育寮	前期体育寮	¥350,000	¥274,467	¥75,533
	後期体育寮	¥260,000	¥318,424	¥-58,424
端末管理	物品購入費	¥200,000	¥140,955	¥59,045
風紀美化	エプロン・折り返	¥30,000	¥9,635	¥20,365
文楽委員会	文集作成費	¥1,000,000	¥49,144	¥950,856
部員会	クラブ・同好会引	¥1,287,120	¥2,031,410	¥265,710
	半減費	¥100,000	¥0	¥100,000
予備費	予備費	¥1,709,880	¥712,435	¥997,444
小計		¥4,515,980	¥6,489,531	¥3,028,458
統計		¥16,815,990	¥7,181,611	¥3,464,378

#### クラブ同好会費内訳

団体名	予算額	実支出額	残高
合気道	¥14,400	¥5,625	¥8,775
空手	¥42,000	¥34,813	¥7,187
柔道	¥80,250	¥80,090	¥160
剣道	¥48,240	¥45,810	¥2,430
硬式テニス	¥249,439	¥248,410	¥1,029
サッカー	¥153,200	¥153,210	¥-10
柔道	¥29,800	¥7,182	¥22,618
写真	¥48,000	¥45,519	¥2,481
柔道	¥91,180	¥12,214	¥78,966
囲碁・将棋	¥53,430	¥88,314	¥-34,884
永休	¥28,000	¥0	¥28,000
吹奏楽	¥188,000	¥152,316	¥35,684
スヌック	¥24,700	¥19,819	¥4,881
ソフトテニス	¥24,000	¥24,000	¥0
剣道	¥77,800	¥77,290	¥510
男子バスケット	¥10,000	¥10,000	¥0
女子バスケット	¥78,150	¥78,850	¥-700
バドミントン	¥98,970	¥58,104	¥40,866
男子バレー	¥44,000	¥44,715	¥-715
ハンドボール	¥127,300	¥128,513	¥-1,213
野球	¥228,000	¥208,110	¥19,890
ラグビー	¥73,900	¥71,718	¥2,182
陸上	¥28,458	¥0	¥28,458
映画制作	¥13,500	¥0	¥13,500
合唱	¥10,000	¥2,315	¥7,685
器楽工手	¥10,000	¥0	¥10,000
同好会	¥75,000	¥75,000	¥0
女子バスケット	¥48,500	¥43,418	¥5,082
女子バレー	¥240,000	¥240,000	¥0
ソフトボール	¥41,000	¥33,690	¥7,310
天文	¥18,818	¥18,817	¥1
フットサル	¥7,000	¥0	¥7,000
ロボコン	¥70,000	¥87,816	¥-17,816
環境	¥13,100	¥11,210	¥1,890
小計	¥2,287,120	¥2,031,410	¥265,710

総収入	総支出	残高
¥11,953,451	¥7,181,611	¥3,766,840

H16年度会計長

H16年度会計監査代表

内田 慎二 (印)  
長澤 真之介 (印)

(出典：平成16年度学生会予算決算報告)

前ページからの続き

(資料 7-1-⑥-5 : 学生の活動経費に関する資料)

平成17年度学生会予算案

収入の部

項目	予算額	人数	小計
学生会費	¥8,000	1053	¥8,318,000
入会費	¥1,000	211	¥211,000
編入生・留学生	¥1,000	12	¥12,000
前年度繰越金	¥3,788,898		¥3,788,898
コピー収入予定	¥600,000		¥600,000
合計			¥10,929,898

支出の部

クラブ・同好会活動費内訳

全体

クラブ	団体名	予算額	部署	項目	予算額
クラブ	合気道	¥27,200	本部	物品購入費	¥450,000
	空手	¥55,200		旅代	¥50,000
	弓道	¥101,860		コピー維持費	¥800,000
	剣道	¥59,090		中部高専交流会補助	¥30,000
	硬式テニス	¥155,278		全国高専交流会補助	¥100,000
	サッカー	¥204,400		康巾着	¥50,000
	柔道	¥35,600		小計	¥1,280,000
	空手	¥40,000	福祉美化委員会	交通費	¥15,000
	柔道	¥77,850		小計	¥15,000
	剣道・弓道	¥49,200	法科	旅代	¥50,000
	水泳	¥40,000		小計	¥50,000
	吹奏楽	¥236,000	執行部	新入生歓迎会	¥440,000
	スキー	¥43,000		一日体験入学	¥30,000
	ソフトテニス	¥40,500		通年・学期企画	¥120,000
	体操	¥21,260		小計	¥590,000
	卓球	¥109,592	体育祭実行委員会	前期体育祭	¥300,000
	トライアスロン	¥52,000		後期体育祭	¥300,000
	男子バスケット	¥272,000		小計	¥600,000
	バドミントン	¥61,000	高専祭実行委員会	高専祭	¥2,500,000
	男子バレー	¥35,000		小計	¥2,500,000
	ハンドボール	¥104,500	文芸委員会	文藝作成費用	¥800,000
	野球	¥250,400		小計	¥800,000
	ラグビー	¥170,500	園芸委員会	花、土、作業用具	¥00,000
	陸上	¥42,231		小計	¥80,000
	合唱	¥7,000	期末管理	物品購入費	¥80,000
理髪部	¥15,000		小計	¥80,000	
機械工学	¥19,000	広報部	合宿費	¥200,000	
経営	¥90,000		物品購入費	¥50,000	
ゴルフ	¥12,700		小計	¥250,000	
女子バスケット	¥36,600	部員会	クラブ・同好会活動費	¥2,588,784	
女子バレー	¥19,800		予備費	¥180,000	
ソフトボール	¥21,800		小計	¥2,688,784	
天文	¥17,000	予備費	予備費	¥1,201,336	
フットサル	¥12,000		小計	¥1,201,336	
ロボコン	¥30,000	昨年度文芸祭納金	昨年度文芸作成費用	¥75,780	
合計	¥2,568,764		小計	¥755,780	
		控計		¥10,829,880	

平成17年度会計長

長池 美世

平成17年度会計監査

内田 晴

(出典：平成17年度学生会予算(案))

前ページからの続き

(資料7-1-⑥-5：学生の活動経費に関する資料)

## 平成16年度 沼津工業高等専門学校教育後援会決算書

## 収入の部

科 目	目	予 算 額	収 入 額	予算額との差	備 考
1. 正会員会費	1. 入 会 金	3,090,000円	3,150,000円	60,000円	*下記参照
	2. 会 費	24,106,000	23,614,000	△492,000	
	3. 過年度会費	0	0	0	
	4. 臨時会費	0	0	0	
2. 賛助会員会費	1. 賛助会員会費	610,000	585,000	△25,000	117名
	1. 寄 附 金	0	0	0	
3. 寄 付 金	1. 寄 附 金	0	0	0	
4. 雑 収 入	1. 雑 収 入	133	60	△73	預金利息
5. 繰 越 金	1. 前年度繰越金	2,087,867	2,087,867	0	
6. 積立金受入	1. 積立金受入	0	0	0	
合 計		29,894,000	29,436,927	△457,073	

【会費】在学者数見積相当 △279,000円 本科 (1,063名-1,051名=12名分)、専攻科 (48名-47名=1名分)  
休学者 △150,500円 本科 (@22,000円×5名+@11,000円×3名)、専攻科 (@7,500×1名)  
退学者 △62,500円 本科 (@22,000円×1名+@11,000円×3名)、専攻科 (@7,500×1名)

## 支出の部

科 目	目	予 算 額	流 用 増減(△)額	改 予 算 額	支 出 額	残 額
1. 事 務 費	1. 諸 給 与	1,319,000円	0円	1,319,000円	1,122,294円	196,706円
	2. 事 務 費	524,000	45,764	569,764	569,764	0
	3. 会 議 諸 費	340,000	30,121	370,121	370,121	0
2. 事 業 費	1. 教 育 援 助 費	4,416,000	0	4,416,000	4,077,146	338,854
	2. 課外活動援助費	3,607,000	0	3,607,000	3,089,440	517,560
	3. 体育大会経費	11,548,000	0	11,548,000	11,425,721	122,279
	4. 学生表彰・厚生補給費	467,000	0	467,000	315,900	151,100
	5. 学生保健衛生費	12,000	0	12,000	9,350	2,650
	6. 会員との連絡費	369,000	0	369,000	368,550	450
	7. 慶弔記念費	52,000	0	52,000	69,379	△17,379
	8. 研究研修助成費	2,640,000	0	2,640,000	2,193,100	446,900
	9. 進路開拓及び職業進学指導費	160,000	0	160,000	152,570	7,430
	10. 学校紹介費	679,000	0	679,000	450,893	228,107
	11. 渉外補助費	84,000	0	84,000	38,560	45,440
	12. 環境整備助成費	200,000	0	200,000	193,075	6,925
	13. 卒業式関連諸経費	380,000	0	380,000	328,303	51,697
	14. 交 際 費	0	0	0	0	0
3. 積立金	1. 積立金	300,000	0	300,000	300,000	0
4. 学生安全関係費	1. 学生安全関係費	1,620,000	0	1,620,000	1,605,240	14,760
5. 予 備 費	1. 予 備 費	1,177,000	△75,885	1,101,115	0	1,101,115
合 計		29,894,000	0	29,894,000	26,679,406	3,214,594

平成17年度へ繰越額 29,436,927円-26,679,406円=2,757,521円

- 1 -

(出典：教育育後援会予算決算書)

前ページからの続き

(資料7-1-⑥-5: 学生の活動経費に関する資料)

16年度クラブ強化費 クラブ内訳 2005/6/24 15:47

クラブ・同好会名	支出日	分類1 支 出 番 号	予 算										合 計	備 考
			1 教 育 後 振 会					2 国 費				3 国 庫 補 助 金		
			1 基 本 経 費		2 活 動 経 費			3 謝 金		4 謝 金				
登録費	参加費	参加費	付添旅費	付添手当	その他	謝金	謝金	付添旅費						
	1	2	2	4	5	6	3	3	4					
陸上競技 1		1			2,880	3,400						6,280		
		5	55,900		9,500							65,400		
		6				8,780	8,500					17,280		
		16			2,800							2,800		
		17				1,440	1,700					3,140		
		21			1,400	1,440	1,700					4,540		
		23			1,000	1,440	1,700					4,140		
		29				1,440	1,700					3,140		
		30			1,000							1,000		
		34			8,070	1,240	1,700					11,010		
	46				2,600	3,400					6,000			
	67				1,440	1,700					3,140			
											0			
ソフトテニス 2		1			1,440	5,100						6,540		
		5	10,000									10,000		
		6			1,440	15,300						16,740		
		8							70,000			70,000		
		21				2,880	3,400					6,280		
		29				3,320	10,200					13,520		
											0			
											0			
男子バレーボール 3		5	29,500		5,000							34,500		
		6				2,560	1,700					4,260		
		13							50,000			50,000		
		16			5,000							5,000		
		17				4,260	3,400					7,660		
		23				2,140	1,700					3,840		
		51							10,000			10,000		
											0			
男子バスケットボール		3							27,000			27,000		

(出典：学生課学生係，クラブ強化費の内訳)

資料 7-1-⑥-6 : 合宿等長期休業中に学内で活動する学生への支援



(出典：会計課施設係)

長期閉寮中の宿直割振表

平成17年8月

日	曜日	宿直者	巡回者	
1	月	永禮哲生	佐藤志保	
2	火	西垣誠一		一日体験入学
3	水	西村賢治		
4	木	蓮實文彦		
5	金	長谷賢治		
6	土	濱渦允紘	鈴木康人	
7	日	平田陽一郎	住吉光介	
8	月	平林紘治	村上真理	編入学合格発表
9	火	藤尾三紀夫		
10	水	川上 誠		
11	木	藤井敦馬		
12	金	竹口昌之		
13	土	渡辺敦雄	瀬尾邦昭	寮事務閉鎖
14	日	西田友久	高野明夫	
15	日	高科知之	渡邊志保差	

(出典：長期閉寮中の宿直割振表)

前ページからの続き

(資料 7-1-⑥-6 : 合宿等長期休業中に学内で活動する学生への支援)

## 平成17年度夏季合宿マニュアル (説明会資料)

説明会日時 7月5日(火) 16:30～  
場 所 第一視聴覚教室

### 1. 基本事項

該当学生 夏季合宿を行うクラブ・同好会参加学生及び顧問教員  
合宿所使用期間 7月16日(土) 9:00～8月31日(火) 10:30  
(8/10～16は教職員夏季一斉休業のため対応不可。注意すること。)  
指導体制 クラブ・同好会顧問教員及び宿直教員  
生活管理 クラブ・同好会による自己管理  
料金関係 1日当たり 150円 (風呂代100円・参加基本料50円)

### 2. 手続関係

合宿練習願 各クラブ・同好会の顧問教員並びに部長連名で各部員の保護者からの合宿参加承認書を添付して学生課学生係に提出する。  
合宿食事申込書 各クラブ・同好会単位で合宿期間中の食数を正確に取りまとめたうえ、7月8日(金)までに学生食堂へ提出する。  
食数を変更したい場合は食数変更届出用紙(合宿生用)を2日前までに学生食堂に提出する。  
合宿として在寮許可されている女子学生の食事申込みは、各クラブ・同好会の合宿食事申込書で提出する。

### 3. 指導体制

顧問教員 合宿全般にわたる学生指導、合宿期間最終日の立会  
宿直教員 毎日 20:00 に点呼 (清峰寮宿直室)  
学生係 合宿日課表の受渡し、合宿場所の点検、合宿費用精算

### 4. 合宿生活上の指導(連絡)事項

- ① 各クラブ・同好会は合宿練習に対して目的を明確にして参加し、目的を達成できるよう専念すること。
- ② 合宿の生活場所は指定された場所(合宿所、合気道場、柔剣道場、尚友会館共用室、)以外の建物には絶対に立ち入らないこと。  
特に学寮のトイレ使用は厳禁とする。

(出典：合宿・在寮説明会資料，学生課学生係)

前ページからの続き

(資料 7-1-⑥-6 : 合宿等長期休業中に学内で活動する学生への支援)

## 平成 17 年度夏季在寮マニュアル (説明会資料)

説明会日時 7月 5日 (火) 16:30～  
場 所 第2視聴覚教室

### 1. 基本事項

閉寮期間	7月16日(土) 12:00～8月26日(金) 17:00 〔8月10日～16日の間は学校全体が原則夏季休業となる〕 ので、寮事務所は担当者がいませんので注意すること。〕
在寮許可該当学生 指導體制	卒業研究等、女子合宿生、留学生 卒研指導教員、女子合宿生のクラブ顧問、留学生顧問教員、 宿直教員
生活管理 料金関係	学生側責任者選出による自己管理体制 1日当たり 150円 (風呂代100円・光熱水費50円) を期間終了後、寮務係へ支払うこと。
入寮・退寮	入寮・退寮は土曜・日曜・祝日及び夏季休業期間中には行わないこと。

### 2. 手続関係

在寮申請	所定の申請用紙に必要事項を記入し、指導(クラブ顧問)教員の署名を受け、7月8日(金)までに寮務係に提出する。
期間変更申請	所定の申請用紙に必要事項を記入し、指導教員を通じて、3日前までに寮務係に届け出て承認を得ること。その際「在寮許可書」を提示し、承認印を得、直ちに「棟責任者」へ変更内容を伝えること。
外泊申請	原則として認めない。特別の事情がある場合、上記の期間変更申請手続きによる。

### 3. 指導體制

指導(クラブ顧問)教員	最終日に立会い、寮務係及び教務主事への報告
宿直教員	点呼報告、当直体制「長期閉寮中の宿直について」を参照
学生側責任者 棟責任者任務	各棟ごとの在寮責任者(棟責任者)は、寮務係で選出する。

- ・棟責任者日誌の記帳。
  - ・20時点呼(留学生を除く)の結果を宿直教員へ報告する【点呼報告用紙】。
  - ・廊下、共有エリアの清潔確認。
  - ・1日1度は、寮務係へ出向くこと。
  - ・責任期間満了時には、次期「棟責任者」へ確実に申し送りをする
- こと。
- ・「棟責任者」の変更:元の「棟責任者」が事前に寮務係へ届出るとともに在寮生へ周知させること。

(出典: 合宿・在寮説明会資料, 学生課寮務係)

前ページからの続き

(資料 7-1-⑥-6：合宿等長期休業中に学内で活動する学生への支援)

### 沼津高専学生食堂夏休み中の合宿食事について

日本ゼネラルフード㈱

1. 合宿中の食事対応期間 7月16日～8月31日朝食まで

#### 2. 喫食時間

○ 合宿生

朝食 7：30 ～ 8：15

昼食 11：30 ～ 12：15

夕食 16：30 ～ 17：15

○ 在寮生

朝食 8：15 ～ 9：30

昼食 12：15 ～ 13：00

夕食 17：15 ～ 18：00

※ 各食事については、合宿生と在寮生の方々が交代で喫食しますので、食事時間は厳守して下さい。

練習等で食事時間が遅くなる場合は、必ず事前に学生食堂までご連絡下さい。

連絡先 学生食堂（日本ゼネラルフード㈱） 055-920-9810  
担当 木村・福田

#### 3. 食事料金について

○ 朝食 370円

○ 昼食 430円

○ 夕食 430円

#### 4. 食事の申込について

① 合宿生 所定の合宿食事申込書に、責任者の方が各食の総食数を曜日ごとに記入のうえ学生食堂まで提出して下さい。

② 在寮生 所定の食事申込書に、曜日ごと各食について○をつけて学生食堂まで提出して下さい。

③ 申込期限 7月8日（金）までに申してください。

(出典：合宿・在寮説明会資料，学生食堂（対応担当学生課学生係）)

**観点 7-2-①：学生の生活や経済面に係わる指導・相談・助言を行う体制が整備され、機能しているか。**

(観点に係る状況) 学生の生活に関しては、厚生補導委員会による学校全体的なもの(資料 7-2-①-1)，学級担任(準学士課程)(資料 7-2-①-2)あるいは指導担当教員(専攻科課程)(資料 7-2-①-3)による日常的な個々に行われるものが根幹である。また、健康維持のために保健室には看護師が常勤している(資料 7-2-①-4)。

更にきめ細かい相談、助言のため、スクールカウンセラーを委嘱し、学生の悩みなどに専門的に対応している(資料 7-2-①-5)。なお、同カウンセラーはクラス運営に関する担任からの相談にも対応している。

学生生活支援室は、平成16年度から設けられた組織であり、カウンセラーと看護師を含む教職員によって、本科の学生の様々な問題に対する相談及び援助等を行っている(資料 7-2-①-6)。このほか、専攻科学生支援室(専攻科課程)(資料 7-2-①-7)あるいはセクシャルハラスメント相談室(資料 7-2-①-8)が設置されていることなど、組織的に生活に関する指導・相談・助言を行う体制が整えられている。セクシャルハラスメント相談室においても、相談を受けた実績があり、機能しているといえる。

本校が属する地域における、高等学校間の生徒指導連絡協議会である沼駿地区生徒指導研究協議会(通称、生地研)には、平成14年度から加わっている。地域全体での街頭補導に参加したり、近隣高等学校との情報交換によって生活指導、交通指導に生かしている(資料 7-2-①-9)。

学生生活を豊かにするためには家庭と協力する体制を作ることも重要である。高専だよりの定期的刊行等(資料 7-2-①-10)によって、保護者と緊密な関係を築き上げている。同様な関係は、保護者を主な構成員とする教育後援会にも築き上げている(資料 7-2-①-11)。

学生の経済面に関しては、まず授業料免除の申請を受け付けており、一日体験入学の際に経費に関する相談コーナーを設けているほか、入学説明会における説明や学生便覧への掲載により制度の周知を図り、困窮した学生を経済的に支援している(資料 7-2-①-12)。奨学金については、日本学生支援機構など外部奨学金制度の活用や、本校同窓会による奨学金制度の設置など、学生が経済状態に応じて幅広く利用できる制度を整えている(資料 7-2-①-13)。

学生が安心して生活を送るためには万への備えも重要である。学生生活保険や、通学用の保険については、漏れが無いように保護者や学生に周知させている(資料 7-2-①-14)。

(分析結果とその根拠理由) 優れている。厚生補導委員会や担任・指導担当教員による真正面から指導があるだけでなく、スクールカウンセラー及び支援室制度も整備され、学生及び教員に周知されており、十分に活用されている。

また、経済面についても、授業料免除制度を始めとして多様な制度が用意されている。

## 資料 7-2-①-1 : 厚生補導委員会の概要

## 厚生補導関係資料

学生生活関連情報 (厚生補導, 学生係)

## 1. 連絡事項

- A) お知らせ：★交通事故注意喚起, 学校周辺に現れた不審者, 手洗いうがい励行など★
- B) 厚生補導委員会報告★重要★
- C) 学校周辺クリーン作戦と, 担当者の割当表
- D) 巡回担当者の割当表

## 2. 取組事項

常に取組むこと

- E) 学則 (教務Webの「H15学生便覧」へのリンク)
- F) 懲戒処分の規定 (H16学生便覧から抜粋)
- G) 生活指導
- H) クラス担任の協力による1年生の禁煙指導
- I) 交通指導
- J) 学生会指導
- K) 生地研 (沼津駿東地区生徒指導研究協議会)

季節ごとに取組むこと

- L) 新規バイク通学者のためのバイク講習会 (4月) (→ e. 交通指導)
- M) バイク/自転車通学許可証・ステッカーの発行 (4月) (→ e. 交通指導)
- N) 新入生オリエンテーション (御殿場の国立中央青年の家での合宿研修) (4月)
- O) 一斉交通指導 (5月頃, 11月頃 --- 年度ごと変化あり)
- P) スポーツ大会 (5月) (→ f. 交通指導)
- Q) 長期休業中の駅付近無料駐輪場の使用方法指導 (長期休業直前)
- R) 厚生補導担当教官研究会 (夏休み)
- S) 体育祭 (10月)
- T) 高専祭 (11月上旬頃)
- U) 学習と生活に関するアンケート (11月 --- H15年度までは2月実施)
- V) 5年生による進路ガイダンス (H16-)
- W) 2年生を主な対象としたOD式運転検査 (12月~1月のいずれか) (→ e. 交通指導)
- X) 3年生対象課外教育特別講演 (12月)
- Y) 3年生合宿研修 (別名スキー研修) (1月)
- Z) 2年生への交通講話・校内の交通規則と手続き徹底 (2月) (→ e. 交通指導)

(出典：学内限定ウェブサイト・厚生補導関係部分)

<https://itwg.numazu-ct.ac.jp/kouseihodou/index.html>

○沼津工業高等専門学校厚生補導委員会規則

(昭和 49. 4. 1 制定)

最終改正 平成 16. 4. 14

(目的)

第 1 条 沼津工業高等専門学校の厚生補導に関する重要な事項を審議するため, 厚生補導委員会 (以下「委員会」という) をおこす。

(組織)

第 2 条 委員会は, 次の委員をもって組織する。

- (1) 校長補佐 (学生主事)
- (2) 校長補佐 (寮務主事)
- (3) 学生主事補
- (4) 本校教員で校長が任命した者

(審議事項)

第 3 条 委員会は, 校長の諮問に応じ, 次の事項を審議する。

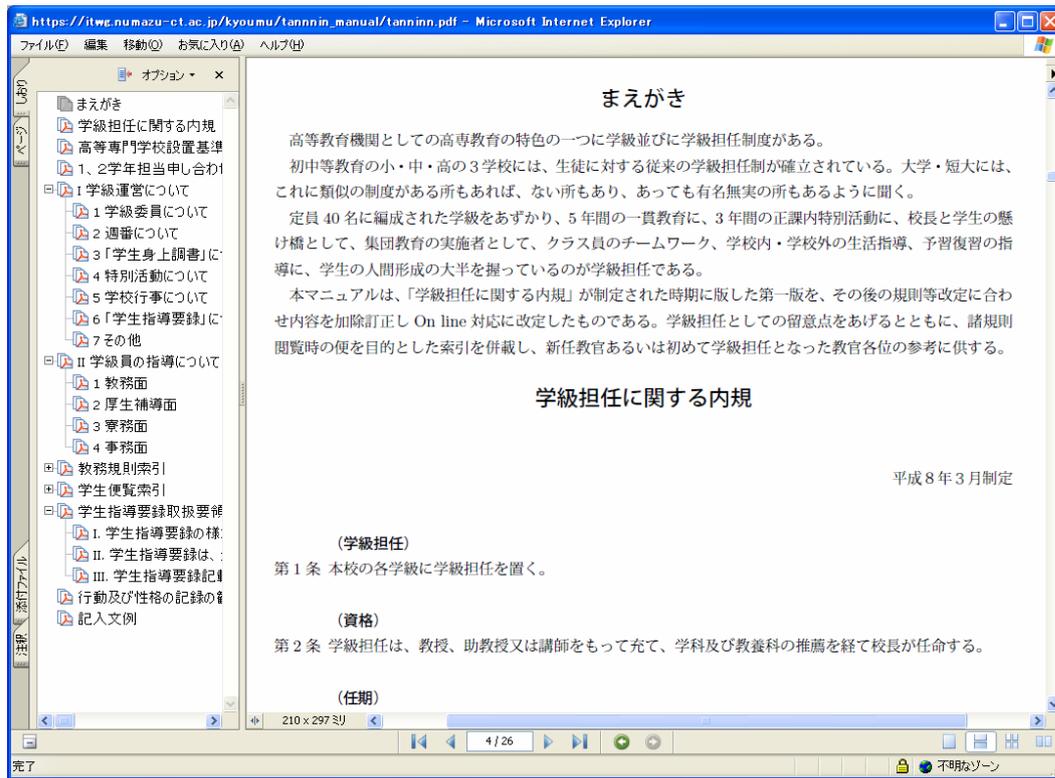
- (1) 課外教育及び校外活動に関すること。
- (2) 集団指導に関すること。
- (3) 生活指導に関すること。
- (4) 集会及び催物並びに出版及び掲示に関すること。
- (5) 学生会に関すること。
- (6) 保健衛生に関すること。
- (7) その他厚生補導に関し必要と認められること。

\* 以下省略 \*

(出典：本校規則集)

[http://www.numazu-ct.ac.jp/NctJpg/kisokusyu/0070\\_kouseihodou-iinkai.htm](http://www.numazu-ct.ac.jp/NctJpg/kisokusyu/0070_kouseihodou-iinkai.htm)

資料 7 - 2 - ① - 2 : 学級担任の役割の概要



(出典：担任マニュアル)

([https://itwg.numazu-ct.ac.jp/kyoumu/tannin\\_manual/tanninn.pdf](https://itwg.numazu-ct.ac.jp/kyoumu/tannin_manual/tanninn.pdf))

学級担任 教官印	教官名	学習内容の要点	遅刻者氏名	欠課者氏名
	松岡 雄	シラバス etc		
	松岡 雄	シラバス etc		
	松岡 雄	シラバス etc		
	松岡 雄	シラバス etc		
	松岡 雄	シラバス etc		
	松岡 雄	シラバス etc		
	松岡 雄	シラバス etc		
	松岡 雄	シラバス etc		
教室 No.	清掃 状況	本日の反省と所感	授業が始まって、早くも新年度の心算、 たっ 感じている。	

(出典：クラス日誌)

資料 7 - 2 - ① - 3 : 専攻科担当教員の役割の概要

専攻科担当教員規程

**(研究指導教員)**

第4条 校長は、専攻科の学生に対する専攻科研究論文の作成等の指導並びに沼津工業高等専門学校学則第46の4(専攻科規則案第2条)に規定する教育目標を達成するために必要な支援及び指導を行うため、専攻科担当教員である教授又は助教授のうちから、当該学生ごとに研究指導教員を命ずる。

2. 校長は、前項の研究指導教員を命ずるに当たっては、専攻科担当教員会議の意見を聴くものとする。

(出典：沼津工業高等専門学校専攻科担当教員規程 (抜粋) )

<http://www.numazu-ct.ac.jp/NctJpg/senkouka/04kisokusyu/kyoukan.html>

資料 7 - 2 - ① - 4 : 保健室の概要

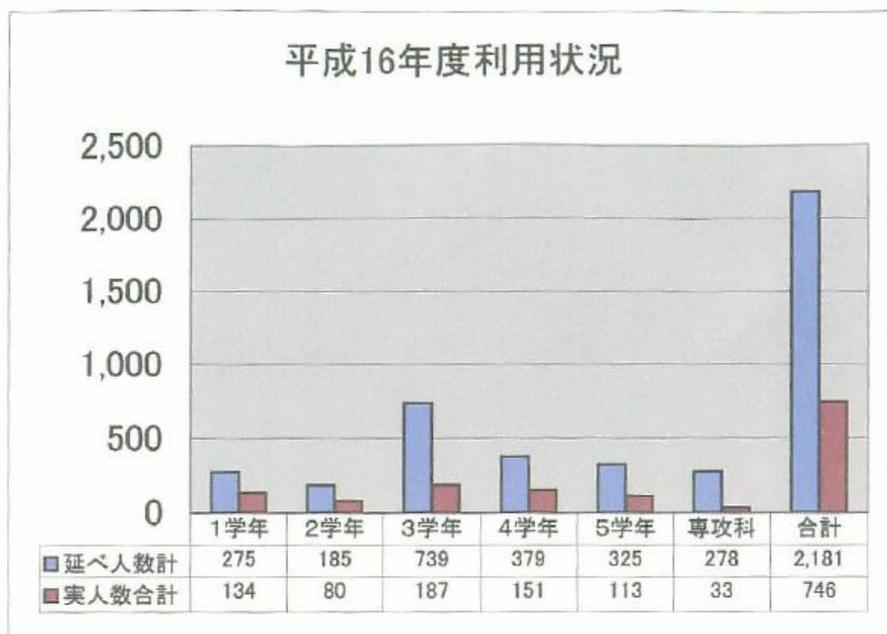
○沼津工業高等専門学校学校保健法関係事項取扱要領 (平成10.9.9制定)

1 学校保健法, 第 2 条, 第 3 条, 第 3 条の 2 に基づき, 平成10年 9 月 9 日に作成された「沼津工業高等専門学校学校保健安全計画」により, 各年度毎「学校保健安全計画書」実施計画表を作成し, 環境衛生検査の徹底を図る。

2 実施に当たり, 検査報告書の書式等については別に定める。

(出典：本校規則集)

[http://www.numazu-ct.ac.jp/NctJpg/kisokusyu/0940\\_gakkouhokenhou-youryou.htm](http://www.numazu-ct.ac.jp/NctJpg/kisokusyu/0940_gakkouhokenhou-youryou.htm)



(出典：保健室)



前ページからの続き

(資料 7-2-①-4 : 保健室の概要)

## 6. 健康診断について

### 1. 定期健康診断

毎年 4 月中旬に行い、学生の健康管理の基礎となる重要なものであるため、全員受診しなければならない。また疾病等が発見された場合は治療を勧告する。

### 2. 心電図測定

毎年 9 月に新入生、編入学生、前年度に異常が認められた者を対象に実施する。対象学生以外であっても自覚症状のある場合は学生係に申し込むこと。

### 3. 高専大会参加者健康診断

毎年 7 月初旬に、高専大会出場者を対象に実施する。受診しない者は大会に参加できない。

### 4. スポーツ大会水泳参加者健康診断

スポーツ大会に水泳を実施する場合は、大会前に実施する。受診しない者は大会に出場できない。

### 5. その他の健康診断

高専大会ラグビー種日出場者健康診断その他臨時の健康診断を実施する。

(出典 : 平成 15 年度学生便覧 p. 77)

[https://itwg.numazu-ct.ac.jp/kyoumu/gakusei\\_binrann\\_naiki/gakuseibinran15r4.pdf](https://itwg.numazu-ct.ac.jp/kyoumu/gakusei_binrann_naiki/gakuseibinran15r4.pdf)

資料 7-2-①-5 : スクールカウンセラーの概要

平成 17 年 4 月 1 日

クラス掲示用

副校長 (教務主事)  
校長補佐 (学生主事)

平成 17 年度学生相談について

このことについて、下記のとおり実施しますので気軽に来室してください。

記

1. カウンセラー 八十川 徹 先生
2. 場所 尚友会館 2 階相談室
3. 時間 15:30~18:30
4. 曜日 水・金
5. 月日

	4 月	5 月	6 月	7 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月
水	13		1			5	2		11	1
金	15	6	3	1	2	7	4	2	13	3
水	20	11	8	6	7	12	9	7	18	8
金	22	13	10	8	9	14	11	9	20	10
水	27	18	15	13	14	19	16	14		15
金		20	17	15	16	21	18	16	27	17
水		25	22		21	26		21		22
金		27	24			28	25			24
水			29		28		30			
金					30					

(出典 : 保健室発行のクラス掲示用ポスター)

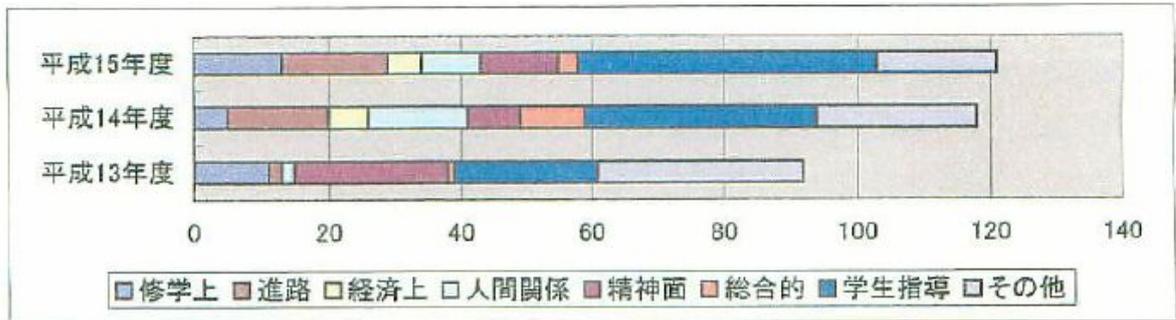
前ページからの続き

(資料 7-2-①-5 : スクールカウンセラーの概要)

16年度相談室延べ人数・実人数

月	男子		女子		教員		保護者		その他		延べ	実数
	延べ	実数	延べ	実数	延べ	実数	延べ	実数	延べ	実数		
4	2	1	1	1	2	2	0	0	2	1	7	5
5	2	2	0	0	7	4	4	3	1	1	14	10
6	5	5	0	0	15	8	0	0	1	1	21	14
7	2	2	2	2	15	7	4	2	1	1	24	14
8	0	0	0	0	2	1	1	1	1	1	4	3
9	7	5	2	1	8	5	2	2	1	1	20	14
10	6	3	1	1	7	5	0	0	0	0	14	9
11	2	1	0	0	3	2	0	0	0	0	5	3
12	1	1	0	0	2	2	0	0	2	1	5	4
1	2	2	2	2	1	1	0	0	1	1	6	6
2	5	5	0	0	1	1	0	0	1	1	7	7
3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
件	34	27	8	7	63	38	11	8	11	9	127	89

(出典 : カウンセラー)



(出典 : カウンセラー)

資料7-2-①-6：学生生活支援室の概要

観点7内では、学生生活支援室の概要を資料7-1-①-7でも説明

○沼津工業高等専門学校学生生活支援室規則  
 (平成15.11.12制定)  
 最終改正 平成16.4.14  
 (設置)

第1条 沼津工業高等専門学校(以下「本校」という。)に、学生生活支援室(以下「支援室」という。)を置く。  
 (業務)

第2条 支援室は、次に掲げる業務を行う。

- (1) 学習、進路、対人関係、精神衛生上の問題等、本校学生個人が抱えている問題に対する相談及び援助に関する事。
- (2) その他学生の生活支援に必要な資料の収集、作成、提供等に関する事。

(組織及び任期)

第3条 支援室は、次に掲げる支援室員で組織する。

- (1) 室長
- (2) カウンセラー
- (3) 教員 若干名
- (4) 学生課長
- (5) 看護師

\*以下省略\*

(出典：本校規則集)

([http://www.numazu-ct.ac.jp/Nct/Jpg/kisokusyu/0941\\_gakuseisensitu.htm](http://www.numazu-ct.ac.jp/Nct/Jpg/kisokusyu/0941_gakuseisensitu.htm))

2004年度 学生生活支援室の主な活動								
月	活動内容	毎週金曜日10:30より、教員のみ会議					教職員	その他
		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生		
4月	御殿事務所において室長(加藤実)が学生に挨拶 女子教養講座(10日)						校長との面談	取り組みの方向性について説明
5月	新学期開始から1ヶ月で、すでに学習困難な学生がいるかを調査 オフィスアワーの使い方説明と担当教員へのお願い 不応答の疑いのある学生へ手紙と面談 保護者へのアンケート実施、回収(教育講演会にて)							昨年まで、厚生指導あるいは兼で行っていたものを主催だけ支援室に変更 HRの時間を借りて、分担任して1、2年生の10クラスを回る。黒板に質問事項(授業についていけない科目、具体的部分)を書き白紙に名前と回答を書かせる。1年生については調査の項目にクラスにないというかどうかというのを追加。 科目毎にわからないといっている学生の名前を整理し、それを持って担当教員の部屋を回る クラスになじめていない学生を寮の部屋を訪問し「手紙」を渡し、できればそこで話せる。あるいは、後日、話をする。 全員に配布する書類に入れ、講演会総会の最後に室長よりお願いする。
6月	中間試験の結果について調査(オフィスアワーの効果を見る) 保護者アンケートの結果報告(保護者面談にて)							2年生しか判断できないが、成績が向上したクラスあり
7月								保護者面談時に担任に依頼し配布、ホームページにも掲載
8月							セクシャルハラスメントにかんする講演会	教務主事、寮主事、寮監とそれぞれの日程で、現状の学校(学生)の問題についての意見を聞く 寮監、寮主事ともに学習時間の強制の仕方に苦慮しているという話がある。教務主事に話したところ、数学の授業で電話を出してもらえように依頼すること。
9月								平成16年度メンタルヘルス研究協議会へ参加(発表) 従来、学生相談(個人的な悩み)を中心としていたが、学習を中心とした学生生活を支援するという方向へ変化している。本校の「学生生活支援室」の活動の方向性が正しいことを確認
10月								1、2年生の成績不良学生に強制参加させる、学内勉強について、校長リーダーシップ経営を申請 校長との面談(1年生の学習支援について)、その後教務主事と相談の上、経費なしで支援を行うことを決める もし、申請が通らない場合でも、実施する。経費は考える。
11月	1年生を対象とした、自習室の開設(5年生がボランティアで、毎日4:30から)							選択制教室2にて自習室開設(11月10日より試験まで)
12月								校長先生との面談、学習部員の報告、1年生の成績低下について報告し、対策の必要性を訴える。
1月								寮主事と寮生の勉強時間の確保について話し合う。
								次期寮生会役員と、勉強時間の確保についての話し合い。
2月								
3月								本年度で卒業する留学生から学校、寮生活の感想を聞く。 留学生の意見を寮主事に伝える。

(出典：学生生活支援室)

資料 7-2-①-7：専攻科学生支援室の概要

○沼津工業高等専門学校専攻科学生支援室規程

(平成 15. 3. 12 制定)

最終改正 平成 16. 4. 14

(設置)

第 1 条 沼津工業高等専門学校に、専攻科学生支援室（以下「学生支援室」という。）を置く。

(目的)

第 2 条 学生支援室は、学生との人間的なふれあいを通じて、より学生の視点に立った教育環境の整備充実を図ることを目的とする。

(業務)

第 3 条 学生支援室は、次に掲げる業務を行う。

- (1) 学生の学習環境の整備に関すること。
- (2) 大学間交流の基盤の整備及び交流活動の支援に関すること。
- (3) 学生の自主的な地域社会への貢献活動の支援に関すること。
- (4) 学生が主体的に進路を選択して行うキャリア形成の支援に関すること。
- (5) その他学生が変化する社会に柔軟に対応できる能力を身に付けるための必要な事項

(組織)

第 4 条 学生支援室に、次に掲げる職員を置く。

- (1) 室長
- (2) 室員 3 人

\*以下省略\*

(出典：本校規則集)

[http://www.numazu-ct.ac.jp/NctJpg/kisokusyu/0942\\_senkouka-gakuseisensitu.htm](http://www.numazu-ct.ac.jp/NctJpg/kisokusyu/0942_senkouka-gakuseisensitu.htm)

資料 7-2-①-8：セクシャルハラスメント相談室の概要

○沼津工業高等専門学校におけるセクシュアル・ハラスメントの防止等に関する規則

(平成 12. 5. 10 制定)

最終改正 平成 16. 4. 14

第 1 章 総則

(趣旨)

第 1 条 沼津工業高等専門学校（以下「本校」という。）におけるセクシュアル・ハラスメントの防止等については、独立行政法人国立高等専門学校機構セクシュアル・ハラスメント防止等に関する規則（平成 16 年独立行政法人国立高等専門学校機構規則第 26 号）及び他の法令等に定めるもののほか、この規則の定めるところによる。

\* 中略 \*

第 2 章 相談室（相談窓口）

(設置)

第 5 条 セクシュアル・ハラスメントの防止等のため並びにセクシュアル・ハラスメントに関する相談等に対応するため、「沼津工業高等専門学校セクシュアル・ハラスメント相談室（相談窓口）」（以下「相談室（相談窓口）」という。）を置く。

\* 中略 \*

第 8 条 相談員は、教職員、学生等及び関係者からのセクシュアル・ハラスメントに関する相談等（以下「相談等」という。）を受けたときは、それぞれ対応する主幹に報告するとともに、セクシュアル・ハラスメントによって生じる問題の適時適切な解決に努めるものとする。

\* 以下略 \*

(出典：本校規則集)

[http://www.numazu-ct.ac.jp/NctJpg/kisokusyu/0470\\_sexual-harassment-bousi.htm](http://www.numazu-ct.ac.jp/NctJpg/kisokusyu/0470_sexual-harassment-bousi.htm)

前ページからの続き

(資料 7-2-①-8 : セクシャルハラスメント相談室の概要)

セクシュアル・ハラスメント相談室自己点検・評価報告書

【相談・防止対策】

本校においては、セクシュアル・ハラスメントの防止等に関する諸法令の主旨を踏まえ、良好な教育・研究・労働環境を育む立場から本校独自の「セクシュアル・ハラスメントの防止等に関する規則」を平成12年5月10日制定し、常設の相談室（相談窓口）の開設を行うとともに、教職員、学生等及び関係者からのセクシュアル・ハラスメントに関する相談等への対応手順・要領の基準化を図るために「セクシュアル・ハラスメントに関する苦情相談を受けたときの対応について」の必要事項を定め、苦情相談に適時適切に対応することとしている。

セクシュアル・ハラスメントの防止等のための啓発活動として平成11年度から4月に開催されている新任教職員オリエンテーションにおいて、新規採用者及び転任者を対象にセクシュアル・ハラスメントの防止等に関する研修（講義）を実施するとともに平成12年度から各年度においてパンフレットを作成し、ホームページ及び掲示板により周知を行っている。

平成16年度においては、外部講師を招聘し、セクシュアル・ハラスメントの認識及び意識の高揚を図ることを目的に教職員を対象としたセクシュアル・ハラスメント講演会を開催した。

また、教職員及び学生を対象に意識調査「セクシュアル・ハラスメントに関するアンケート」を平成12年度、13年度及び15年度に実施し、それぞれの意識調査結果については、その概要を公表し、ホームページ及び掲示板により周知を行っている。

なお、平成15年度におけるアンケート調査結果は下記のとおりである。

(資料略)

(出典：セクシャルハラスメント相談室、自己点検資料から)

## 資料 7-2-①-9 : 沼駿地区生徒指導研究協議会の協議事項

第 5 回 生地研（沼駿地区生徒指導研究協議会）報告 : 加藤繁

実施日 : 平成 17 年 2 月 25 日（金）

会場 : 沼津市青少年教育センター

## 次第

## 1. 開会の挨拶

## 2. 所管事項説明

- (1) 静岡県教育委員会 高等教育課 : 欠席
- (2) 静岡県総務部私学振興室 : 欠席
- (3) 沼津警察署交通第一課
  - : 管内での 12 月から 2 月までの交通死亡事故 10 件。稀の多発。
  - : 1 月 25 日には自転車の高校生の例もある。
  - : 注意が必要である。
- (4) 沼津警察署 生活安全課
  - : 県内では 4000 人が補導されたが前年比 500 人ほどの減。
  - : 管内では 503 人で 52 人の増。
  - : 自転車がらみの事故、事件が多発している。
  - : 不法駐輪への注意への依頼。(卒業生の放置)
- (5) 沼津市青少年教育センター
  - : 資料 A
    - インターネットカフェの出入。
    - 変質者への対応と連絡網の充実。
  - : 資料 B
    - 夜間徘徊者の減少。
    - カラオケ店への出入の増加。女子の喫煙者の増加。
    - 無灯火自転車の増加。
    - 危険な遊び（路上ローラスケート等）の増加。
- (6) 沼津市役所 交通対策課 : 欠席
- (7) 小・中生徒指導連絡協議会 : 欠席
- (8) 沼津市教育委員会 学校教育課
  - : 不審者、変質者に関する連絡網は小中高の壁がなくなっている。
  - 通学路の確保と侵入者対策の必要性。
  - 過去の性犯罪者の情報。管内にも多数いるので注意が必要。
  - : 家での増加傾向が見られる。
  - : 小学校ではいじめの報告されている。

(出典 : 生地研出席教員の報告書)

86号

沼津高専だより

(1)



第86号  
平成17年3月14日発行  
沼津工業高等専門学校  
〒410-8501 沼津市大岡3600  
TEL (055) 921-2700



3年生 スキー合宿研修

目次

☆独立行政法人化一年目にあたって .....校長 久賀 重雄... 2	☆ロボコン出場記...クラブ顧問 Aチーム E科 望月 孔二...23 Bチーム D3 伊沢 多聞...23 S2 佐藤 正健...24
☆沼津高専の使命、目的と教育目標 .....副校長(教務主事) 濱屋 進... 3	☆体育祭..... C4 杉山 笑美子...25
☆この一年を振り返って .....校長補佐(学生主事) 野澤 正信... 3	☆高専祭..... D5 笹川 雄祐...25
☆平成16年度を振り返って .....校長補佐(寮務主事) 大久保清美... 4	☆3年生スキー合宿研修..... M科 井上 聡...26
☆各学科の近況・年度方針 .....機械工学科主任 大賀 尚...6	D3 天野 雄太...27
.....電気電子工学科主任 江間 敏...7	S3 小林 真紀...27
.....電子制御工学科主任 舟田 敏雄...7	C3 小野 慎一...27
.....制御情報工学科主任 大島 茂...8	C3 天野 ちひろ...28
.....物質工学科主任 蓮実 文彦...9	☆留学生教育の現場から 非常勤講師 高澤 啓子...29
.....教養科主任 谷 次雄...10	☆ミネオ杯への国際的共同研究の旅 D5 齋藤 学...30
.....専攻科長 森井 宣治...10	☆退職挨拶..... L科 黒川 幸男...31
☆文化講演会報告-トヨタ自動車 常務役員 二橋 岩雄 報告:柳下 福威...12	☆卒業生から OBより..... E科 31期生 長塚 俊一...32
☆在外研究員報告.....電子制御工学科 大原 順...13	卒業研究成果論文が国際論文誌に受理されて .....D科 18期生 前原 貴憲...32
☆国際会議等参加者一覧.....14	近況の活動.....S科 2期生 ナホレオン...33
☆工場見学報告.....機械工学科 三谷祐一...15	☆5年生から...5年間を振り返って M5 山本 純...34
.....電気電子工学科 待井 規豊...16	.....5年間を振り返って E5 中川 翔太...35
.....電子制御工学科 坪内 洋...16	.....家庭生活 D5 武藤 圭祐...35
☆クラブ・同好会:課外活動報告...体育大会成績一覧...17	☆平成16年度卒業予定者進路先一覧.....36
.....サッカー部 C5 新井 裕亮...18	☆学生の研究活動(2004.5月1日~2005.4月30日).....39
.....テニス部 S4 高橋 紗佳...19	☆教育後援会から「卒業に際して」 .....教育後援会会長 (C5)加藤 一平...41
.....柔道部 C5 竹内 力也...20	.....教育後援会副会長 (E5)遠藤 正...41
.....C3 内藤みゆき...21	☆学生生活支援室からのお知らせ.....42
.....ラグビー部 S4 青山 承平...21	☆事務部より 就職活動につけ込む資格商法にご注意!!.....42
.....囲碁将棋部 D3 奥澤 怜...22	除幕式(卒業記念品「交差する形」).....43

題字:久賀重雄 学校長

☆沼津工業高等専門学校 ホームページアドレス (URL) <http://www.numazu-ct.ac.jp/>

(出典: 高専だより (第86号, 全44ページ))

## 資料 7 - 2 - ① - 11 : 教育後援会の概要

## 沼津工業高等専門学校教育後援会会則

49.	2.	2	制定
51.	5.	8	改正
61.	5.	17	改正
	6.	5.	14
	8.	5.	11
14.	5.	11	改正

## (名 称)

第1条 本会は、沼津工業高等専門学校教育後援会と称する。

## (事務所)

第2条 本会の事務所は、沼津市大岡3600番地沼津工業高等専門学校内に置く。

## (目 的)

第3条 本会は、沼津工業高等専門学校の教育の発展振興に寄与し、併せて会員と学校との親睦並びに連絡の緊密化を図ることを目的とする。

## (事 業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- 一 学校教育の発展のため必要な諸施設並びに運営に対する助成
- 二 学生の課外活動に関する助成
- 三 学生及び教職員の福利厚生に関する助成
- 四 教員の研究及び教職員の研修等に関する助成
- 五 全国又は地区高専体育大会出場及び応援に関する助成
- 六 その他必要な事業

## (会 員)

第5条 本会の会員は、次のとおりとする。

- 一 正 会 員 沼津工業高等専門学校に在学する学生の保護者又はこれに代わる者
- 二 賛助会員 本会の趣旨に賛同して入会を希望する者

## (役 員)

第6条 本会に、次の役員を置く。

- 一 会 長 1名
- 二 副 会 長 3名
- 三 理 事 若干名
- 四 監査理事 2名
- 五 審査理事 3名

## (役員を選出)

第7条 役員は、総会の決議によって選出する。

- 一 会 長 会員の互選により正会員の中から選出する。
- 二 副 会 長 会員の互選により正会員の中から選出する。
- 三 理 事 会員の中から会長の推薦した者について総会に諮り会長が委嘱する。
- 四 監査理事 会員の中から会長の推薦した者について総会に諮り会長が委嘱する。
- 五 審査理事 会長の推薦した者について総会に諮り会長が委嘱する。

前ページからの続き

(資料 7-2-①-11: 教育後援会の概要)

## 平成16年度 沼津工業高等専門学校教育後援会決算書

## 収入の部

科 目	目 目	予 算 額	収 入 額	予算額との差	備 考
1. 正会員会費	1. 入 会 金	3,090,000円	3,150,000円	60,000円	*下記参照
	2. 会 費	24,106,000	23,614,000	△492,000	
	3. 過年度会費	0	0	0	
	4. 臨時会費	0	0	0	
2. 賛助会員会費	1. 賛助会員会費	610,000	585,000	△25,000	117名
3. 寄 付 金	1. 寄 附 金	0	0	0	預金利息
4. 雑 収 入	1. 雑 収 入	133	60	△73	
5. 繰 越 金	1. 前年度繰越金	2,087,867	2,087,867	0	
6. 積立金受入	1. 積立金受入	0	0	0	
合 計		29,894,000	29,436,927	△457,073	

【会費】 在学者数見積相違 △279,000円 本科 (1,063名-1,051名=12名分)、専攻科 (48名-47名=1名分)  
 休学者 △150,500円 本科 (@22,000円×5名+@11,000円×3名)、専攻科 (@7,500×1名)  
 退学者 △62,500円 本科 (@22,000円×1名+@11,000円×3名)、専攻科 (@7,500×1名)

## 支出の部

科 目	目 目	予 算 額	流 用 増減(△)額	改予算額	支 出 額	残 額
1. 事務費	1. 諸 給 与	1,319,000円	0円	1,319,000円	1,122,294円	196,706円
	2. 事 務 費	524,000	45,764	569,764	569,764	0
	3. 会 議 諸 費	340,000	30,121	370,121	370,121	0
2. 事業費	1. 教育援助費	4,416,000	0	4,416,000	4,077,146	338,854
	2. 課外活動援助費	3,607,000	0	3,607,000	3,089,440	517,560
	3. 体育大会経費	11,548,000	0	11,548,000	11,425,721	122,279
	4. 学生表彰・厚生指導費	467,000	0	467,000	315,900	151,100
	5. 学生保健衛生費	12,000	0	12,000	9,350	2,650
	6. 会員との連絡費	369,000	0	369,000	368,550	450
	7. 慶弔記念費	52,000	0	52,000	69,379	△17,379
	8. 研究研修助成費	2,640,000	0	2,640,000	2,193,100	446,900
	9. 進路開拓及び 職業進学指導費	160,000	0	160,000	152,570	7,430
	10. 学校紹介費	679,000	0	679,000	450,893	228,107
	11. 渉外補助費	84,000	0	84,000	38,560	45,440
	12. 環境整備助成費	200,000	0	200,000	193,075	6,925
	13. 卒業式関連諸経費	380,000	0	380,000	328,303	51,697
	14. 交 際 費	0	0	0	0	0
3. 積立金	1. 積立金	300,000	0	300,000	300,000	0
4. 学生安全関係費	1. 学生安全関係費	1,620,000	0	1,620,000	1,605,240	14,760
5. 予 備 費	1. 予 備 費	1,177,000	△75,885	1,101,115	0	1,101,115
合 計		29,894,000	0	29,894,000	26,679,406	3,214,594

平成17年度へ繰越額 29,436,927円-26,679,406円=2,757,521円

(出典：平成17年度教育後援会総会資料)

前ページからの続き

(資料7-2-①-11:教育後援会の概要)

## 平成17年度教育後援会年間行事予定表

月	日	曜	行事関係	事務関係	学校関係
4	9	土	会計監査 (11:00~) 新旧会長・副会長打合せ (12:00~)		4日 入学式 (PM) 6日 始業式 14日~15日 1年生合宿研修
5	14	土	理事会 (11:30~) 総会 (13:30~)		14日 保護者懇談会 (総会終了後) 22日 寮祭
6					3日~9日 中間試験
7				中旬 沼津高専だより No.87発行	2日~3日 東海地区高専体育大会 (陸上・ソフトテニス) 7日 壮行会 9日~10日 東海地区高専体育大会 21日~22日 1年~4年保護者懇談会 21日~8月31日 夏季休業
8					2日 一日体験入学 3日~10日 全国高専体育大会
9					1日 授業再開 防災訓練 22日 前期授業終了 26日~30日 前期末試験
10					3日 後期授業開始 18日 体育祭 21日 2年特別研修 27日 文化講演会 (PM) 30日 ロボコン東海北陸大会
11	5	土	賛助会員懇談会 (12:00~)		5日~6日 高専祭 13日 高専ラグビー大会
12				下旬 1年生理事等 候補選出	4日 ロボコン全国大会 6日~12日 1~4年中間試験 25日~1月7日 冬季休業
1					10日 授業再開 17日~20日 3年生合宿研修 25日 推薦入試
2					10日~16日 5年生学年末試験 17日~24日 1~4年生学年末試験 19日 入学試験 24日 終業式 25日 合格発表 27日~28日 卒研発表
3	4	土	会長・副会長打合せ (10:30~) 理事会 (13:00~)	上旬 沼津高専だより No.88発行	17日 卒業・修了証書授与式 21日~31日 学年末休業
4	8	土	会計監査 (11:00~) 新旧会長・副会長打合せ (12:00~)		
5	13	土	理事会 (11:30~) 総会 (13:30~)		

(出典:平成17年度教育後援会総会資料)

## 資料 7-2-①-12：授業料免除による経済的支援の実績

授業料免除実施状況					
年度		申請(名)	全額免除(名)	半額免除(名)	基準外(名)
平成10年度	前期	36	26	3	7
	後期	33	26	3	4
平成11年度	前期	34	25	5	4
	後期	41	31	5	5
平成12年度	前期	43	35	4	4
	後期	64	42	9	13
平成13年度	前期	65	42	15	8
	後期	56	41	12	3
平成14年度	前期	66	47	11	8
	後期	79	57	15	7
平成15年度	前期	74	48	15	11
	後期	66	52	7	7
平成16年度	前期	55	47	7	1
	後期	65	52	10	3
平成17年度	前期	67	51	5	11
	後期				
奨学金申請状況					
年度		申請	認定	申請枠人数超	基準外
平成14年度	一種	24	21		3
	二種	1	1		
平成15年度	一種	23	17	3	3
	二種	3	3		
平成16年度	一種	16	14		2
	二種	4	4		
平成17年度	一種	10	10		
	二種	4	3		1

(出典：学生課学生係)

## 資料 7-2-①-13：本校独自奨学金と、奨学金制度の学生への周知例

## 2. 奨学金制度について

## 1. 日本育英会

学校教育法に定める学校に在学し、学業優秀、品行方正、身体強健であって、学資の支弁が困難と認められる者に学資を貸与する奨学制度であり、貸与月額、応募方法等は次頁の通りである。

\* 中略 \*

## 2. 沼津工業高等専門学校同窓会奨学金

本校同窓会が在学生ののために特に設けた奨学制度であり、本校に在学し、人物優秀であって、学資の支弁が困難と認められるものに対して、当該期（前期又は後期）の授業料の全額又は半額相当額を給付する。選考は学級担任教官の推薦に基づき授業料免除選考会議で行う。

## 3. その他の奨学金

- (1) 知恩会 大学編入学時に募集（給付）
- (2) タミヤ奨学会 大学編入学時に募集（給付）
- (3) 沼津中央ライオンズクラブ 原則として保護者が沼津市在住の者  
年1回募集（給付・1～3年生）
- (4) 交通遺児育英会 保護者が道路における交通事故により死亡又は著しい後遺障害を受けた者

(出典：平成15年度学生便覧pp. 75, 76)

[https://itwg.numazu-ct.ac.jp/kyoumu/gakusei\\_binrann\\_naiki/gakuseibinran15r4.pdf](https://itwg.numazu-ct.ac.jp/kyoumu/gakusei_binrann_naiki/gakuseibinran15r4.pdf)

## 資料 7-2-①-14：各種保険について

## 9. 各種保険について

## 1. 日本体育・学校健康センター

学校管理下における学生の負傷、疾病、障害又は死亡に関して必要な給付を行う制度であり、本校学生は全員加入している。

## (1) 給付対象となる災害

学校管理下で起きた事故による負傷（療養費負担900円以上のもの）、後遺障害、死亡及び学校管理下でなされた行為に起因するもので文部科学大臣が定めるもの。

## (2) 給付金の請求

事故等が起こった場合は、速やかに学級担任教官等の関係教官及び学生係に連絡する。

後日（治療終了時又は次の月の初め）学生係の指示する書類を提出する。請求は学生係で行う。

## (3) 給付金の支払い

給付金支払いは諸経費納入用のスルガ銀行長泉支店の学生名の口座に振り込む。なお給付額は療養に要した費用の4割、又、別に障害見舞金、死亡見舞金がある。

## 2. 高等専門学校学生団体総合保険

学生の学校管理下及び学校管理下以外の障害、学資負担者の災害による死亡等に関し給付を行う任意加入の保険であり、現在全学生の88%が加入している。

## (1) 給付対象

学生が事故により通院、入院、死亡した場合、著しい機能障害又は不具廃疾になった場合、学生の学資負担者が事故により死亡した場合。

## (2) 給付金の請求及び支払い

請求は本人又は保護者が行うこととなっているので、学生係に申し出て請求用紙を受け取り手続きすること。なお事故が起こった場合は30日以内に保険会社あてに『事故の通知』を提出しておく必要がある。

（出典：平成15年度学生便覧p.79）

[https://itwg.numazu-ct.ac.jp/kyoumu/gakusei\\_binrann\\_naiki/gakuseibinran15r4.pdf](https://itwg.numazu-ct.ac.jp/kyoumu/gakusei_binrann_naiki/gakuseibinran15r4.pdf)

**観点 7-2-②：特別な支援が必要な者（例えば、留学生、障害を持つ学生等が考えられる。）がいる場合、生活面での支援が適切に行われているか。**

（観点に係る状況）留学生は全員学生寮に入寮し（資料 7-2-②-1）、その支援は、個別に割り当てられる担当教員及び学生チューターを始めとして、学級担任教員、寮務担当教員、学生課職員、非常勤の日本語担当教員などが緊密に連携を取りながら実施している（資料 7-2-②-2）。

障害を持つ学生の入学例はないが、教務の申し合わせに「身体的ハンディキャップを持つ学生には、クラス担任がクラス員からチューター学生（複数）を選び、対応する」があり、適切に対応する用意がされている。また、その際には設備についても同時に整える用意がされている。なお、エレベータ及び身障者用トイレの設置など施設面の配慮は各施設の改修の際に考慮している。

（分析結果とその根拠理由）優れている。留学生に対する配慮は、担当教員を中心としてきめ細かく行われており、留学生は日本人学生と何ら変わることなく学生生活を送っていることから、優れていると判断できる。また障害を持つ学生が入学したとしても、低学年の教室は既にエレベータ等の設備が完備している。

## 資料 7-2-②-1 : 寮内の留学生専用施設



留学生の捕食室

留学生のシャワー室

(※宗教の違いを考慮し捕食室とシャワー室はそれぞれ2室ずつある。)

(出典：認証評価ワーキンググループによる写真)

## 資料 7-2-②-2 : 非常勤の日本語担当教員による留学生指導の例

From: hamaya@numazu-ct.ac.jp (濱屋 進)  
 Date: Tue, 26 Oct 2004 04:39:51 +0900  
 To: kocho@numazu-ct.ac.jp, kyoukan@numazu-ct.ac.jp, jimubu@numazu-ct.ac.jp  
 Cc: KEIKO TAKASAWA <XXXX@XX.XXXX.ne.jp>

平成 16年 10月 26日

教職員各位

濱屋です。メールで失礼します。

留学生については公私にわたって面倒をみて頂いている留学生科目担当の高澤先生から下のメールを頂きましたのでご紹介します。

# 本年の留学生はいろいろな面で問題を抱えている、と聞いていましたが、少し、ホッと致しました。

取り急ぎ、メールの紹介まで。

----- 以下は転送メッセージです。-----

日時：平成 16年10月26日(火) 午前1時15分  
 件名：日本語の高澤です  
 差出人：高澤けい子★KEIKO TAKASAWA <XXXX@XX.XXXX.ne.jp >

濱屋先生、滝田様

留学生日本語非常勤講師の高澤と申します。  
 いつも大変お世話になっております。

今日教務でお会いした際にお話し致しました、スピーチコンテストの件につきましてお知らせ致します。

10月17日(日)に沼津市立図書館視聴覚ホールにおきまして、**NICE沼津国際**

交流協会の「英語 & 日本語スピーチコンテスト」が開催され、日本語の部に、沼津高専の留学生が四名出場いたしました。出場したのは、四年生のXXXX、三年生のXXXX、XXXX、XXXXです。

その中からXXXXが三位に入賞し、トロフィー、賞状、副賞(一万円の商品券)が授与されました。

翌日の静岡新聞の朝刊にこの記事が載っており、四年生のXXXXがスピーチをしている写真も載っています。

静岡新聞の記者にはXXXXのスピーチが心に響いたのでしょうか、日本人の友達が出来ない辛さを語り、最後に、僕と友達になって下さい!と叫んでスピーチを終わりにしたXXXXのスピーチの内容と写真が採り上げられています。

このスピーチコンテストは今年で13回目になり、毎年沼津高専の留学生が参加しています。数年前には優勝、準優勝、3位を沼津高専の留学生が総なめにした年もありました。

しかし年々参加者のレベルが高くなり、近年は少々の練習ではなかなか入賞できなくなりました。

出場者は静岡県東部に在住・在勤・在学の外国人ということで、日本語学習経験・在日期間・来日目的などがまちまちの外国人が出場するため、ポイントの50%が内容、25%が発表態度、25%が日本語能力というコンテストです。

今年は英語の勝呂先生、図書館の青木さんが聴きに来ていただきました。

また5年生のXXXXがカメラを持って応援に来てくれました。

コンテスト終了後の交流会では、NICEの若いスタッフや英語の部に出場した日本人の短大生、高校生がXXXXの周りに集まり、他の留学生も一緒に携帯のメールアドレスの交換をして盛り上がっていました。

このような交流が続いてくれたら良いなと思いつつ見送っていました。

三位に入賞したXXXXは前日からラマダンで、交流会の終わる直前までオアズケ状態でしたが、日没と同時に、密かに確保してあったお菓子をすごい勢いで食べていました。

応援に来ていたXXXXは自転車であつたため早めに帰りましたが、出場した四人は交流会終了後に、NICEのスタッフと一緒にファミレスで食事をして、私が車で寮まで送り届けました。

普段接することが少ない、高専生や教職員以外の日本人との交流で、楽しんでもらったのではないかと思います。

日本事情のテーマ学習についてご連絡いたします。

当初は、ひとりひとりに自分のテーマを決めさせて実施する予定でしたが、五年生は卒論などで忙しそうで、三年生は(XXXX以外は)単独で何か出来る状態ではありませんで、留学生全員で高専祭で「留学生の部屋」をつくり、訪れる日本人に**自分の国について日本語で正しく説明する**というタスクに変更いたしました。

国の概要、国旗のデザインが持つ意味、国歌とその日本語訳などを頑張つてやっています。

「ミニマレー語／シンハラ語／ラオス語／スワヒリ語／インドネシア語講座」と称し簡単な挨拶でいどの母国語を教える時間も設ける予定です。

高専祭終了後は、アンケートを集計したり、良かった点、改善点をまとめ、当初はウェブサイトを作らせる予定でしたが、高専祭参加報告及び感想の作文に切り換えることに致しました。

学年末には文集のような形あるものにして記念に持たせてやりたいと思っております。

留学生達は、これまでにこのようなイベントを自分の手でしたことがなく、飾り付けをした部屋がどのようになるのかも想像出来ないようです。

そのための予算もなくどうしても購入が必要なものは私からのカンパということでやっていますので、立派なものはありませんが、高専祭の日には是非D4の教室を覗きにきていただけましたら幸いです。

以上どうぞよろしくお願い申し上げます。

たかさわ

\*\*\*\*\*

高澤 けい子 (TAKASAWA KEIKO)

- ・NNCT 国立沼津高専／留学生日本語・日本事情講師
- ・SIIE 静岡県認証 特定非営利活動法人  
NPO@静岡あい(静岡教育国際インスティテュート)  
／理事、留学・教育・国際交流プログラム担当
- ・NICE 沼津国際交流協会／理事

\*\*\*\*\*

〒410-8501 沼津市大岡3600 沼津高専電気電子工学科  
 e-mail hamaya@numazu-ct.ac.jp  
 Tel/Fax 055-926-5821

(出典：学内メールから (一部削除))

メール内の**太字**は、認証評価ワーキンググループによる

**観点7-2-③**：学生寮が整備されている場合、学生の生活及び勉学の場として有効に機能しているか。

(観点に係る状況) 本校は、低学年全寮制を特色の一つとして掲げており、校長補佐(寮務主事)や寮監を中心とする寮務担当教員及び学生課寮務係職員による人的支援体制(資料7-2-③-1)を整えた上で、様々な角度から学生指導を行っている(資料7-2-③-2)。一方、居室等の施設整備(資料7-2-③-3)も充実させている。

寮生が組織する寮生会(資料7-2-③-4)があり、寮長・副寮長を始めとする指導寮生を中心に、毎日の学習はもとより、規則正しい有意義な共同生活を送ること、年間行事を楽しく盛り上げることを目指して、日々の寮生活が営まれている(資料7-2-③-5)。

寮生の健康管理や欠席管理は寮監や寮事務室が責任を持ち、欠席者情報を学内にメール通知してトラブルを未然に防いでいる(資料7-2-③-6)。

留学生は全員が入寮している。留学生を一番近くから支援する学生チューターも寮生である。他にも指導寮生、寮務担当教員、寮務係職員などが連携を取りながら支援している。また、高校からの編入学生にも入寮の門戸を開いている。このように、特別な配慮が必要な学生に対して寮は支援の場として機能している。

(分析結果とその根拠理由) 優れている。学生寮の生活においては、十分な学習時間を保証するタイムスケジュールが組まれている。また、設備の改修等居住環境の見直し・改善が定期的に行われている。さらに、教員2名と職員1名が毎晩宿直として寮に滞在しているほか、各棟各階ごとに指導寮生が入居し、寮生の相談に応じる体制が整えられており、学生寮は学生の生活及び勉学の場として極めて有効に機能し、優れている。例年寮生の現員がほぼ定員一杯なのは、次年度も寮に残りたいと希望する学生が多数のためであり、生活の場として優れている証拠である。

資料 7-2-③-1 : 寮生活指導の人的支援体制

## 6. 学寮規則と心得

### 1. 学寮規則

(目的)

第1 条 学寮の人間形成を助け、かつ、学生の修学に便宜を供与し、教育目的達成に資することを目的として、本校に学寮を設ける。

(学寮生活の基本)

第2 条 学寮に入寮する学生（以下「寮生」という。）は、この規則及びこの規則に基づいて定められた諸規程を守り、相互に啓発して自己及び共同生活の向上充実に努めなければならない。

(管理)

第3 条 学寮は、校長が管理する。

2. 学寮に関する訓育指導の業務を掌理するために、校長補佐（寮務主事）を置く。
3. 事務部長は、学寮管理の業務を掌理する。
4. 学寮に関する事務は、学生課の所管とする。

(寮務主事補)

第4 条 校長補佐（寮務主事）を補佐するために、寮務主事補を置く。

(寮務主任)

第5 条 校長補佐（寮務主事）、寮務主事補の業務を分掌するため、寮務主任を置くことができる。

(寮監)

第6 条 寮生の生活指導及び相談に当たるため、寮監を置く。

(寮務運営委員会・寮務委員会・学寮給食業務委託業者選定委員会)

第7 条 学寮運営に関する業務の企画立案及びその実施について連絡調整を図るため、校長の諮問機関として、寮務運営委員会・寮務委員会・学寮給食業務委託業者選定委員会を置く。

2. 寮務運営委員会・寮務委員会・学寮給食業務委託業者選定委員会の委員は、校長が任命し、両委員会の組織及び運営に必要な事項は、別に定める。

(出典：平成15年度学生便覧p. 69)

[https://itwg.numazu-ct.ac.jp/kyoumu/gakusei\\_binnrann\\_naiki/gakuseibinran15r4.pdf](https://itwg.numazu-ct.ac.jp/kyoumu/gakusei_binnrann_naiki/gakuseibinran15r4.pdf)

寮務主事・主事補	校長補佐(寮務主事)大久保清美 寮務主事補 永禮哲生, 嶋直樹, 大庭勝久, 江上親宏, 大澤和夫, 大久保進也, 渡辺敦雄, 藁科知之, 遠藤良樹, 村上真理, 平田陽一郎, 藤井数馬, 松澤寛
寮監・寮監代行	寮監 水口好美 寮監代行(前期)永禮哲生, 嶋直樹, 大澤和夫, 大久保進也 寮監代行(後期)大庭勝久, 藁科知之, 遠藤良樹, 平田陽一郎
寮務委員会	○ 大久保清美, 濱屋進, 野澤正信, 永禮哲生, 嶋直樹, 大庭勝久, 江上親宏, 大澤和夫, 大久保進也, 渡辺敦雄, 藁科知之, 遠藤良樹, 村上真理, 平田陽一郎, 藤井数馬, 松澤寛, 水口好美, 坂本信男, 佐藤誠, 加藤繁, 長谷賢治, 吉野龍太郎, ◇学生課長, (事務)寮務係

(出典：校務分掌から)

<http://jimubu.numazu-ct.ac.jp/2005/iinkai17.pdf>

## 資料 7-2-③-2 : 寮生指導の例

From: Kiyomi OHKUBO <ohkubo@la.numazu-ct.ac.jp>  
 Date: Wed, 18 May 2005 15:46:36 +0900  
 To: kocho, kyoukan  
 Cc: bucho, gakuseika, uno  
 Subject: 第3回木曜会(+全体会)報告  
 久賀校長先生  
 全教員・事務部長・学生課職員各位(Cc:人事係長)  
 こんにちは、大久保Lです。標記報告をお届けいたします。

## 第3回木曜会(+全体会)

日時:平成17年5月12日(木)16:00~17:30(教員会議)  
 17:30~18:15(教員と寮生会本部役員との棟会)  
 場所:寮管理棟集會室(教員会議),合宿所大部屋(棟会)  
 出席:水口,遠藤,村上,平田,藤井,松澤,永禮,大庭,江上,大澤,大久保進也,  
 渡辺敦雄,藁科,大久保清美

## ①現員報告

560名(男子:495名 女子:65名)  
 1年:212(22) 2年:181(23) 3年:83(13) 4年:67(7) 5年:17(0)  
 専攻科:0(0) 留学生:9(1) 4年次編入生:3(1) (括弧内は女子人数)  
 \*前回との異同なし

## ②行事等活動報告

4月22日(金)第1回防災避難訓練(火災想定,6:45~7:20)  
 担当:長泉消防署員2名,佐野・安田厚生委員長,大久保進也・松澤主  
 事補(防災担当),水口寮監,大久保L  
 \*浦崎先生・鄭先生(宿直),益本事務部長・小粥学生課長・岡本寮務  
 係長・山本寮務主任も参加してくださいました。

## \*20行削除\*

5月 9日(月)第2回朝礼(6:45~7:10)  
 訓話:水口寮監,長谷先生(宿直),大久保L  
 第2回教養講座(1年対象,19:30~21:00,第1視聴覚)  
 講演「正しい性に関する知識」  
 講師:黒瀬清隆 氏(ハートブレイク思春期研究所)  
 担当:書務長・書務委員,学生生活支援室(浦崎・加藤先生)大久保L  
 出席:小粥学生課長,新井学生係長,松本看護師,土屋栄養士

## \*4行削除\*

5月14日(土)保護者による寮居室等見学会・懇談会(12:20~13:15)

## ③今後の予定

## \*16行削除\*

## ⑥審議事項

- ・欠席欠課願,公休願用紙の様式変更について  
 →寮監(又は寮監代行)の押印欄を設ける。書式の変更は学生課長に依頼
- ・特別外出許可願用紙の様式変更について(微調整)
- ・3年以上男子の20時点呼後外出の解禁について  
 →5月16日(月)より解禁とする。帰寮報告は21:30~21:50の間  
 (3行削除)

## 全体会議事録(書記:藤井主事補)

(大久保主事より)

- ・現員報告,活動報告,今後の予定,許可事項,生活指導報告については上記参照
- ・欠席欠課願,公休願用紙の様式を変更し,寮監(又は寮監代行)の押印欄を設ける。  
 学校の欠席,欠課については,寮生は寮監から報告,寮外生は保護者から報告という形を  
 徹底させたい。
- ・特別外出許可願用紙の様式変更について(微調整)
- ・翔峰の学生のバイク事故について…身を大切にすること
- ・男女交際について…20時点呼以降の逢引は前年度同様,禁止する。
- ・「語り」について…節度を持たせること
- ・寮生会からの木曜会資料に対するコメント  
 (水口寮監より)
- ・清掃について…清掃がしっかりとできないと,いろいろな面が乱れてくる。1年生は,今の  
 時期を大切にしっかりとしつけをしてほしい。今やっておけば,今後の寮生活が安定する
- ・ルールの把握について…1年生を中心に,通院する際に欠課届けを出さずに行ってしまった  
 ケースがある。学生の安全確保,学生把握の意味でも,決められた書類はしっかりと提  
 出する。

(遠藤主事補より)

- ・1年生が人の話を聞いていないことがあれば,一案として,指示した内容を復唱させるの  
 もいいのではないか。
- ・光峰のマテカが非常にすばらしい。
- \*全体会終了後,棟顧問と棟長との懇談等を行った。

————— このメールにはファイルが添付されています —————

(出典:校長補佐(寮務主事)から全教員宛メール・一部削除)

前ページからの続き

(資料 7-2-③-2 : 寮生指導の例)

## 平成16年度寮生のための教養講座

- 第1回 5月10日 1年生女子対象  
「健康な心身をたもつために」 講師：八十川 徹
- 第2回 5月12日 1年生対象  
「正しい食生活」 講師：土屋 つね子
- 第3回 11月9日 2年生対象  
「ガテマラで見たこと、考えたこと」 講師：河内 毅  
(青年海外協力隊)
- 第4回 11月11日 1年生対象  
「薬物乱用防止講座」 講師：沼津警察署員

(出典：学生課寮務係)

## 2005年5月 教員宿直割振表

日	曜日	清峰(南寮)	明峰(女子寮)	栄峰(北寮)	寮監代行	寮行事等
		宿直者	巡回者	宿直者		
1	日					
2	月					
3	火					
4	水					
5	木	大庭 勝久		鈴木 克彦		開寮
6	金	藤井 数馬		遠藤 良樹		
7	土	平田陽一郎		芳野 恭士		テーブルマナー
8	日	長谷 賢治		大久保清美		
9	月	松澤 寛		大久保進也		
10	火	谷 次雄		遠山 和之	大久保進也	
11	水	江上 親宏	佐藤 志保	嶋 直樹	嶋 直樹	
12	木	井上 聡		水口 好美		
13	金	鈴木 康人		大原 順一		

(出典：<https://itwg.numazu-ct.ac.jp/ryoumu/index.html>)

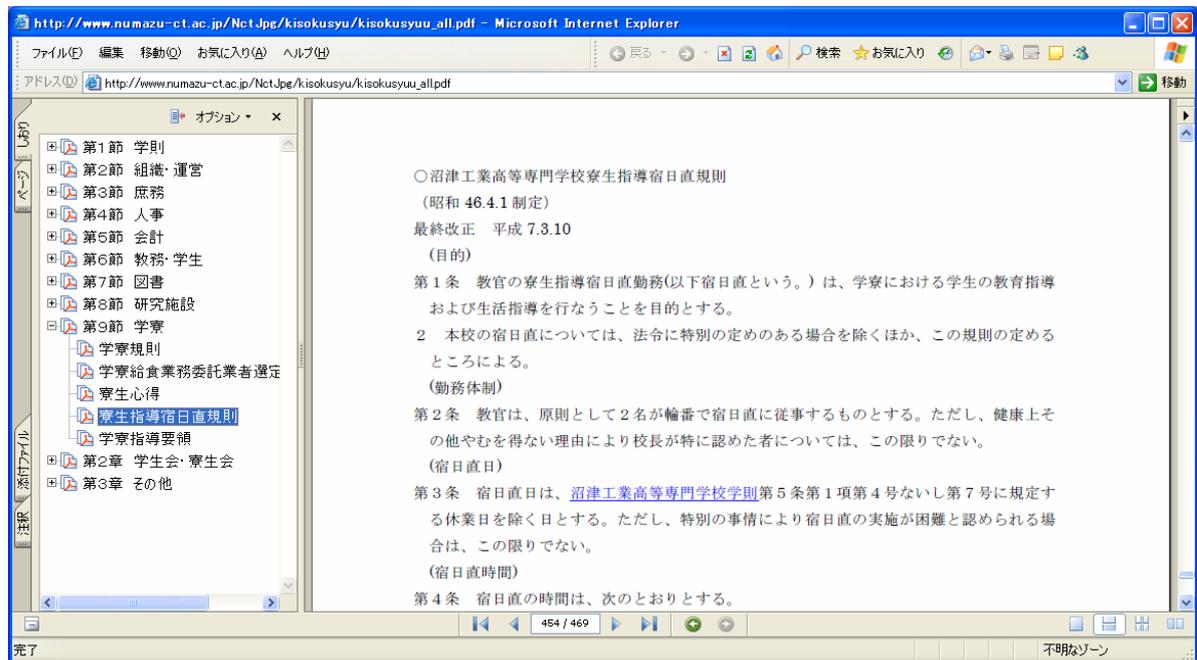
## 平成17年5月分宿直割振表

		宿 直	
日	曜	寮	寮関係行事等
1	日		
2	月		開校記念日振替休日
3	火		憲法記念日
4	水		国民の休日
5	木	内野 拓	子供の日
6	金	志田 誠吾	
7	土	河野 厚志	
8	日	滝田 昌稔	
9	月	宇野 裕之	
10	火	青田 広史	
11	水	小澤 光	2~5年生 オリエンテーション
12	木	小澤 喜英	スポーツ大会・学生総会

(出典：<http://jimubu.numazu-ct.ac.jp/warihuri.htm>)

前ページからの続き

(資料 7-2-③-2 : 寮生指導の例)



(出典：本校規則集)

次行のURLのp. 454

[http://www.numazu-ct.ac.jp/NctJpg/kisokusyu/kisokusyuu\\_all.pdf](http://www.numazu-ct.ac.jp/NctJpg/kisokusyu/kisokusyuu_all.pdf)

同じ情報は次行のURLからも閲覧できる。

[http://www.numazu-ct.ac.jp/NctJpg/kisokusyu/1131\\_ryoukyouinsyukyutoku.htm](http://www.numazu-ct.ac.jp/NctJpg/kisokusyu/1131_ryoukyouinsyukyutoku.htm)

前ページからの続き

(資料 7-2-③-2 : 寮生指導の例)

平成 17 年 2 月 24 日 木 曜日 天気 晴れ

宿直教官氏名		棟長氏名	
室番	点呼者	室番	点呼者
101		107	
301		306	

外出者				外泊者				
室番	学級	氏名	摘要	確認	室番	学級	氏名	摘要
			卒研の為					
/				/				

病 気・事 故 者				行 事・備 考・そ の 他			
室番	学級	氏名	摘要				
			体調不良の為				
/							

(出典：学生課寮務係，点呼日誌から)

前ページからの続き

(資料7-2-③-2:寮生指導の例)



寮生指導日誌

(必要に応じて記入のうえ、寮監まで提出してください。)

2005年2月24日 (木曜日)

宿直教官 澤 洋一郎 (印)

記 録

○ 全直帰寮確認 21:48 (3名)

指導上の所見 (点呼・日課・風紀・その他)

8点報告時

37.5℃とあり、テスト勉強の疲労とか、ノロウイルスではないかと、病棟に行くまでとあること、  
様態を視察し、異常があれば知らせよう指示 (報告者 清川 田村)

★ 20:30~21:00 巡回

後→秀→外回り→清

○ 様子:寝ていた。汗をかいていたので、  
しっかり汗をぬいで着替えよう指示。  
調子が悪くなったら速に受診へ行くよう指示した。

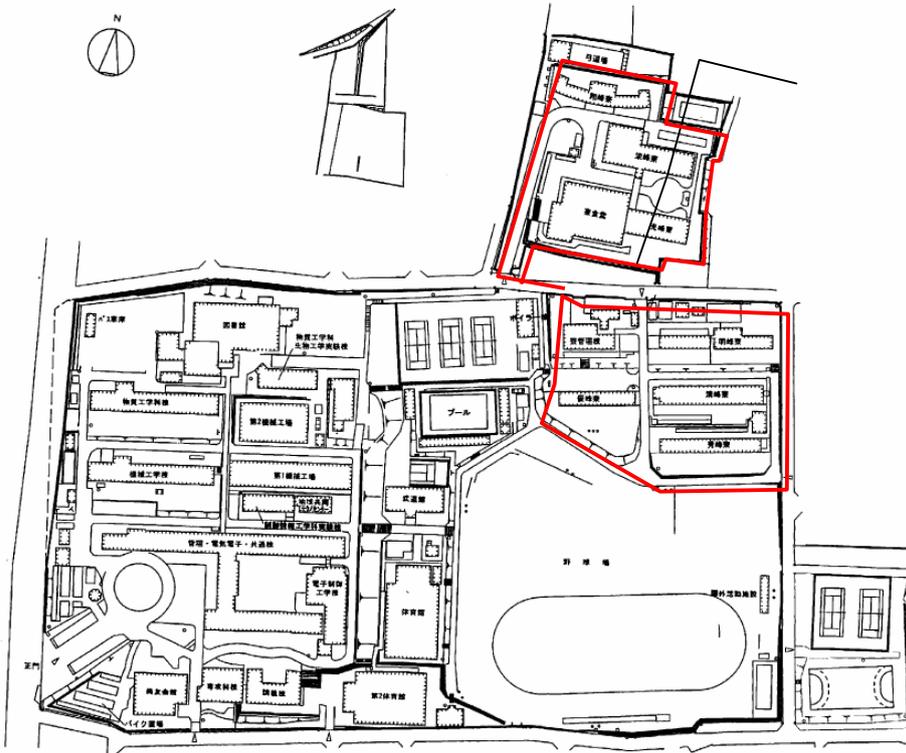
寮 監

○ 秀の戸来側雨切り板修理!

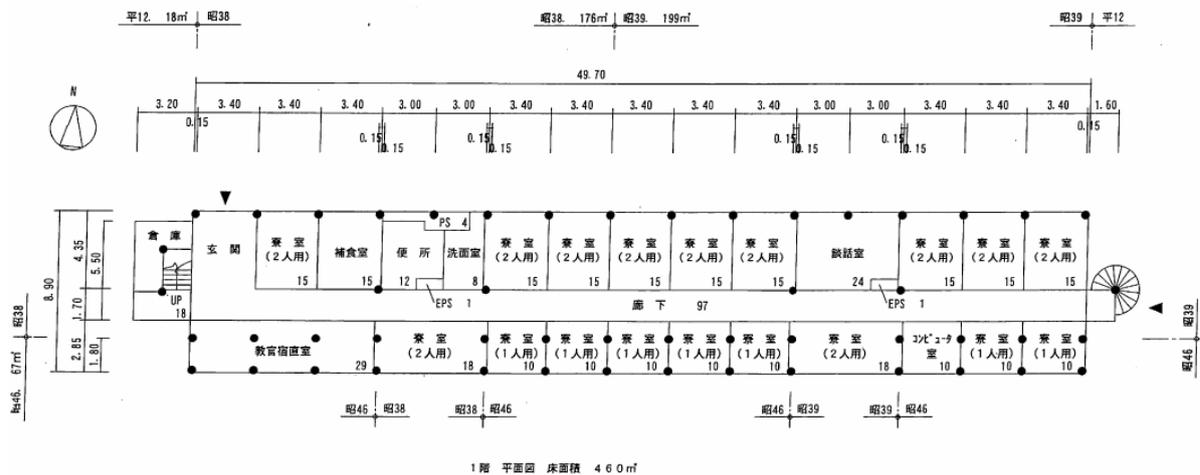


(出典: 学生課寮務係, 寮生指導日誌から)

資料 7-2-③-3 : 寮の施設整備について



(出典：学生課寮務係)



(出典：学生課寮務係，清峰寮の図面)

前ページからの続き

(資料 7-2-③-3 : 寮の施設整備について)

寮内居住空間の概要

- ・ 学生寮は、7つの棟からできている。
- ・ 学生寮の居室には、学習スペースとして、学生ごとに机と椅子、本棚が整備されている。
- ・ 学生は次に表に示す広さの部屋に住む。なお、定員は572名である。

一人部屋	二人部屋
9m <sup>2</sup> の部屋×141	15m <sup>2</sup> の部屋×29 *1
10m <sup>2</sup> の部屋×27	16m <sup>2</sup> の部屋×12 *2
11m <sup>2</sup> の部屋×54	18m <sup>2</sup> の部屋×134 *
計 222部屋 (222名分)	計175部屋 (350名分)

\*1 清峰寮 (最も古い棟) にのみ存在

\*2 明峰寮 (二番目に古い棟, 現在女子寮) にのみ存在

- ・ 学生寮の各棟各階には、コミュニケーションスペースとして、談話室・補食室、コンピュータ室等が整備されている。棟別には次表の通り。

	翔峰	栄峰	光峰	優峰	秀峰	清峰	明峰	平均
補食室 (平米)	50	73	66	63	54	45	97	1.19
談話室 (平米)	95					72		
コンピュータ室(平米)		11	11			30	11	
便所・洗面室等(平米)	145	126	116	108	54	78	152	1.36
宿直室 (平米)	0	23	0	0	0	29	16	—
学生居室 (平米)	954	1014	768	441	522	813	660	9.04
学生定員 (人)	106	106	80	49	58	97	76	—
学生現員 (人)	106	105	80	49	58	97	65	—
空 (人)	0	1	0	0	0	0	11	—

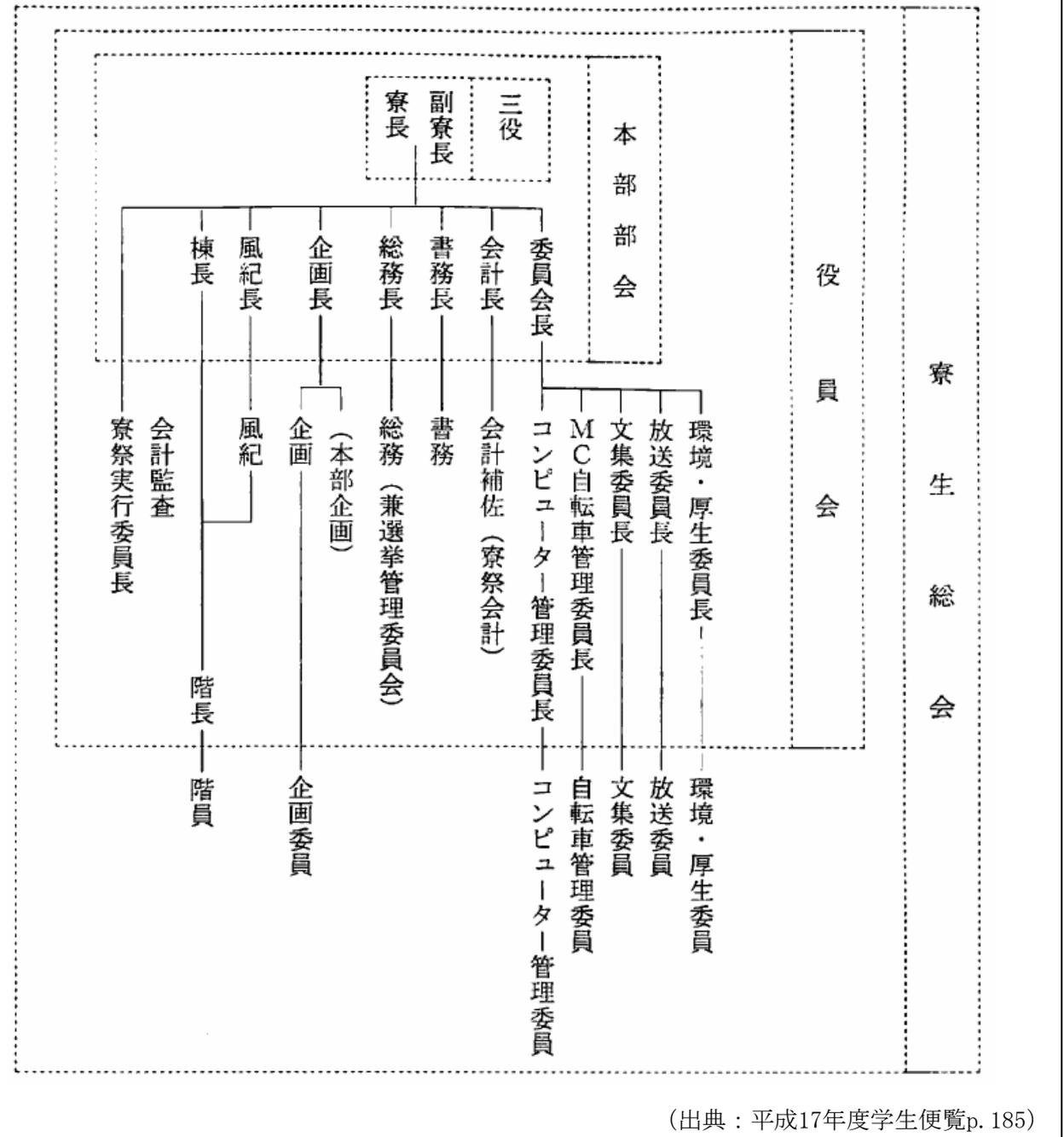
注：平均とは、学生定員の場合の学生一人当たり面積という意味

- ・ 学年別現員は次の表の通り

学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	本科合計	専攻科
寮生の人数	212	181	83	67	17	560	0
学内の比率	99.5%	84.5%	39.9%	31.3%	8.2%	53.0%	0%

(出典：学生課寮務係)

資料 7-2-③-4 : 寮生会の概要



(出典：平成17年度学生便覧p. 185)

資料 7 - 2 - ③ - 5 : 寮生活の概要

## 2. 寮生心得

寮生活の意義は、規律ある共同生活を行うことにより、5 年一貫教育の充実を図り、学生の将来にわたる人間形成に資することにある。

### 寮生活の目標

- 共同生活を通して互いの和を図り、積極的に寮友を啓発し、また寮友に学ぶべきものを摂取し、各人の向上を図る。
- 共同生活にありがちな安易さを自ら戒しめ、規律ある寮生活を維持する。
- 公私、自他の厳然たる区別をわきまえ、互いにその立場を尊重した言動に心掛ける。
- 寮の施設や器物は長年にわたって使用するものであるから、愛情と注意をもって大切にす
- る。
- 常に学習時間の保持、充実に努めるとともに、健康保持のため睡眠、運動等にも十分な配慮をする。
- 自由時間や余暇の利用は、無駄のないように各自工夫し、豊かな趣味と健全な人格を形成することに努力する。

(出典：平成15年度学生便覧p. 70)

[https://itwg.numazu-ct.ac.jp/kyoumu/gakusei\\_binnrann\\_naiki/gakuseibinran15r4.pdf](https://itwg.numazu-ct.ac.jp/kyoumu/gakusei_binnrann_naiki/gakuseibinran15r4.pdf)

前ページからの続き

(資料 7-2-③-5 : 寮生活の概要)

## 2. 生活

寮生は、「寮生心得」に基づき健康・安全かつ有意義な寮生活を送るため、下記の日程表により生活する。

### (1) 日課について

平日は、下記の日課に従って生活する。

区分	時限	寮生留意点
起床	6:55	起床時刻を厳守し、寝具の整頓を速やかにする。 居室前で点呼を受ける。不在者・病人の有無を確認する。(8:00 までに提出。)
点呼	7:00	
清掃	7:00～7:30	原則として1ヵ月に1回、月曜日に行う。
朝礼	7:00	
朝食	7:30～8:30	8:15 までに食堂に入ること。
登校	8:30	服装を整え、定刻までに登校する。
施錠	8:30	欠席・欠課の場合は、必ず事前に寮監に申し出て承認を受ける。(8:40 までに提出)
授業	8:50	
昼食	11:45～13:00	短縮授業中・テスト期間中は 11:30～13:00
開錠	13:15	
夕食	17:00～19:00	18:50 までに食堂に入ること。
入浴	17:00～19:50	居室前で点呼を受ける。当番は風呂掃除を行う。 雑談、放歌等は禁止する。
点呼・門限	20:00	
静粛時間	(20:00 以降)	学習に専念する。
学習時間	20:00～22:00	
点呼	22:00	居室前で点呼を受ける。不在者、病人の有無を確認する。
施錠	22:00	点呼後、棟外の外出禁止。点呼当番が帰寮後、玄関を施錠する。
消灯・就寝	23:00	1・2年生 3年生以上 (詳細は次頁表1・2参照)
	1:00	

(1) 土曜日・日曜日・祝日・臨時休業日等は朝の点呼なし。

備考 (2) 登校時間中は、寮内への出入りは禁じる。特別の事情がある場合には寮務関係教官又は担任教官の許可を受けて出入りする。

(出典：寮生会の手引)

前ページからの続き

(資料 7-2-③-5 : 寮生活の概要)

平成16年度寮行事及び寮生会活動			4・5・6月						
4月			5月			6月			
日	曜	寮生会活動	日	曜	寮行事	寮生会活動	日	曜	寮生会活動
1	木	寮生会三役帰寮	1	土	閉寮(10:00)		1	火	
2	金	寮生会本部役員帰寮	2	日			2	水	
3	土	寮生会役員帰寮	3	月	〈憲法記念日〉		3	木	
4	日	開寮(13:00)	4	火	〈国民の祝日〉		4	金	〈中間試験〉
5	月	入寮式(13:40)寮学説明会(14:10)〈入学式〉	5	水	開寮(13:00)〈子供の日〉		5	土	
6	火	開寮式(13:00)お花見会(新入生オリエンテーシ	6	木	ラジオ体操(7時1年～1)	風紀長教官懇談会	6	日	
7	水	〈始業式・対面式〉	7	金		秀役員教官懇談会	7	月	〈中間試験〉
8	木	〈授業開始〉〈健康清・優棟別会	8	土	保護者居室見学(後援会総会)		8	火	〈中間試験〉
9	金	〈健康診断124〉	9	日			9	水	〈中間試験〉
10	土	〈クラブ紹介〉	10	月	第1回教養講座(1年)	翔役員教官懇談会	10	木	〈中間試験〉
11	日		11	火	明役員教官懇談会	ねり線(19:20-21:30)	11	金	
12	月		12	水	第2回教養講座(1年全)	19:30)	12	土	
13	火		13	木	第3回学寮委員会(スポーツ大会・学生総会)		13	日	
14	水		14	金		延風呂(5.14~7.9)	14	月	第3回朝礼
15	木	第1回学寮委員会(1年生合宿研修)	15	土			15	火	清棟別杯
16	金	〈1年生合宿研修〉優役員教官懇談会	16	日			16	水	
17	土		17	月			17	木	
18	日		18	火			18	金	
19	月	寮生総会(第2体育館)	19	水			19	土	〈東京高専定期戦〉
20	火	〈開校記念日〉寮祭スタッフ全体会	20	木	第4回学寮委員会		20	日	〈東京高専定期戦〉
21	水		21	金	ステージ・前夜祭準備	栄役員教官懇談会	21	月	栄棟別杯
22	木	第2回学寮委員会	22	土		寮祭前夜祭(18~)	22	火	
23	金		23	日		寮祭(10~練り16~)	23	水	
24	土	新入生歓迎親睦会(	24	月		光役員教官懇談会	24	木	三役教官懇談会
25	日	〈学生会歓迎会ホ-リ〉委員会・本部部会	25	火	第2回朝礼		25	金	
26	月	第1回防災訓練・第1回朝礼・清役員教官懇	26	水			26	土	夏祭・花火(18~21)
27	火	棟長会	27	木			27	日	
28	水	本部事務会	28	金	テスト週間生活時間変更(5.28~6.1)		28	月	
29	木	〈みどりの日〉優棟別杯	29	土			29	火	光棟別杯
30	金		30	日			30	水	翔棟別杯
			31	月					

(出典：学生課寮務係)

資料 7-2-③-6 : 欠席・欠課者情報通知による学生の健康管理等

件名：170704 (月) 寮生の欠席・欠課連絡

From: minakuti@numazu-ct.ac.jp

Date: Mon, 04 Jul 2005 09:06:34 +0900

To: kyoukan, kyoumu, ryou

教員全員 (校長除く) ・教務係全員・寮務係全員 各位

平成17年7月4日 (月) における寮生の欠席・欠課について御連絡します。

欠席	翔峰寮	XXX室	S5	〇〇	〇〇	(公休願申請中)
	翔峰寮	XXX室	C5	〇〇	〇〇	(公休願申請中)
	栄峰寮	XXX室	S3	〇〇	〇〇	
	光峰寮	XXX室	M2	〇〇	〇〇	(公休願申請中)
欠課	光峰寮	XXX室	D3	〇〇	〇〇	(欠課：第1～4時限)

なお、授業に出席していない学生(寮生)がいましたら、寮務係(内線5736)まで御連絡いただけますようお願いいたします。

(出典：寮監から全教員あての電子メール・一部削除)

**観点 7-2-④：就職や進学などの進路指導を行う体制が整備され、機能しているか。**

(観点に係る状況) 進路指導の全体的な方針は、就職関係は就職委員会、進学関係は教務委員会が中心となって決定している(資料7-2-④-1)。学生個別の対応は、各専門学科長及び学級担任教員が窓口となって相談・助言を行っている。また、就職・進学ともに希望者を対象とするガイダンスを開催したりガイドブックを設け(資料7-2-④-2)、伝達に漏れが無いようにしている。学生向けウェブサイト履歴書の書き方の項目を加えるなどの支援も行っている(資料7-2-④-3)。平成16年度からは低学年の意識向上を図って1・2年生を対象に「5年生による進路ガイダンス」(資料7-2-④-4)も実施している。就職・進学の実績を資料7-2-④-5に示す。

(分析結果とその根拠理由) 優れている。進路指導は、全体の方針を踏まえ、各専門学科長及び学級担任教員が学生本人の希望を把握した上できめ細かい指導を行っている。また、ガイダンスにおいては、教職員のみでなく実際に就職活動や受験等を経験した高学年生や最近の卒業生を講師として行うことにより、学生の意識を大いに刺激しており、全体として取組は優れている。

資料7-2-④-1：就職指導担当者

就職委員会	○ 久賀重雄, 野澤正信, 大賀喬一, 江間敏, 舟田敏雄, 大島茂, 蓮實文彦, 山岸文明, 村松久巳, 望月孔二, 長澤正氏, 吉野龍太郎, 小林美学, 事務部長, 学生課長 (事務) 学生係
教務委員会	○ 濱屋進, 西田友久, 西村賢治, 川上誠, 長谷賢治, 望月明彦, 西垣誠一, 大賀喬一, 江間敏, 舟田敏雄, 大島茂, 蓮實文彦, 山岸文明, 森井宜治, 谷次雄, ◇学生課長 (事務) 教務係

(出典：各種委員会委員名簿)

<http://jimubu.numazu-ct.ac.jp/2005/iinkai17.pdf>

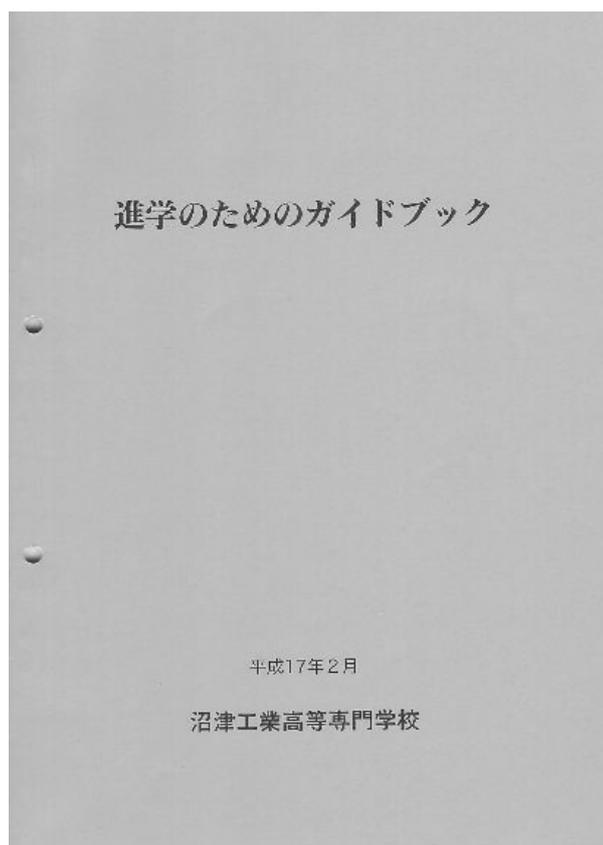
資料 7-2-④-2 : 就職のガイダンスの資料

## 平成16年度就職懇談会実施予定一覧表

平成16年12月24日現在

学 科	開催日時				食事券	備 考
	日 付	集合時間	開始時間	終了予定時間		
機械工学科	平成17年 2月15日(火)	12時45分	13時10分	15時00分	要	11/22付起案済
電気電子工学科	平成17年 1月18日(火)	13時00分	13時10分	14時40分	要	今回起案分
電子制御工学科	平成16年12月15日(水)	14時50分	15時00分	16時00分	不要	11/19付起案済・11/29追加起案
制御情報工学科	平成17年 1月28日(金)	12時45分	13時05分	16時20分	要	12/24起案済
物質工学科	平成17年 1月以降実施予定					

(出典：就職懇談会実施予定一覧表)



(出典：学生課教務係，進学のためのガイドブック，全42ページ)

資料 7-2-④-3 : 学内専用の学生向けウェブサイトから

## 資料集

### ダウンロード

諸様式ダウンロード

---

### e-Learningシステム

パスワードの再設定方法      Flash版

---

### 災害対策

東海地震に関する本校の対策(2004.10.19)

---

- |             |      |
|-------------|------|
| 1. 学生用      | pdf版 |
| 2. 保護者用     | pdf版 |
| 3. 地震防災のしおり | pdf版 |
| 4. 寮の地震防災対策 | pdf版 |

### 就職関係

就職活動用の履歴書の書き方について(2005.1.31)

---

### 授業アンケート

平成16年度授業アンケート結果      実施資料

---

平成15年度授業アンケート結果      実施資料

---

### 行事予定

平成16年度行事予定      HTML版      Excel版

---

### 時間割

平成17年度時間割

---

- |            |        |      |
|------------|--------|------|
| 1. かがみ     | Word版  | pdf版 |
| 2. 時間割(前期) | Excel版 | pdf版 |
| 3. 教員別時間割  | Excel版 | pdf版 |

(出典 : <http://www.ccst.numazu-ct.ac.jp/kyoumu/kyoumu.html>)

矢印は認証評価ワーキンググループによる

## 資料 7-2-④-4 : 下級生対象進学ガイダンスの概要

厚生補導関係資料 - Microsoft Internet Explorer

アドレス <https://itwg.numazu-ct.ac.jp/kouseihodou/guidance-5to12/index.html> 移動 リンク

戻る 編集2004/12/10; 立ち上げ2004/12/10

### 5年生による進路ガイダンス

低学年の学生の中には安定した生活を送れない者がいるが、その一因はここから編入できる大学あるいは就職先などの進路について理解できていないことである。そこで、今までどのような大学・企業にどのようにして過去の卒業生が進んだか、さまざまな道、可能性が開けていることを説明すれば学生生活が改善されると考えられる。

**注意: この表からリンクされているページはプライバシー未配慮(学生氏名を消していない)であるため、学生に見せたりしないで下さい**

2004年5年生による進路ガイダンス <a href="#">進路ガイダンスの様子.pdf</a>		
1・2年生の感想文		
機械工学科	<a href="#">1年生</a>	<a href="#">2年生</a>
電気電子工学科	<a href="#">1年生</a>	<a href="#">2年生</a>
制御情報工学科	<a href="#">1年生</a>	<a href="#">2年生</a>
物質工学科	<a href="#">1年生</a>	<a href="#">2年生</a>

- H16年度第7回厚生補導委員会(11/17)にてやり方が確定
- H16年度第4回厚生補導委員会(8/30)にて議論。各種委員会にも連絡

リンク: [平成16年度ぶんの記録](#) (pdf, 注意: プライバシー未配慮(学生氏名を消していない)であるため、学生に見せたりしないで下さい)  
上記記録の内容は次の通り

- H16年12月9日 電気電子工学科で、4名の5年生が2年生相手に体験談を話す
- H16年12月10日 制御情報工学科で、5名の5年生が2年生相手に体験談を話す
- H16年12月10日 機械工学科で、4名の5年生が2年生相手に体験談を話す
- H16年12月13日 機械工学科で、4名の5年生が1年生相手に体験談を話す
- H16年12月13日 電気電子工学科で、4名の5年生が1年生相手に体験談を話す
- H16年12月13日 制御情報工学科で、5名の5年生が1年生相手に体験談を話す
- H16年12月21日 物質工学科で、5名の5年生が1,2年生相手に体験談を話す

(出典 : <https://itwg.numazu-ct.ac.jp/kouseihodou/guidance-5to12/index.html>)

## 2004年 5年生による進路ガイダンス感想文

機械工学科1年 □□□□

今回、5年生達の話聞いて、もう少し進路について考えたほうが良いと思いました。僕はあまり先のことについては考えないし、考えたくないですが、早いうちから進路について考えておくことは、大切だと思いました。具体的には現在の成績でよい大学に進学できるのか、良い会社に就職できるのかと考えてみると、決してそうだとはいえないということです。将来の自分のために今の自分ができることは勉強すること、将来について考えることだとわかりました。また、「自分を磨く」ということも大切だと思いました。今の自分はどうしようもなくダメな人間です。中途半端だし、意志が弱い。(昔はもう少しましだったんですが・・・笑)今回話をしてくださった先輩達は、とても良い人でそれでいて、しっかりした自分というものを持っているような気がしました。だからこそ進学、就職と比較的に早いうちにできたのだと感じました。自分も今回の先輩たちのようになれたらよいと思いました。

電気電子工学科1年 □□□□

正直なところ、「福祉か工業か」と中学生時代に悩んだことを引きずっています。結局、高専という道を選んだのですが・・・。そんな、あいまの気持ちのときに、こういう機会があってよかったと思います。人に流れやすく、勉強嫌いで、優柔不断な自分に対してはだいぶ大きなダメージとなりました。話によっては、「中学

時代から決めていた。」あるいは「入学したときから決めていた。」などと、とても早いうちに進路を決めた先輩も多かったです。折角高専にきたんだから・・・と思います。優柔不断が災いして、でも・・・となってしまいます。たった一つの一回の人生だから自分が納得して終わりたいです。だからよく考えて進路を決めていきたいです。

制御情報工学科2年 □□□□

今回のガイダンスを受けて、僕はまず話をさせていただいた5年生と、機会を与えてくださった先生方に感謝したいと思います。今回の講演を通じて、「わからないことは先生や友達に聞く」、「テスト1ヶ月前から勉強する」、「将来使わない教科なんてない」、「英語や数学には力を入れたほうがよい」など、たくさんの教訓を得ることができました。進学を選んだ先輩も、就職を選んだ先輩も、よく5年まで頑張ってくれたと感心しています。僕は現段階では、3年次で進路変更を考えています。特別にやりたいことがあるのではないのですが、工業系から離れたのが理由です。世の中にはどんな職種、資格があり、どんな人が求められているのかを調べていくつもりです。今回、進路について深く考えるきっかけをくださった5年生と先生方に改めて感謝します。

物質工学科2年 □□□□

再評価の話をしてくださった人から、勉強、興味、感謝の三つを詳しく語ってくださった□□さんまで、全ての話がためになりました。真実味があり、これからとこれまでの努力次第で自分の将来が変わることがよくわかりました。今までの自分の甘さにも気づきました。中でも□□さんの話の中で「授業がすごく重要」と聞き、その言葉は以前D科5年生の先輩に言われたことと全く同じでした。その人も成績がよかったので、自分の授業態度を見直そうと思いました。今日のガイダンスは、自分をよい方向に変えるきっかけになりそうです。これから頑張ります。

(出典：<https://itwg.numazu-ct.ac.jp/kouseihodou/guidance-5to12/index.html>)

資料7-2-④-5：就職・進学の実績

## 進路

## ■平成16年度卒業生の進路状況

■区分	M	E	D	S	C	■合計
卒業生数	42	41	44	41	38	206
就職者数	24	17	15	19	17	92
編入学者数	14	19	16	19	17	85
専攻科入学者数	4	4	11	3	3	25
その他	0	1	2	0	1	4
求人数	350	270	209	190	450	1469
求人会社数	260	270	209	190	130	1059
●就職者内訳						
産業別						
食品	3	2	1	-	5	11
繊維	-	-	-	1	-	1
化学	-	1	-	-	5	6
金属製品	1	-	-	-	-	1
一般機械器具	6	-	1	5	1	13
電気機械器具	1	-	2	1	3	7
輸送機械器具	5	2	3	2	-	12
精密機械器具	2	-	3	-	1	6
その他製造	5	8	1	2	1	17
電気・ガス	-	1	-	-	-	1
運輸・通信	1	2	1	1	-	5
サービス業	-	-	1	7	1	9
上記・その他	-	1	2	-	-	3
地区別						
京浜地区	6	4	1	2	-	13
静岡県内	16	12	12	15	16	71
その他	2	1	2	2	1	8

M:機械工学科 E:電気工学科 D:電子制御工学科 S:制御情報工学科 C:物質工学科

## ■平成16年度修了生の進路状況

■区分	ME	DS	CB	■合計
修了生数	6	9	4	19
就職者数	6	2	1	9
大学院入学者数	-	6	3	9
その他	-	1	-	1

ME:機械・電気システム工学専攻 DS:制御・情報システム工学専攻 CB:応用物質工学専攻

(出典：http://www.numazu-ct.ac.jp/NctJpg/data\_idx.htm)

前ページからの続き

(資料 7-2-④-5 : 就職・進学の実績)

## 進路

■卒業生の編入学状況 ※最近5年間

■大学名	■年度					■大学名	■年度				
	H13	H14	H15	H16	H17		H13	H14	H15	H16	H17
●国立											
北海道大学	-	1	1	-	1	岐阜大学	-	-	2	1	-
弘前大学	-	-	-	1	-	静岡大学	1	3	3	6	4
東北大学	-	8	10	6	2	名古屋大学	-	3	1	1	2
新潟大学	-	-	-	-	1	名古屋工業大学	1	1	1	1	1
茨城大学	1	-	-	-	1	豊橋技術科学大学	20	17	12	15	18
図書館情報大学	1	-	1	-	-	三重大学	4	1	2	2	2
筑波大学	2	3	3	3	4	京都大学	1	-	1	1	2
宇都宮大学	-	-	-	1	-	京都工芸繊維大学	-	-	-	1	-
群馬大学	-	-	1	-	1	大阪大学	2	3	8	-	1
千葉大学	3	2	4	1	4	神戸大学	-	2	4	-	-
東京大学	7	1	3	3	4	神戸商船大学	-	-	-	1	-
東京農工大学	1	2	6	5	4	岡山大学	-	2	1	-	1
東京工業大学	10	4	3	3	2	広島大学	1	2	-	-	4
お茶の水女子大学	-	-	-	-	1	島根大学	-	-	-	-	1
電気通信大学	1	2	-	-	-	徳島大学	-	-	-	1	-
東京水産大学	3	1	2	-	-	愛媛大学	-	-	-	2	-
横浜国立大学	1	2	1	3	1	九州大学	1	-	1	-	1
長岡技術科学大学	3	4	4	1	8	九州工業大学	1	-	2	-	-
金沢大学	-	2	-	-	-	佐賀大学	-	-	-	-	1
山梨大学	2	1	1	1	2	熊本大学	-	-	-	-	1
信州大学	4	3	2	1	1	琉球大学	-	-	-	1	1
●公立											
東京都立大学	-	-	1	2	1	名古屋市立大学	-	-	-	1	-
東京都立科学技術大学	-	-	1	-	3	大阪府立大学	-	-	-	1	-
静岡県立大学	-	-	1	1	-	大阪市立大学	-	-	1	-	-
愛知県立大学	-	-	-	1	-	兵庫県立姫路工業大学	-	-	-	1	-
●私立											
創価大学	-	-	-	1	-	立命館大学	1	2	1	2	2
東京電機大学	2	-	1	-	-	京都造形芸術大学	-	-	-	1	-
東京工科大学	-	-	-	-	1						
中部大学	-	-	-	-	1	合計	74	72	86	73	85

(出典 : [http://www.numazu-ct.ac.jp/NctJpg/data\\_SR2.htm](http://www.numazu-ct.ac.jp/NctJpg/data_SR2.htm))

## (2) 優れた点及び改善を要する点

(優れた点) 厚生補導委員会を中心に学生生活支援室及び専攻科学生支援室など組織的な学生相談体制を構築していることは、学級担任教員及び指導担当教員による個別の対応と合わせ、学生の生活上の不安を取り除くことに役立っており、優れている。さらに、学生寮の運営が寮務担当教職員と寮生会が連携して適確に行われていることは、特に低学年の生活と学習環境を良好なものにするという観点から、非常に優れている。留学生や編入生といった特別な支援を必要とする学生にも、きめ細かく学習や生活の支援を行っている。

(改善を要する点) 特になし。

### (3) 基準 7 の自己評価の概要

本校の学生支援等にかかわる部分は、優れている。

本科も専攻科も、各学年の年度当初のオリエンテーションによって、学生に対して学校や学科が向かう方向を徹底している。シラバスなどの資料にも学習内容やスケジュール等を詳細に記載してある上に、指導担当教員が決められ、どの学生も最初の相談相手を特定できる体制となっている。また、それ以外に学生生活支援室も設置している。

自主的な学習環境についても、図書館の開館時間延長及び閲覧機の整備により、自主学習できる環境が整えられたほか、福利施設等も新築・改修等を計画的に行い、効果的に利用できる環境を整えている。

学生の動向については定期的に各種アンケートがなされ、その結果は全教職員に周知され、学生のニーズに関する認識の共有が図られている。

資格試験等については、何人もの教職員が便宜を図っているだけでなく、取得した際に単位も認定する制度を備え、授業の枠を超えた知識習得を促す体制が機能している。

留学生・編入学生といった特別な支援が必要な学生に対しては、補講やチューターなど可能な限りの配慮がされている。

学生のクラブ活動や学生会等の課外活動に対しては、人的支援、及び運営費交付金及び教育後援会による財政支援が適切に行われており、学生の組織的活動が自主的に活動できる環境が整っている。

学生の生活や経済面に対しては、厚生補導委員会や担任・指導担当教員による真正面から指導があるだけでなく、学生生活支援室制度も整備され、学生及び教員に周知されており、十分に活用されている。また、経済面についても、授業料免除制度を始めとして多様な制度が用意されている。

生活の特別な支援が必要な留学生に対しては、担当教員を中心としてきめ細かく行われており、留学生は日本人学生と何ら変わることなく学生生活を送っている。

学生寮は沼津高専の大きな特徴のひとつである。寮生に対しては教職員の人的な配分を含めて最大限に支援している。例年寮生の現員がほぼ定員一杯なのも、生活の場として優れている証拠である。

進路指導は、全体の方針を踏まえ、各専門学科長及び学級担任教員が学生本人の希望を把握した上できめ細かい指導を行っている。また、ガイダンスにおいては、最近の卒業生など様々な講師を登用し、学生の意識を大いに刺激している。その結果、就職・進学ともに非常に高レベルな成果が得られている。